

率キテ以テ相對持スルノ慣習アルニ至リテハ敢テ異ル所ナシ米國ニ於ケルモ亦然リ政治活動ノ原動力ハ悉ク政黨ニ在リ國タルト州タルト將タ市町村タルトヲ問ハス其向フ所ヲ示シ施ス所ヲ教フルハ一ニ政黨ノ力ニ由ル是故ニ米國政治ノ用ヲ知ラント欲セハ先ツ政黨ノ何物タルカヲ詳ニセサル可ラス且米國ノ政黨ハ國民ノ事情ヨリ湧出セル特産ニシテ他ニ之カ例ヲ求ム可ラス抑米國政黨ノ起原ハ一千七百八十七年ヒラデルヒヤニ會合セル憲法制定會ニ在リ一ハ中央集權ヲ主張シ他ハ地方分權ヲ固執シ互ニ降ラス遂ニ政黨ノ源ヲ開ク前者ハフェデリストト稱シハミルトンヲ舉ケテ總理トナシ後者ハレバフリカン又ハアンチフェデリリストト稱シジェファソンヲ舉ケテ總理トナシ各政見ノ異同ヲ以テ争ヘリワシントンノ逝イテヨリ以來政黨ノ軋轢遂ニ甚シク途ニ全ク分離ノ基ヲナシ曳イテ實業的若クハ地方的利害ノ政黨ト相結託スルモノアルニ至レリ一千八百三十年レバフリカンハデモクラット黨ト改名シ專ラジェファソンノ主義ニ則リ自由貿易ヲ以テ主眼トナシ南部ニ勢力ヲ有シ反對黨ハ之ヲホエッグト名ツケハミルトンノ主義ヲ襲用シ固ク保護ノ政策ヲ採レリ既ニシテ離合集散浮沈常ナクホエッグ黨ハ再ヒレバフリカント改名シ自由ヲ以テ主義トナシリンコロン

ニ至リテ勢益熾ナリシカ一千八百七十六年ヨリ以來デモクラット黨漸ク勢ヲ得一千八百九十二年ニ及ンテ再ヒ兩黨互角ノ地位ニ在リ以テ今日ニ至ル蓋現今ノ政黨ハ名ハデモクラット、レバフリカント稱スト雖其實ニ至リテハ大ニ異ルモノアリ若シ各政黨ニツキテ旗幟トナスヘキ政綱何レニ在リヤト問ハ、恐ラクハ之カ明答ヲ與フル者ナカルヘシ何トナレハ確然タル主義政綱ノ存スルニ非ス俱ニ進歩ヲ旨トシ共ニ保護ヲ目的トシ其間或ハ多少ノ區別アリトスルモ未タ全ク別物ニ非ス彼等ハ只格別ノ歴史ト格別ノ行掛トヲ有スルノミ或ハ輓近說ヲナス者アリデモクラットハ金銀複本位說ヲ採リレバフリカンハ金本位ヲ主張スルモノナリ甲ハ疆土ノ膨脹ニ反對シ乙ハ之ヲ擁護シ前者ハ痛クトラストヲ忌ミ後者ハ之ヲ制限セントスルノ別アリト云フト雖未タ截然タル區別トナスニ足ラサルナリ由來デモクラット黨ハ全ク自由貿易ノ說ヲ採レルニ反シテ近來稍保護ノ政策ニ傾キ輸入稅輕減ヲ主張スルニ止マリ政見ノ骨子タル地方分權說ハ漸ク勢力ヲ失ヒ共ニ將ニレバフリカン黨ノ主義政見ニ近カントスルモノ、如シ唯夫レ歴史上ノ關係ヨリ自ラ黨員ヲ異ニシ勢力範圍ノ基礎ヲ同フセスレバフリカン黨ハ多ク獨人ニシテ北部及ヒ西北ヲ以テ根據ノ地トナシ富豪ノ者甚多キニ反シテデモ

グラット黨ハ南部ニ勢力アリ愛蘭人多キヲ占メ所謂富豪ノ者少シ中央諸州ニ至リテハ兩黨勢力相半シ貧富相伯仲スルモノアリ瑞典那威及ヒ黑人ハ概レバフリカンニ屬シ佛人ハデモグラットニ歸シ英人ニ至リテハ子孫極メテ多ク人口ノ過半ヲ占ムルカ故ニ其黨派必シモ一ナラス

米國ノ政黨ハデモグラット及ヒレバフリカンヲ以テ最大ナルモノトスト雖此他二三ノ政黨若クハ團體ナキニシモアラスタグリンバーテ(青札黨ハレバフリカニ黨ヨリ分離シテ嘗テ熾ニ青札ノ發行ヲ主張シタルモノナリレイボーバーテ(勞働者黨)ハデモグラットヨリ岐レテ勞働者ノ保護ヲ主張シプロヒビッシュ(ニスト)禁嚴黨ハ宗教ノ勢力ニヨリ道德ノ悖亂ヲ防クヲ目的トスボビュリスト(人民黨)ハ子アラスカ州ニ起リ西南部ニ勢力アリ農民ノ保護ヲ目的トス當時有名ナルフライアン氏ノ率キル所ナリマダグアンブス黨ト稱スルモノアリ又紐育ニ於テハ一種特別ノ政黨アリタンマニールサイテイト稱シ一千七百八十九年ニ起リ初ハコロンビヤリサイテイト稱シタリシカ一千八百五年インデヤ人ノ首長タルタマネンド(即チタンマニール氏ノ綜フルニ至リテ之ヲタンマニールサイテイト改名シ黨員ハ悉ク印度人的ノ服裝ヲナシ十二種族ヨリ成リ大ニ同志ヲ糾合シテ以テ一千

八百三十年以來強大ナル勢力ヲ有スルニ至リ現任市長ヴァンウィック氏ノ如キハ即チ其黨員ナリ蓋政黨ノ分裂スル所以ハ主トシテ個人的若クハ地方的ノ利害ニ胚胎ス識者或ハ分立ノ弊ヲ説クモノアリ大政黨ヲ組織センコトヲ望ムモノアリト雖事情困難ニシテ經費多端ニ渉ルヲ恐レ未タ之ヲ組織スルニ至ラサルナリ

斯ク政黨ノ黨議ハ之ヲコーカスト名ツクル會合ニヨリテ定メ國會議員ヲ撰定シ若クハ大統領撰擧ニ際シテハ協議會(コンヴェンション)ト稱スルモノヲ開キ以テ黨議ヲ定ム政黨員ノ多數ハ未タ必シモ政見ニ長シ卓識逸才ナルモノニ非ス反リテ多クハ凡庸ノ徒ニシテ二三ノ總理者ニ願使セラル、ヲ常トス是ヲ以テ政黨員ハ未タ社會ノ尊敬ヲ招クニ至ラス又無責任ノコトアリト雖社會ノ外ニ放逐セラハ、コトナシ近來ニ至リテ政黨員ハ屢地方政治ニ容喙スルニ至レルヲ以テ其地位多少ノ變遷ヲ見ルヘキコトヲ疑ハサルナリ

米國政黨ノ歴史及ヒ性質ノ如何ニツキテハ畧之ヲ明ニセリ是レヨリ進ンテ政黨ノ組織ニツキ少シク論スル所アルヘシ

政黨ノ組織 米國人ハ觀ル所ニヨリテ或ハ全ク行政的人民ナリト謂フコトヲ

得ヘシ行政ノ計畫ニ於テ實行ニ於テ將々欠漏ヲ修補スルニ於テ未タ斯ノ如ク敏速ナル國民ハアラサルナリ是レ蓋公撰制度ノ發達ニ基クモノニシテ一致協同シテ常ニ新撰舉人ノ吸收ニ力メ熱誠事ニ當リ教養是レ怠ラサルノ致ス所ニシテ政黨組織ニ必要ナル元素ヲ具有スルヲ以テナリ抑米國ノ政黨ハ二個ノ組織ヲ以テ成立シ一ハ永久的ニシテ黨務ヲ處理スルモノ一ハ一時的ニシテ候補者ヲ推薦スルモノ是レナリ候補者ハ才學俊秀ニシテ自ラ令名ヲ博スル者アリ有力者ニ依頼シテ以テ自己ヲ推薦セシムル者アリ或ハ一般ノ人民ヲ德源シテ以テ己ヲ推サシムル者アリ撰舉人ノ黨派ハ概判然タル區別ヲ有シ敢テ混合スルコトナシ都會ニ在リテハ特ニ委員ヲ撰ンテ之ヲ監督セシメ黨員ハ德義上其多數票ヲ得タル者ヲ推薦スルノ義務アリ候補者ハ又自ラ運動シ若クハ先輩股肱ノ力ヲ藉リテ以テ權力ヲ集中セシメ專ラ一致ノ方針ヲ取ルコトヲ努ムルヲ常トス

政黨員タル者ハ所謂ボーイヨリ始メ漸ク年ヲ經ルニ從ツテ委員トナリ經驗愈重ルニ及ンテ一方ノ親分トナリ出ツレハ則チ下級ノ官吏トナル而シテ地方ニ在リテハ各團體ヲ造リ共同一致シテ一種ノ勢力ヲナシ諸種ノ黨務ヲ處理スル者アリ之ヲリングスト名ツク子分ノ義ナリ子分ニ統率者ヲ置キ名ツケテボッスト云

フ小ボッストハ大ボッストノ率キル所小地方ハ大地方ニ依リテ以テ大都會ノボッストニ及ホスボッストハ多數ノ子分ヲ有シ全ク一種ノ指揮官の權力アリト雖公ニ認識セラル、コトヲ厭ヒ多クハ秘密間諜的ノ政策ヲ採ル蓋此組織ノ由來ハ甚遠カラズ政治ニ狂奔スル者増加スルニ從ヒ漸ク獵官ノ弊ヲ生シ官吏ヲ私シテ以テ自己ノ利ヲ逞フセントスルノ惡風ヲ來タシ無能無識ノ撰舉者ヲ網シ良民ニシテ政治ニ熱心ナラサル者ヲ強制シ自ラ別種ノ團體若クハ分子ノ形成セルニ起ル此組織ハ今ヤ米國ノ東西ニ普シ今是等無數ノ親分ハ如何ニシテ子分ヲ養成スルカヲ尋ヌルニ公衆ノ寄附ニヨル競争基金ト稱スルモノ、一個人ノ懷中ヨリ出ツルモノ、市又ハ州ノ金庫ヨリ支出スルモノ、在官ノ黨員ヨリ徵稅スルモノ、候補者ノ名義又ハ官途ヲ賣却シ州會議員席ハ五百弗ヨリ一千弗ニ及ヒ以上ノ官吏若クハ議席ハ間五五千弗ヲ超ユト云フテ收得セルモノ、或ハ賄賂贈與等ノ財源ヲ以テ之ニ充ツ政黨員ニシテ公ノ地位ヲ得ヘキ範圍ハ大統領ヲ始トシテ下院議員州官吏、地方官吏、郡吏、市吏其他直接撰舉ニヨル官位ニ限り宗教ニ關與スル者ハ政黨ノ外ニ立ツヲ常トス而シテ一旦撰舉ニ當撰シテ官位ニ就キタル者ハ勳モスレハ權威ヲ擅ニシ利殖ヲ壟斷シ敢テ黨務ヲ顧ミサル者アリ或ハ高位、高官ニ在ル者

ハ安リニ獨斷ヲ以テ下級官吏ヲ黜陟シ一朝他黨ノ占ムル所トナルトキハ又全ク淘汰セラレテ根本的ニ其立脚地ヲ危クスルコトアリ只近來少シク矯正スル所アルモノ、如シ

第一款 撰 舉

撰舉ハ政黨ト相俟ツテ離ル可ラス撰舉ノ起原ハ政黨ト同シクワシントンノ遠逝ト共ニ始マル抑米國憲法ノ規定ニヨレハ各州ハ上院及ヒ下院議員ニ等シキ數ノ議員ヲ撰フコトヲ得トアリ蓋米國ニハ撰舉ニ關シテ常ニ二個ノ撰定ト二個ノ時代トアリ即チ黨員ノ中ヨリ候補者ヲ撰定スルコト其候補者ト他黨ノ候補者トノ決勝撰舉是レナリ方今大統領ノ撰舉ヲナスニ當リテハ先ツ所謂候補撰定會ナルモノヲ開キ各州共ニ撰舉投票數ノ二倍ニ相當スル委員ヲ撰定シ委員ハ各州地方會議ニ於テ撰定セラレ地方ヨリ漸次國家ニ及ホス委員ニ附隨シテ代理委員ナル者アリ正委員ノ缺席シタル時ハ代ハリテ投票スルノ權アルモノトス委員ノ集會シテ將ニ撰舉ヲサントスルニ方リテハ屢自黨有力者ノ薦ムル所トナリ自信ヲ任ケテ異臭ノ候補者ヲ投票スルコトナキニシモアラス撰舉改撰ノ時期ハ通常撰

舉年度ノ六七月ニ始マリ十一月ニ終ハル各ホテル(旅館)ヲ以テ本陣ト定メ交通ノ便最適宜ナル都市ヲ擇ヒ之ヲ本九ト定ム往昔ハボルチモア、ヒラデルヒヤ常ニ此撰定地ナリシモ今ハ交通ノ便宜上シンシナテセントルイ、ミチアボリス特ニ市加高ヲ以テ中心トナス本年度ノレバフリカン黨ノ本九ハヒラデルヒヤト定メラレ市加高ハ恐ラクハデモクラット黨ノ根據地トナルヘシ

斯ノ如クシテ各州ヨリ委員ノ會合アルヤ先ツ式ノ如ク宣教師ノ祈禱ヲ以テ始マリ議長ノ撰舉ヲナシタル後特別委員ハ決議案即チ政綱ノ旨趣ヲ發表ス若シ委員ニシテ之ニ不同意ナルトキハ修正又ハ覆案セシムルコトヲ得ヘシト雖多クハ特別委員會ノ決議ニ贊同スルナリ政綱發表ノ後黨員中ノ候補者ヲ指名シ各州委員ヲ點呼ス是ニ於テ己候補者トナラントスル者ハ充分ノ熱心ヲ以テ自己ノ所信ヲ辯論シ以テ他ノ委員ヲ鼓吹セントス此候補者タラント欲スル者ハ通常七名乃至十二名ニ上ル乃チ全體ノ投票ヲナシ議長ハ書記ヲシテ得點ノ多寡及ヒ人名ヲ報告セシム若シ或一人ニシテ全ク出席員ノ三分ノ二以上ノ得票アリタルトキハ目シテ以テ當然ノ候補者トナス若シ此得票ニ達スル者ナキトキハ再撰舉ヲ行ヒ遂ニ最後ノ勝利者ヲ定ム大統領ノ候補者定マリタルトキハ副大統領ヲ撰フコト

大統領ニ異ラス或ハ大統領ノ候補ニ失敗シテ僅ニ副大統領トナル者アリ兩者ノ撰舉終ハリタルトキハ議長ニ對シテ一應ノ謝辭ヲ述ヘ閉會ノ式ヲ行フ斯ノ如クシテ撰舉セラレタル候補者ハ合衆國ヲ通シテ其黨ノ當然ノ候補者トシテ發表シ黨員ハ何人ト雖此決議ニ反スルノ行爲ヲナスコトヲ得ス但候補者ハ自黨ノ爲メニ忠實ナラサル可ラサルノ義務アリ

大統領ノ候補者ニ撰定セラル、者ハ未タ必シモ適切ナル大人物ヲ意味スルニ非スシテ實ハ適切ナル候補者タルニ止マル換言スレハ多數ノ味方ヲ有シ少數ノ敵ヲ有スル者ヲ撰定スト雖固ヨリ候補者タルヘキ者ハ政治家トシテノ技量人民ニ知ラレタル時期ノ長短辯説ノ能否磁石力ノ有無家系ノ如何事業ノ歴史相貌骨格私行ノ善惡生田地及ヒ撰出地ノ如何等ニ於テ最圓滿ナルヘキ人タルコトヲ要スルヤ明ナリ候補者ノ競争ニ當リテ之ヲ鼓吹スル者ニ三級ノ別アリフェボリット、フラックホース、ラフリーサン是レナリ第一種ハ辯説又ハ政治的技能ノ能ク民間ニ知ラレタル者ニシテ多クハ黨ノ支配人若クハ長者タルヘク第二種ハ未タ多ク民間ニ知ラレスト雖缺點少キ人物ヲ云ヒ第三種ハ其地方ニ於ケル愛嬌物トス是等ノ馬脚ハ相共ニ一致シテ撰舉ノ爲メニ熱狂スルモノトス

大統領撰舉費ハ専ラ有志ヨリ募ル所ニシテ自ラ資産ヲ抛ツモノ甚稀矣撰舉開戦ノ期ニ近クト共ニ國ノ各部ヲ通シテ種々ノ俱樂部ヲ組織シ各總理ヲ舉ケテ以テ競争ノ渦中ニ投入ス俱樂部ニ種々アリ愛蘭俱樂部伊太利俱樂部獨逸スカンチナピヤ、ポーランド、黑人、オレンジ俱樂部アリ或ハ青年俱樂部、法律家俱樂部、大學派俱樂部、保險會社、靴屋、荒物屋、足袋屋、太物屋等ノ俱樂部アリ職業トシテ俱樂部アラサルハナク都市ノ大小ヲ通シテ俱樂部ヲ見サルハナシ是等無數ノ俱樂部ハ撰舉ノ以前ニ當リ種々ノ奸策ヲ施シテ反對黨ノ候補者ヲ傷ケントスルモノ甚少カラス六月ヨリ十一月迄凡五ヶ月間ハ各地遊説ノ時期ニシテ七八月ノ盛夏ノ時ヲ除クノ外殊ニ九、十、二ヶ月ハ遊説最多忙ナリトス蓋撰舉ノ氣焔ヲ助クルモノハ遊説若クハ新聞雜誌ニ投書シテ以テ自己ノ意見ヲ發表スルヲ常トスト雖米國ノ特色ハ市中行列ニ在リトス前後凡三ヶ月間ハ晝夜ヲ論セス晴雨ヲ問ハス音樂隊ヲ組織シ大小ノ國旗ヲ肩ニシ徽章ヲ着ケ騷々異様ノ風ヲナシ絶エス高ラカニ候補者ノ名ヲ呼ヒ一聲ニ國歌ヲ唱ヘ合奏ヲナシテハ進ミ喊聲ヲ發シテハ止マリ以テ長大ナル行列ヲ作り市街ヲ練リ廻ハシ多數ノ人民ヲ鼓舞煽動シテ以テ自黨ノ力ヲ養ハントスルモノナリ市中行列隊ノ實況ヲ目撃スル者ハ誰カ其狂氣然タルニ

絶倒セサル者アランヤ

惟フニ共和國ノ大統領候補者トナルヘキ資格一ニシテ足ラスト雖少クトモ個人トシテ一國ノ行政官タルニ適スル者タラサル可ラス又其黨ノ爲メニ熱心忠實ナラサル可ラス然ルニ往々ニシテ此大資格ヲ備ヘサル者アリ大統領ハ全ク其名ヲ得ルニ止マリ實ハ所謂黑幕ノ左右スル所トナリ富裕者ノ使役スル所トナラサル者稀矣只夫レ既ニ論スルカ如ク大統領ハ人格ニ於テ圓滿ヲ主トスルカ故ニ此弊アルヲ免レス又獨立シテ以テ天下ノ大勢ヲ左右スルニ足ルヘキ大人物ニ至リテハ之ヲ望ムコト甚難シ殊ニ米國ニ於テ大統領ノ候補者タル者ハ一種異様ニシテ國會ノ制限的機能ト人民ノ絶對的主權ヲ根本トスルカ故ニ少シク氣慨アリ精神アル者ハ往々ニシテ候補者タルコトヲ甘ンセス今ヤ米國ノ内外時事日ニ多端ニシテ漸クモンロー主義ヲ離レテ膨脹政策ヲ採ルニ至リテハ外交亦繁キヲ加フルニ至リ他日大統領ニ要スル資格及ヒ撰擧ノ方法、候補者ノ人物等ニ於テ必ス大ニ改革セラル、所アルヘシ

大統領ノ撰擧ニツキテハ略其大體ヲ盡シタリ更ニ小官吏ノ撰擧ニ至リテハ其數多ク任期短ク地位低キカ故ニ未タ大統領ノ如ク劇甚ナル競争アルコトナシト雖大ハ以テ小ニ及ホシ下ハ以テ上ヲ學ヒ賄賂公行苞苴盛ニシテ官位賣買ノ弊甚シキニ達シ二十弗乃至三十弗ヲ償フテ以テ僅ニ最下級ノ官吏ヲ獲獵スル者アリ蓋拜金宗ノ餘弊既ニ膏盲ニ入り輒ク抜ク可ラサルナリ然リト雖徐ニ米國政治ノ全體ヲ通觀スルトキハ内舊來ノ病弊ヲ看破シ外、外國ノ刺戟ニヨリ漸ク警醒シテ以テ真正ノ發達ヲ希望スル者多キヲ加フルニ至レルヲ見レハ從來ノ弊害未タ必シモ深ク咎ムルニ足ラス焉ソ却リテ進歩ノ一階段ニ非サルナキヲ知ランヤ

附 米國婦人ノ撰擧權 婦人ノ權利ハ男子ト同一ナラサル可ラストハ或一流ノ米國人ノ思想ナリ是レ蓋希臘ノ古代ニ於テプラトノ唱道セル主義ニシテ後耶蘇ニ至リテ男子共ニ均シク不老不死ノ生靈ヲ有ストナスノ主義ニ胚胎シ米國建國ノ初ニ當リテハ婦人同等權利ノ問題ハ曾テ政治家ノ口頭ニ上ラス婦人モ亦自ラ之ヲ唱ヘタル者ナカリシカ南北戰爭ヲ經テ黑白人共ニ平等ノ權利ヲ享有スルニ至リテ始メテ此問題ヲ生シタリ曰ハク若シ人間種族ノ如何ナ間ハス苟モ男子タル者ハ平等ノ權利アリトセハ何カ故ニ婦人ハ等シク此權利ヲ享有スルコトヲ得サル乎若シ又男女共ニ絶對的ニ平等ナリトセハ其必要ナル點何レニ在ル乎無智無能ノ奴隸スラ尙且平等ノ權利ヲ享有セントス況ンヤ有識有爲ノ婦人ニ於テチヤ爾來此問題屢唱道セラタリト雖未タ之ヲ實現スルニ至ラスワイミング氏カ婦人ニ對シテ撰擧ノ權利ヲ有セシメタルハ特殊ノ關係ニ由ルモノニシテ全ク例外ノミ但コロラド州及ヒ其他ノ諸州

ニ於テ婦人ハ學校教員、役員又ハ委員等ニ撰舉セラル、ノ權利ヲ有シ又アーカンサス、ミシシッピ、カンサス、ミシガン、コンチクチカットノ諸州ニテハ制限的權利ヲ附與シタリ之ヲ要スルニ婦人ノ權利問題ハ政治上ノ問題ニ非スシテ寧社會上ノ問題ナルヘク所謂自由、平等ノ主義ニ基キテ發生シタル一ノ現象ニ外ナラサルナリ惟フニ米國社會上ノ地位日ニ進歩發達スト雖婦人カ政治上ノ權力ヲ全有スルニ至ルハ蓋猶遠キニ在ルヘシ

第三款 輿論

所謂輿論ナル語ハ必シモ新語ニ非スト雖其聲ノ大ニシテ其勢ノ盛ナルニ至レルハ蓋十八世紀ノ末葉ニ始マル國ハ民ヲ以テ生存シ少數ハ多數ノ爲メニ姑ク枉ケテ之ニ從フニ於テ始メテ輿論アリ熟ラ米國ノ政治ヲ視ルニ輿論ノ勢力強大ナルコト世界ノ歷史上稀ニ見ル所ナリトス故ニ米國ノ政治ヲ明ニセント欲セハ先ツ輿論ノ所在ヲ明ニセサル可ラス抑輿論トハ何ソヤ或ハ曰ハク輿論ハ各個人ノ意見ノ綜合ナリト或ハ曰ハク大多數人ノ意見ノ總合ナリト惟フニ輿論ノ最簡單ナル形式ハ常識ヲ有スル人カ見ル所聞ク所ニヨリ自ラ一種ノ感想ヲ生シ發シテ以テ外ニ表ハレタル者ヲ云フ是故ニ輿論ハ一定ノ形式ヲ有セス又一一定ノ淵源アルコトナシ一個人ノ偶然的發言カ却リテ輿論ノ泉源ト爲リ無智文盲ノ民ノ戯話ス

ル所往々ニシテ輿論ヲ發作スルコトアリ一定ノ題目アルコトナク一定ノ主義アルコトナシ輿論ノ性質ハ其不定不可思議ヲ以テ特色トナス商人カ晝飯ヲ喫スルニ方リ雜談スルノ際偶輿論ヲ生シ或ハ新聞紙ノ一雜報ヲ取り來リテ輿論ヲ喚起スルコトアリ是ヲ以テ輿論ハ人ノ境遇、教育、職業其他ノ事情ニヨリテ支配セラレ一般ニ如何ナル形ヲ成シテ發生スルカヲ知ルコト能ハスト雖中等又ハ以下ノ階級ニヨリテ開通セラル、ヲ常トス而シテ之カ感想ノ根本タルヘキ原動力ハ多クハ高尚ニシテ神經的性質ヲ有スルモノ、思想ヨリ發生スルニ似タリ其發シテヨリ純然タル輿論ノ性質ヲ有シ社會ニ重キヲナスニ至ル階級ニ就キテハ國ニヨリ、時代ニヨリ事情ニヨリテ一様ナラス只之カ指導者タルヘキモノハ其人タルヲ問ハス必ヤ時事ニ對シテ判斷ヲ下スニ方リ多クハ政治經濟上ノ原理又ハ原則ニ訴フルコト通常人ヨリモ深クシテ且遠シ一旦意見ヲ確定シタルトキハ之ヲ外ニ發表シテ同志ノ者ヲ求メ過去ノ事績ニヨリテ將來ノ成功ヲ期センコトヲカムルヤ切ナリ此種ノ人ハ多クハ政治家又ハ新聞記者ノ類ナリ斯ノ如クニシテ一方ニ輿論ノ製造者アリ他方ニ之カ發賣者アリテ兩々相俟テ始メテ一斑ノ民衆ニ配達セラレ購買セラレ遂ニ一種ノ消費的勢力ヲ生ス之ヲ往古ノ歴史ニ照ラスニ輿論

ノ勢力ハ時トシテハ極メテ強大ナルコトアリ時トシテハ却リテ薄弱ナルコトアリト雖常ニ政治ニ對スル一種ノ勢力ニシテ特ニ輓近ニ至リテハ益之ヲ逞フスルコト争フ可ラス如何ナル時代如何ナル國家如何ナル政體ト雖人民ヲ離レテ存在スルコトヲ得サレハナリ要スルニ輿論ナルモノハ智能ノ必勝者ニ非スシテ勢力ノ決勝者ナリトス例ヘハ家屋ノ柱石ノ如シ多數ノ勢力ニヨルカ故ニ輿論ハ果シテ何レニ在ルヤヲ知ルコト能ハス少數ノ者ハ常ニ踟躕トシテ自己ノ意思ヲ達スルノ機會甚少シ是ヲ以テ輿論ハ必シモ公平ニ非ス必シモ確實ニ非ス時ト俱ニ移リ世ト共ニ變スルモノニシテ一定ノ義理若クハ要素ヲ有セサルナリ

夫レ斯ノ如ク輿論ノ政治トハ人民ノ意見カ直接ニ國政ニ反射行動スルモノニ外ナラス從ツテ之カ運行ノ機關ナカル可ラス所謂機關タルモノハ新聞雜誌及ヒ他ノ出版物ヲ以テ主トナス新聞紙ハ素ヨリ害毒ヲ流スコト少カラスト雖亦勸善ノ力アリ事實ヲ傳ヘ理論ヲ説明シ辯護測斷スルニ於テハ最有力ノ機關ノ一タルヲ疑ハス雜誌及ヒ出版物モ亦略同一ノ効用アリトス歐洲ニ在リテハ所謂有數ノ政治家ハ先ツ自己ノ意思ヲ發表シテ衆民ノ之ニ靡クヲ希ント雖米國ニ於テハ之ト異リ自ラ意見ヲ發表スルコトヲナス能ク人民ノ言フ所ヲ聞キ行フ所ヲ見多數

ノ精神カ果シテ何レニ在ルヤヲ考察シ參酌補正シテ以テ自家ノ說ヲ作り之ヲ所信ト爲シテ以テ公ニ發表ス所謂具眼者ハ輿論ノ所在ヲ探ルニ巧ニシテ之ヲ利用スルノ妙ナルコト或ハ他國ノ及ハサル所ナルヘシ

米國ノ人民ハ輿論ノ形成者トシテ如何ナル特質ヲ有スル乎是レ吾輩ノ將ニ考究セント欲スル所ナリ蓋米國ノ人民ハ義俠的ニシテ慈善心ニ富ミ時ニ烈火ノ如キ劇性ヲ顯ハスコトアリト雖忽チニシテ消散シ絶エテ讐敵ノ思念ヲ有セス自信力ニ厚ク自負心ニ強シ其人口ノ増殖富源ノ饒多商工業ノ發達ハ皆以テ自負心ヲ養フニ足リ母國ヨリ獨立シテ一種ノ新大國ヲ組織セルコトハ全ク人民ノ力ニシテ人民ノ外ニ勢力ナルモノナシト確信シ既ニ建國ノ精神ニ於テ異ル所アルカ故ニ多數ヲ以テ勝利者トナシ正理者トナスノ觀念ニ厚キコト固ヨリ怪シムニ足ラス且夫レ比較的ニ高等ナル教育ヲ受クル者多ク普通教育ニ至リテハ殊ニ世界ニ冠タルカ故ニ彼等ハ能ク憲法ノ何者タルカヲ解シ公共的ノ事業ニ從ヒ地方的又ハ國家的政治ニ盡ス者甚多シ婦人モ亦男子ト同シク教育ヲ受ケ國政ノ一斑ヲ解スルモノ比々トシテ然リ是ヲ以テ皆宗教ヲ敬愛シ道義ヲ尙ヒ婦人子女ヲ憐ミ親愛ノ情ニ厚ク法律ヲ崇敬シ個人ノ權利ヲ重シシ產業ニ熱心ニシテ徒ニ空理空論ヲ

談セス社交ニ巧ニシテ辭令ニ嫻ヘリ時ニ極メテ浮薄ニシテ神經質ナルカ如シト雖時ニ保守的ニシテ必シモ妄リニ國風ヲ狂ケ舊慣ヲ廢スルノ民ニ非ス以テ輿論ノ涌出スル性質ノ一斑ヲ知ルニ足ルヘシ

若シ夫レ一步ヲ進メテ勢力アル輿論ノ階級ハ果シテ何レニ在ルカ農夫ハ朴訥簡潔ニシテ自己ノ收利ニ忙シク未タ政治ニ狂奔スルニ遑アラス職工ハ稍農夫ニ似タリト雖多少政治ノ意義ヲ解スル者アリ普通勞働者ニ至リテハ往々ニシテ重大ナル勢力ヲ有シ屢政治家ヲ惱殺シ或ハ頼リテ以テ自己ノ意思ヲ達スルノ階梯トナス資本案ニ至リテハ勢力ノ強大ナルコト素ヨリ論ヲ俟タスト雖或ハ全ク政治ニ冷淡ニシテ之ヲ顧ミサル者ナキニ非ス或ハ政治ヲ利用シテ以テ益富ヲ増殖セントスル者アリ多クハ鐵道ニ關係シ新聞紙ヲ利用シテ以テ之カ機關トナス醫師、僧侶ニ至リテハ政治ニ與ラサル者多キニ反シテ法律家辯護士ノ如キハ擧ケテ悉ク政治ニ狂奔サセルハナシ所謂政治家ハ概此中ニ在リ彼ノ有名ナルバトリック、ヘンリー、ジョン、ジェー、ジョン、アダムス、アラハムリン、コルン、クロー、バー、クリー、ブランドノ如キ皆是レナリ文學者、美術家ノ輩ハ往々文筆ノ力ニヨリ多少政治ニ關與スル者ナキニ非スト雖之ヲ職業トスル者ナシ由是觀之米國ハ歐洲諸國ノ如ク一定ノ輿論階級ナルモノナシ或ハ貧富ノ懸隔ニヨリ、或ハ上下ノ階級ニヨリテ自ラ猜忌排擠スル者甚少シ或ハ米國ヲ以テ社會黨ノ既成地トナシ之ガ劇烈ナル軋轢アルモノ、如ク論スル者アリト雖余ハ末々之ニ贊同スルコト能ハサルナリ

米國ハ東西ノ疆土甚廣ク歴史的關係各異ルカ故ニ自ラ地方ニヨリテ輿論ヲ異ニスル者ナキニ非ス東部地方ハ資本案、製造家、巨商ヲ以テ著ハレ殊ニ鐵道ニ關係スル者貿易ニ從事スル者亦甚多キカ故ニ特ニ財政經濟上ノ問題ニ關シテ神經ヲ惱ムコト最強シ殊ニ最舊ノ地方ニシテ多クハ高等ノ教育ヲ受ケ有力ナル貴官紳士ハ概此地方ヨリ出ツ西部ハ農ヲ以テ主トナスカ故ニ農政ニ關スル者ハ耳ヲ傾クルコト深ク太平洋沿岸ニ在リテハ礦業上ノ問題ト密着ノ關係ヲ有シ南部ニ在リテハデモクラット黨多キヲ占メ又黑白兩人種ノ雜居スル所ナルカ故ニ自ラ各種ノ問題ヲ生スト雖主トシテ農業上ノ政策如何ニ歸着スルカ如シ蓋南部ノ民ハ人口甚多ク西部ハ南部ト相俟テ常ニ輿論ノ發作地トナリ投票ノ多數ヲ占ムルノ地位ニ在リシカ輓近漸ク東部ノ勢力ニ吸收セラレ、ノ風アリ

余ハ前段ニ於テ米國輿論ノ性質所在、部分及ヒ一斑ノ觀念ニツキテ之ヲ論究セリ抑輿論ナルモノハ果シテ政治ノ原動力トナリ、主動者トナリ、指揮者トナルノ價值

アリヤ否ヤ若シ輿論ハ多數ノ別稱ナリトセハ少數ノモノハ如何ニシテ之カ意思ヲ達セントスル乎彼ノ徒ニ衆ヲ以テ寡ヲ制シ共同ノ利害ヲ忘レテ他人ヲ抑壓シ慈善ノ目的ノ爲メニ非スシテ妄リニ金錢ノ寄附ヲ強フルカ如キ或ハ公安ヲ害セサル行動ニ對シテ所謂社會的刑罰ヲ附スルカ如キハ暴行ニ非スシテ何ソヤ強壓ニ非スシテ何ソヤ之ヲ實際ニ照ラスニ或種ノ問題カ立法院ニ提出セラレタル場合ニ於テ甲ハ之ニ課税スヘシト論シ乙ハ課税ス可ラスト辯シ甲ハ遂ニ理ノ非ナルヲ視テ多數ヲ恃ンテ以テ乙ヲ虐ケ自己ノ我慾ヲ恣ニスルノ行爲實ニ稀ナリトセス若シ極端ニ論スルトキハ多數ハ常ニ暴利暴行ノ張本人ニシテ少數ハ其論スル所正理ニ在リト雖動モスレハ萎縮シテ自ラ屈從スルモノト謂フヘシ是レ豈立法ノ旨趣ナランヤ是レ豈自由平等ヲ誤ルノ甚シキモノニ非スシテ何ソヤ況ンヤ輿論ナルモノハ初之ヲ認識スルコト難ク行動緩慢ニシテ動モスレハ指導者ヲ誤ラシメ輿論ヲ參酌セントシテ却リテ行政ノ敏活ヲ缺キ輿論ニ託シテ以テ責任ノ觀念ヲ薄カラシメ斷乎トシテ自家ノ所信ヲ貫徹スルコト能ハス先ツ自ラ誤リ而シテ遂ニ國民全體ヲ謬ラシムルノ悲境ニ陷ルコトアルニ於テヤ所謂輿論ノ勢力亦危シト謂フヘシ然リト雖輿論未タ必シモ捨ツ可ラス語ニ曰ハク人ノ失敗ハ

知レ易ク成功ハ顯ハレ難シト憲法ニシテ完備セリト雖政黨ノ組織ニシテ腐敗スルトキハ何ヲ以テカ能ク其實ヲ舉クルコトヲ得ヘキ所謂政治家ハ散漫ニシテ眞ニ國事ヲ知ラス一般ノ人民ハ富ヲ造ルニ急ニシテ政治ノ何者タルヲ識ラス此時ニ當リテ能ク兩者ヲ調和スルモノハ抑何ソヤ輿論即チ是レナリリンコルン會テ言ヘル事アリ公共ノ感情ニ伴ヘハ總テ成功セサルハナク公共ノ感情ニ反スレハ總テ失敗セサルハナシト蓋輿論ハ以テ國民ノ良心ト常識トヲ發表シ害毒ノ蔓延ヲ防クノ力アリ米國ノ政體ハ之ニ由リテ以テ活氣ヲ保チ言論集會ノ自由公共的事業敷設ノ自由皆輿論ノ賜ニシテ殊ニ外交上ノ政策ニツキテハ輿論ノ潛勢力實ニ大ナルモノアリ又輿論ハ必シモ良能ヲ要地ニ舉クルモノニ非スト雖一旦舉ケラレタル者ハ獨立ノ責任ヲ負ハシメ以テ能ク其任務ヲ果サシムルノ功果アリ之ヲ要スルニ輿論ノ勢力過大ナル時ハ反リテ第一流ノ政治家ヲ出タスコト稀ナリト雖是レ必シモ米國民ノ罪ニ非ス輿論カ米國ノ發達ニ於テ著大ナル公益ヲ舉ゲタルコト素ヨリ多辯ヲ要セサルナリ且夫レ輿論近多數強壓ノ弊ハ日ヲ逐フテ減退シ基礎アリ精神アル輿論ノ發達歲ニ看ルヘキモノアリ有識ノ士ハ夙ニ進ンテ之カ矯正ノ方策ヲ回ラシ着々トシテ實果ヲ舉クルモノ、如シ米國輿論ノ前途噫又

第四款 國民ノ政治的觀念ト政事家

米國ノ政治ハ根本ニ於テ既ニ異ル所アリ專ラ民ヲ基礎トシ州ヲ重ンシ以テ國ニ及ホスノ歴史的事情アルコト屢述フルカ如シ是ヲ以テ國民ノ政治的觀念ハ一種ノ特色ヲ帶ヒ加フルニ建國ノ初ヨリ今日ニ至ル迄歐洲又ハ東洋ヨリ此地ニ移住スル者極メテ多ク各獨特ノ本性ヲ發揮シテ以テ國運ノ進歩ヲ圖ルカ故ニ又雜多ノ政治的觀念ヲ有スルコト自然ノ數ナリト云フヘシ東ニハ東ノ特色アリ西ニハ西ノ特色アリ獨人ノ執ル所ハ英人ト異リ愛蘭人ノ理想トスル所ハ必シモ佛人ト同シカラス況ンヤ職業區々ニシテ利害各異ルヲ以テ論スル所ノ主旨同シカラサル者アリ、教育アル者アリ、無智ナル者アリ、新殖民アリ、舊殖民アリ、英語ヲ解スル者アリ、解セサル者アリ、農夫アリ、商賈アリ、資本家アリ、勞働者アリ多クハ人種ニヨリ本來ノ國別ニヨリ一定ノ區域ヲ有スルモノ多ク甲ノ輿論ハ乙ノ輿論ニヨラス丙ノ欲スル所動モスレハ丁ノ好マサル所アリ

斯ノ如ク米國ノ國民ハ人種ノ繁多ナルカ如ク政治上ノ觀念亦多岐ニシテ一律ヲ

以テ之ヲ論ス可ラスト雖若シ截然トシテ之カ區別ノ直線ヲ引クトキハ先ツ之ヲ二大部分トナスコトヲ得ヘシ資本家ト勞働者是レナリ資本家ハ概レバフリカン黨ニ屬シ勞働者ハ多クハデモクラットニ屬ス固ヨリデモクラットニシテ富者アリレバフリカンニシテ貧者ナキニ非スト雖歷史上ノ關係ニヨリ自ラ此區別ヲ生シタルモノ、如シ若シ夫レ人種ニヨリテ之ヲ分ツトキハ既ニ述ヘタルカ如ク獨逸人ハ多クハレバフリカンニシテ愛蘭人ハ主トシテデモクラットニ屬シ英人ハ此兩黨ニ分屬ス又東部諸州ニ在リテハ資本家多キカ故ニレバフリカン黨勢力アリ南部ハ殆デモクラットノ獨占スル所ニシテ西部諸州ハ兩黨相半ス之ヲ一般ノ區別トナス然リト雖此區別ハ元個々ノ政見ノ異同ニヨルニ非ス個々ノ主義ノ堅白ニヨリテ分ル、ニ非ス情實ノ爲メニ制セラレ多數ノ爲メニ驅ラレ故ナクシテ雷同シ或ハ煽動セラレテ以テ此區域ヲナシタルニ過キス實ハ政治的觀念ノ所在トシテ之ヲ認ムルコト能ハス且夫レ彼等ハ國政ニ於テ多少通スル所アリ地方政ニ於テ明ナル所アリト雖歸着スル所概狹小ノ範圍ニ止マルモノ少カラス移住ノ民多キカ故ニ動モスレハ國家的利害ヲ感スルコト薄ク政治的觀念極メテ脆弱ナルノミナラス事若シ外交ニ關スルニ至リテハ智識ノ暗クシテ事情ニ疎キコト眞

ニ驚クヘキモノアリ抑彼等ハ歐洲波亂ノ基ヲ以テ外交ニ在リトナシ新開國タル米國ハ之カ覆轍ヲ履マサランコトヲ期スルカ爲メナリト云フカ或ハ内政ヲ計ルニ急ニシテ未タ外交ニ及ホスニ違アラスト云フ乎今ヤ時勢ハ彼等ヲ驅リテ外交ノ舞臺ニ登セ新ニ領土ヲ擴張シテ以テ世界ノ強國ト雌雄ヲ争ハントス彼等ノ漸ク外交ノ智識ヲ尙ヒ事情ヲ知ルニ至ランコト夫レ或ハ近キニ在ラン乎

惟フニ如何ナル國家ト雖一般國民ノ政治的觀念ハ寧狹小ニシテ基礎甚固カラサルモノ多シ於是乎始メテ政事家ノ要アリ蓋政事家ニ二アリ政治家及ヒ政略家はレナリス**ステイツマン**ハ前者ニ屬シ**ボリチシアン**ハ後者ニ屬ス所謂政治家ハ政治ヲ以テ己ノ別體トナシ身ヲ忘レテ以テ國事ノ爲メニ盡ス者ニシテ具眼遠識ノ士ナラサル可ラス所謂政略家ハ權謀ヲ以テ政黨ヲ操ツリ術數ヲ以テ政事ヲ縱ニスルモノニシテ或ハ直接ニ行政又ハ立法ノ事ニ關與スル者ヲ指シ自ラ一般産業ノ人民ト獨立シテ別個ノ階級ヲナスモノトス彼等ノ主タル目的ハ權門ニ出入シ高位ニ阿諛シテ以テ官吏タラント欲シ或ハ富者ヲ籠絡シテ以テ收入ノ途ヲ開カントスル者ナリ米國ノ所謂政事家ハ概政略家ニシテ眞ニ政治家ト稱スヘキ者寥寥トシテ曉天ノ星ノ如シ若シ夫レ政略家ニ至リテハ舉ケテ數フ可ラス其範圍極メ

テ廣大ニシテ上下兩院ノ議員ヲ始トシ國政官吏州會議員州政官吏市吏及ヒ地方官吏又ハ政黨員ニシテ常ニ就官ヲ志望シ未タ其機會ヲ得サル者多クハ此部ニ屬ス或ハ政略家ヲ以テ全ク常業ト爲ス者アリ或ハ準業トナス者アリ多少ノ區別アリト雖利ヲ射リ官ヲ征スルノ目的ニ至リテハ則チ一ナリ政事家ノ腐敗茲ニ至リテ極マレリト謂フヘシ

政界ノ腐敗夫レ斯ノ如クナルカ故ニ苟モ産アリ識アル者ハ自ラ進シテ政事家トナルコトヲ屑トセス遠ク政界ノ外ニ超然トシテ敢テ之ヲ顧ミサルモノ、如シ又米國ハ先天的若クハ世襲的ニ政事家タルヘキ家族ノ系統ナク政治熱ヲシテ強烈ナラシムヘキ原因ニ乏シク立法部ハ國ト州トニ分ル、カ故ニ自ラ學才アリ經驗ニ富ミ達識ノ士ト稱スヘキ者ハ之ヲ一般ノ政治界ニ求ム可ラス矧ンヤ米國ハ産業ノ國ナルカ故ニ政治以外ニ在リテ大ニ民衆ヲ聳動スルニ足ルヘキ本業ノ夥多ナルニ於テヤ何ソ故ラニ自ラ托ケテ政界ニ入り以テ敏腕ヲ施スノ機會ヲ逸スルノ愚ヲ學フヘケンヤ

米國ニ於ケル政事家ノ要素ニ五アリ社會經濟上ノ事情ニ精通シ之カ改良進歩ヲ圖ルノ識見ト果斷トヲ有セサル可ラス熱誠ニシテ熟練ナルヘク能ク各部ノ統一

ヲ全フシ議會操縱ノ術ニ巧ニシテ司法トノ調和ヲ保ツノ妙ナカル可ラス、内政ノ一斑ヲ諳シスルノミナラス兼テ外交ノ機宜ニ長セサル可ラス、殊ニ黨議ヲ綜ヘ黨與ヲ率キルノ聲望ト地位トヲ有セサル可ラス、上ハ富者ノ慾ヲ制シ下ハ貧民ノ心ヲ維クノ膽力ト技量ナカル可ラス米國第一流ノ政治家トナル亦難イ哉

第四編

經濟上ノ觀察

第一章 經濟變遷史

凡一國ノ經濟ハ政治ト最親密ナル關係ヲ有スルカ故ニ之カ變遷ヲ知ラント欲セハ須ク政治ノ大體ヲ究メサル可ラス政治ノ經濟ニ於ケルハ猶車輪ノ輻輳ニ於ケルカ如ク翅鳥ノ兩翼ノ如シ其一ヲ缺カハ國家ノ運轉茲ニ靜止セン一方ノ消長ハ忽チニシテ他ノ盛衰ヲ來タスコト響ノ聲ニ應スルカ如シ思フニ國家ノ發達ハ此兩者ノ平衡ニヨリテ全クシ若シ政治ノ勢力徒ニ過大ニシテ經濟ノ力遠ク之ニ及ハサルトキハ則チ一國ノ轉覆ヲ免レス之ニ反シテ經濟ノ力強硬ニ失シ政治ノ遠ク之ニ及ハサルトキハ所謂尾大掉ハサルノ狀勢ヲ呈シ國家ヲ危フスルニ至ルヤ必セリ之ヲ古來ノ歴史ニ稽フルニ兩者常ニ均等ノ地位ヲ保チ平分ノ勢力ヲ有シ相並ンテ發達スル者ハ興リ政權ヲ以テ經濟ヲ壓シ或ハ經濟ヲ以テ政治ヲ制スル者ハ亡フ兩者ノ均等破レテ爭亂是ニ起ル獨リ米國ニ至リテハ一種特別ノ現象ヲ有シ政治ハ寧經濟ニ後レテ發達シ經濟ハ常ニ燈火トナリテ以テ政治ヲ先導シタ

ルノ觀ナキ能ハス是故ニ先ツ經濟ノ歴史ヲ研メサレハ以テ政治ノ真相ヲ穿ツコト能ハサルヘシ抑米國殖民ノ當初ニ在リテハ所謂殖民産業ト稱スルモノ、外民ニ州際貿易ノ觀念ナク母國ト通商スルモノ、外外國貿易ノ何物タルヲ知ラス皆汲々トシテ自州ノ産業ヲ獎メンコトヲ是レ計リ未タ政治ヲ顧ミルニ違アラヌ一朝英國ノ暴政ニ遭遇シ殖民地ノ經濟非常ノ障害ヲ被ムリ將ニ其根底ヲ危クセントスルニ至リテ遂ニ獨立戰爭ノ事アリ既ニシテ其獨立ヲ布告スルニ及ンテ人民ハ始メテ政治ノ忽諸ニ附ス可ラサルコトヲ知リ經濟トノ關係漸ク親密ヲ加フ此時ニ方リテヤ内戰亂ノ餘弊ヲ受ケ民力疲弊シ産業起ラス外外國ノ間ニ乘セラレシコトヲ恐レ政治經濟共ニ微々タリ未タ幾ナラスシテ産業大ニ發達シ貿易漸ク進暢スルニ及ンテ經濟ノ力漸ク政治ヲ凌ク後或ハ兩者ノ間多少ノ徑庭ヲ生シタルコトナキニ非スト雖經濟ハ常ニ政治ヲ扶助シ誘導シテ以テ互ニ其發達ヲ促シ今ヤ内地ノ産業盛ニ起リ外國貿易大ニ開ケ財政日ニ豊ニシテ富力月ニ進ミ交通ノ機關ハ東西ヲ通シテ餘ス所ナク信用ノ機關悉ク備ハリ農工商ノ業ヲ舉ケテ絶大ノ進歩ヲ爲セルコト眞ニ驚クニ堪ヘタリ是レ固ヨリ米國本來ノ地理宜シキヲ得天然ノ富饒多ニシテ無盡藏ナルノミナラス人民ハ熱誠ニシテ起業心ニ富ミ官

民相並ンテ以テ之カ發達ヲ企圖シタルノ致ス所ナリト雖抑亦他ニ由リテ來ル所ナクンハアラス蓋米國經濟ノ發達ハ之ヲ三期ニ分ツコトヲ得ヘシ獨立ノ當初ヨリ米墨戰爭又ハカリホルニヤ金坑ノ發見ニ至ルヲ以テ第一期トナシ南北戰爭ニ至ルヲ以テ第二期トナシ南北戰爭以後今日ニ至ルモノヲ第三期トナス第一期ノ時代ニ在リテハ既ニ述ヘタルカ如ク獨立戰爭ノ餘弊ヲ受ケテ産業未タ進マス交通ノ機關ナク專ラ一小區域ノ開拓ニ從ヒ通商貿易ト稱スヘキモノ極メテ微々タリ既ニシテ西部諸州漸ク合衆國ニ合シテキザス州ノ墨西哥ト難ヲ構フルニ及ンテ始メテ西征ノ事アリ戰克テ疆土太平洋ノ沿岸ニ及ホシ漸ク東西ノ交通ヲ開ク一千八百四十八年カリホルニヤ金坑ノ發見アリ西部ニ移住スル者陸續トシテ起リ人民始メテ交通機關ノ不備ヲ訴ヘ巨額ナル金塊ノ產出ハ東部諸州ノ經濟界ヲ變動シ將ニ一大變兆ヲ來タサントスルノ氣運アリ名ツケテ萌芽ノ時代ト稱スルコトヲ得ヘシ第二期ニ入ルニ及ヒ礦業ノ熱ハ益高マリ西部移住者ハ愈倍從シ新ニ領政ヲ西部ニ布カントスルニ方リ奴隸許否ノ論勃然トシテ起リ激烈ナル政黨ノ軋轢ハ結ンテ南北戰爭トナリ紙幣ノ濫發トナリ商工ノ業ヲ舉ケテ全ク地ニ委シ農業ハ悉ク荒廢シ再ヒ起ツ能ハサルニ至ラントス然レトモ此戰爭ハ却リテ偶

産業上一大革命ノ淵源トナリ南北ノ諸州ヲ合セ東西ヲ連結シ米國ヲシテ始メテ一國民ノ形ヲナサシメタリ看ヨ一千八百六十九年東西大陸鐵道ノ貫通アリ郵便及ヒ**エクスプレス**ノ延長アリ皆是レ戰爭ノ賜ニ外ナラス換言スレハ南北戰爭ハ獨リ政治上黑白ノ兩人種ヲシテ平等ノ權利ヲ得セシメタルノミナラス經濟上米國ノ大陸ヲ通シテ一個ノ強烈ナル彈丸トナシタルモノト云フヘシ或ハ以テ中興ノ時代ト稱スヘキニ似タリ爾來今日ニ至ル迄此戰爭ノ惰力ニヨリ此彈丸ノ勢力ニヨリテ以テ益發達シ來リ或ハ時ニ一千八百七十三年又ハ一千八百九十三年ノ恐慌アリト雖今ヤ鐵道ハ十八萬五千哩ニ達シ一百億萬弗ノ資本ヲ放下シ四百七十五萬噸ノ船舶ヲ有シ郵便及ヒ電信共ニ二十萬哩ノ長程ニ及ヒ電信電話ノ機關東西ニ通シ南北ニ亘リ各三十萬乃至六十萬哩ノ電線ヲ有シ四億萬弗ノ資本ヲ注入シ銀行ハ總テ一萬八千有餘行アリ七十五億萬弗ノ資産ヲ吸收シ都市ノ大小ヲ通シテ數萬ノ會社アリ一百億萬以上ノ富ヲ有シ百般ノ機關悉ク備ハリ一ヒ手ヲ動カスニ必ス順序アリ一ヒ足ヲ投スルニ必ス規律アリ内國ノ産業駸々トシテ起リ殆底止スル所ヲ知ラス況ンヤ外國貿易ニ至リテハ更ニ驚クヘキモノアリ六億三千萬**エーグル**ノ土地ハ農作ノ占ムル所ニシテ歲々八億五千萬弗ノ輸出ヲナシ

礦物ハ六億萬弗ノ生産アリ七千五百萬弗ノ輸出ヲナシ木材ト水産トヲ合セテ四千五百萬弗ノ輸出アリ銅鐵ハ七百萬噸ノ生産アリ世界産額ノ過半ヲ蔽ヒ銅ハ二十五萬噸ニ達シ貿易ノ總額ハ實ニ二十億萬弗ニ垂ントス而シテ輸入品ハ僅ニ六億萬弗ニ過キス輸出ハ歲ト共ニ増大シ輸入ハ年ト俱ニ減少シ精製品ノ輸出ハ日ニ盛ニシテ粗製品ノ輸入ハ月ニ進ムカ如シ其進歩ノ急劇ナルコト古來ノ歴史上未タ曾テ有ラサル所ナリトス熟ラ此絶大ナル進歩ヲ致セル所以ヲ考フルニ素ヨリ外界ノ勢力ニ仰ク所多シト雖抑亦内人力ノ助長ニ由ラスンハアラス人力ノ助長トハ何ソヤ曰ハク合同是レナリ機械ノ發明是レナリ蓋第二期ノ終ヨリ第三期ニ至リテ鐵道盛ニ起リ競争益劇甚トナルニ及ンテ大ハ小ヲ併セ強ハ弱ヲ吞ミ一大合同ヲ組織シ專ラ内經費ヲ節シテ以テ外收入ノ途ヲ開キ徒ニ競争スルコトヲ避ケ以テ一般ノ進歩ヲ圖レリ近來ニ至リテ合同ノ說復ヒ熾ナリ所謂**トラスト**ナル者續々トシテ起リ今ヤ五百有餘ノ會社八十億萬弗ノ富ヲ舉ケテ**トラスト**ノ占領スル所トナレリ機械ノ發明ニ至リテハ更ニ著シキモノアリ米國ノ農業ヲシテ今日アラシメタルモノハ一ニ機械ノ力ニ因ラサルハナク商工ノ隆盛ヲ來タシタル所以ノモノ亦主トシテ機械ノ力ニ非サルハナク東西ノ連結ヲ保チ南北ノ平和ヲ維

持スル所以ノモノ皆機械ノ用ニ非サルハナシ是レ固ヨリ人口稀薄勞銀高貴ノ故ヲ以テ自ラ之カ發明ヲ促シタルモノナリト雖其勢力ノ絶大ナルコト想像ニ餘リアリ若シ米國ヲシテ機械ノ發明ナカラシメハ豈今日ノ富ト強トヲ致スコトヲ得ンヤ故ニ第三期ヲ以テ人力及ヒ天然力包含ノ時代ト稱スヘシ今ヤ米西戰爭ノ結果産業益發達シ外國貿易ハ洋ノ東西ニ充滿セントス此勢ヲ以テ進マハ向後一百年ノ進暢實ニ測ル可ラサルナリ若シ夫レ經濟ノ本源タル貨幣ノ制度如何保護政策ノ貿易上如何ナル關係ヲ有スルカハ別ニ款項ニ分ツテ之ヲ論述スヘシ且運輸交通ノ機關信用機關及ヒ保險團體組織ノ發達農工商業ノ細目ニ至リテハ章ヲ設ケ款ヲ分チ更ニ詳述スルモノアルカ故ニ今茲ニ之ヲ贅セス

◎紀元一千七百八十九年ヨリ一千九百年ニ至ル一百一十年間ニ於ケル經濟變遷紀要

一千七百八十九年四月三十日ワシントン始メテ大統領トナリ首府ヲ紐育ニ開ク財政窮乏民力疲弊政黨ノ分裂アリ。歳入ヲ計ルカ爲メ強烈飲料ニ課稅ス
 一千七百九十一年ハミルトンノ議ニヨリ合衆國々立銀行ヲヒラデルヒヤニ立ツ

一千七百九十五年一月十五日大藏卿ハミルトン償還制策ヲ發表ス。ジャコブパーキンス製釘機械ヲ發明ス。二月五日始メテ貨幣ノ制ヲ建ツ。六月廿五日ジェー條約ノ締結アリ。十二月十九日始メテ紐育物價表、船舶及ヒ商品目錄ノ發行アリ。エシエンヌボーレー製糖ノ新法ヲ發明ス
 一千七百九十六年六月一日テンチツシー合衆國ニ加入ス。八月ジョンフイツ始メテ蒸氣船ヲ浮フ。九月十七日ワシントン大統領ヲ辭シ告別ノ演說ヲ爲ス。紐育保險會社ノ設立アリ。クレীগ及ヒオーハラノ兩氏始メテ硝子製造工業ヲ設テ政府ニ立ツ
 一千七百九十七年トーマスニューホルド鐵製鋤ノ特許ヲ得。佛國政府非米國商業政策ヲ發表ス。ヒラデルヒヤノクエーカー教徒奴隸廢止ヲ國會ニ請求ス
 一千七百九十八年始メテ海軍省ヲ置ク。六月國會ハ佛國トノ商業上ノ關係ヲ停止ス。始メテ製鹽工場ヲハイヲニ立ツ。エリー湖ニ於テ米國ノ船舶ヲ浮フ。ポーター始メテ西班牙ヨリメリノ羊種ヲ輸入ス
 一千七百九十九年ナボレオン佛國西政府ヲ倒ス。八月米佛商業關係復活ス。十二月十四日ワシントン選征ス。政府五百萬弗ノ公債ニ對シテ八歩ノ利子ヲ支拂フ。マンハッタン商會紐育ニ起ル。スプリーナー始メテ播種機械ヲ發明ス
 一千八百零一年十一月二十二日第一期國會ヲワシントンニ開ク。十二月破産法ヲ發布ス。人口統計五百三十萬八千四百八十三人ヲ示ス。始メテ印度護謨ヲ輸入ス
 一千八百零一年始メテカントントン市ニ於テ板網ノ製造アリ
 一千八百零二年十一月二十九日ハイヲ合衆國ニ加入ス。ジョンビテス馬蹄薯澱粉製法ヲ發明

- ス。ヒラデルヒヤ商業會議所ノ設立アリ
- 一千八百三年四月三十日一千五百萬弗ヲ以テルイジアナヲ佛蘭西ヨリ購買ス、五月十七日フレンチ及ヒホーキンスノ兩氏苜收機械ヲ發明ス。紡績會社始メテニューハンプシアニ立ツ。シンシナチ銀行始メテ起ル
- 一千八百四年五月ジョン・ダンガン機械製絨箔法ヲ發明ス。市加高始メテ商業地トナル。ジョン・キンジーノ起ス所ナリ。國民破産法ノ撤去アリ。ボストン及ヒコンコルド川ノ間ミドルセックス運河ノ開通アリ。ウヰザリル始メテ白鉛ノ製造ヲナス
- 一千八百五年始メテ製氷ノ輸出アリ。始メテアレガニー山ヲ越エテ西ニ移ル者アリ
- 一千八百六年ペンシルベニヤ礦山ヨリ始メテヒラデルヒヤニ硬炭ヲ送ル。メルヴェール始メテ瓦斯燈ヲ用ユ。ウヰリアムローランド亞米利加鋸ヲ製造ス
- 一千八百七年テリ一時計ノ機械製造ヲ創ム。ギルバート粉麥澱粉工場ヲ起ス
- 一千八百八年一月一日奴隸ノ輸入ヲ禁止ス。ジョン・ジェー・アスター亞米利加毛皮會社ヲ起ス。ペークセル及ヒベージノ兩氏精製硝子ノ製造ヲピッツバーグニ起ス
- 一千八百九年紐育舊市廳ニ於テマンハッタ島發見ノ祝宴會ヲ開ク
- 一千八百十一年ピッツバーグヨリニューオルレアンスニ至ル間ヲハイワ及ヒミシシッピーノ西河ヲ通シテ蒸氣船ノ航行アリ。國會ハ合衆國銀行ノ再特許ヲ否決ス。麥粉ノ輸出始メテ一百萬バーレルニ達ス
- 一千八百十二年ルイジアナ合衆國ニ加入ス。六月十一日英國ニ對シテ宣戰ヲ布告ス。始メテ輪轉器械ヲピッツバーグニ起ス

- 一千八百十三年始メテ鉛版印刷ノ發明アリ。紡績器械ノ完全ナルモノ始メテウ・ールサムニ立テラル。メルビル瓦斯燈機械ヲ發明ス
- 一千八百十四年九月一日正貨ノ支拂ヲ停止ス。十二月二十四日英國トノ平和條約ヲゲントニ締結ス。ジャコブ・パーキンス鋼鐵版彫刻ヲ發明ス
- 一千八百十五年七月三日英米通商會議ヲ開ク。大藏卿ダラス保護稅策ヲ立ツ
- 一千八百十六年十一月ヒラデルヒヤニ於テ始メテ貯蓄銀行ヲ立ツ。十二月十一日インデアナ合衆國ニ加入ス。街道瓦斯燈點火始メテボルチモニアニ起ル
- 一千八百十七年一月合衆國立銀行再ヒヒラデルヒヤニ開カル。三月四日モンロー大統領トナル。十二月十日ミシシッピー合衆國ニ加入ス。蒸氣力始メテ製紙ニ應用セラル。盲啞院始メテコンチクチカット州ハルトホードニ立テラル。ハーバー印刷場ノ設立アリ
- 一千八百十八年四月十四日始メテ國旗ノ制ヲ立ツ。イルリノイ合衆國ニ合ス。西部州立銀行ノ閉店アリ。ミルス始メテシンシナチニ肉類罐詰業ヲ創ム。ホイスキー課稅免除セラル
- 一千八百十九年二月二十二日五百萬弗ヲ以テフロリダヲ西班牙ヨリ購買ス。アラバマ合衆國ニ加入ス。專賣特許製革及ヒ磁器ノ製造アリ。經濟界ノ恐慌アリ。紐育ニ始メテ貯蓄銀行ヲ起ス
- 一千八百二十年メイン合衆國ニ加入ス。蒸氣力發作ノ爲メ始メテ硬炭ヲ用ユ。ミシガン湖始メテ蒸氣船ヲ浮フ。株式取引始メテ起ル
- 一千八百二十一年ミソリー合衆國ニ加入ス。ニューペリー青銅版印刷ヲ發明ス
- 一千八百二十二年六月二十四日米佛通商及ヒ航海條約ヲ締結ス。メーソン及ヒポールドウ

シノ兩氏キヤラコノ印刷ヲ創ム。始メテ鐵管ヲ用ユ。合衆國政府始メテ西印度諸島ノ海賊ヲ征ス

一千八百二十三年十二月二日モンロー主義ヲ發表ス曰ハク歐洲各國ハ亞米利加ノ獨立國ニ對シテ關涉スヘカラス又此大陸ニ於テ領土ヲ獲得スルコトヲ許サスト。始メテ蒸氣力印刷器ヲ用ユ。紐育瓦斯燈會社一百萬弗ノ資本ヲ以テ成立ス

一千八百二十四年八月十五日ラフェット氏合衆國ニ來遊ス

一千八百二十五年バンカヒル墓碑ヲ建ツラフェット式場ニ臨ム。十一月四日エリー運河開通シクリントン始メテ紐育ニ航通ス。勞働者運動漸ク現ハル

一千八百二十六年一月八日紡織機械ノ發明者エリー・ホエット子一氏歿ス。金屬製軌條鐵道始メテクワンシーニ起ル。製茶大輪商ノ破産アリ爲メニ合衆國關稅局大ニ傷ケラル

一千八百二十七年木版ノ製造アリ、ハリソンダイア、ロングアイランドニ於テ電信線ヲ建ツ

一千八百二十八年綿及ヒ羊毛製品ニ重稅ヲ課ス。ホアード始メテ海關車ノ特許ヲ受ク

一千八百二十九年三月四日アンドリュージヤクソン大統領トナル。安全基金銀行條例紐育ニ於テ發布セラル。ジニームスコナント機械製絹絲系ノ製造ヲナス。シュライオック始メテ雜草及ヒ葎ノ纖維ヨリ紙ヲ發明ス

一千八百三十年八月三日エリー及ヒオンタリヲノ兩湖運河ノ開鑿アリ。八月四日始メテ市加高ノ市ヲ建ツ。紐育市ニ於テ始メテ乘合馬車アリ。ウ・ンダーム始メテファ・ア・ドライニア機械ヲ發明ス。ボルチモア・ヲハイヲ鐵道會社始メテ馬力ニヨリテ運轉ス

一千八百三十一年ポールドウ・ン瀛關車製造會社ヒラデルヒヤニ起ル

一千八百三十二年七月ヨリ十一月ニ至ル商業及ヒ財政上ノ恐慌アリ。十一月紐育ニ於テ始メテ市街鐵道アリ

一千八百三十三年九月三日紐育サン新聞發行セラル。十月合衆國銀行ヨリ政府基金ヲ返還セシム

一千八百三十四年マッコミック刈取機械ノ特許アリ。七月十二日湖水ヲ涉リテ蒸氣船始メテ市加高ニ着ス。綿油精製ノ企アリ

一千八百三十五年十一月七日テキザス獨立ヲ布告ス。十二月十六日紐育大火アリ損失高二千萬弗ニ及フ。市加高第一銀行ヲ起シ消防局ヲ設ク始メテ桑港ニ人家アリ。紐育ヘラルド新聞始メテ建ツ。大學教授モアス紐育大學ニ電信ヲ出品ス

一千八百三十六年二月十三日ニコラス・ピッドル合衆國銀行ノ爲メニペンシルベニヤ州ヨリ特許ヲ得。アーカンサス合衆國ニ加入ス。七月十一日金銀券ノ發行アリ。始メテ睡眠車アリ。始メテタイプライターノ發明アリ

一千八百三十七年ミシガン合衆國ニ加入ス。五月十日銀行閉店金融ノ恐慌アリ。九月四日大統領バンビュレーン大藏卿支金庫ノ制ヲ立ツ。市加高始メテ市ノ列ニ入ル

一千八百三十八年五月三十一日金銀券ノ撤去アリ。始メテ市加高ヨリ小麥ヲ輸出ス。始メテ製糖業ニ蒸氣力ヲ用ユ

一千八百三十九年十月十日合衆國銀行倒ル。十一月紐育大學化學ノ教授ドレーバー始メテ生物ノ寫眞ヲ撮影ス

一千八百四十年アダムスノエキस्पレンス起ル。製紙機械ノ發明アリ。教授モアス電信ノ

特許ヲ得。パーマー始メテヒラデルヒヤニ廣告取次所ヲ開ク
一千八百四十一年蒸氣消防車完成ス。大統領タイラー合衆國銀行法案ヲ否認ス。國會ハ破
産法ヲ通過ス。電氣版印刷始メテ起ル。始メテ興信所ヲ起ス
一千八百四十二年モーアス紐育及ヒガヴァナー島間ニ海底電信ヲ敷設ス。玉蜀黍澱粉ノ製造
アリ
一千八百四十三年始メテ耐火金庫ノ特許アリ。ワイルダーノ發明ニヨル。國會ハモーアス教授
ニ對シ三萬弗ヲ補助シワシントン及ヒボルチモリア間ノ電信線ヲ架設セシム
一千八百四十四年五月二十七日モーアス教授始メテボルチモリアヨリ電信ヲワシントンニ送
ル。七月三日清國トノ條約ヲ締結ス。スーベリア湖畔銅礦ノ探掘アリ
一千八百四十五年テキザス及ヒフロリダ合衆國ニ加入ス。ワシントンボルチモリア間公衆電
信ヲ開ク
一千八百四十六年磁石力電信會社起ル。五月十一日墨西哥ニ對シテ宣戰ヲ布告ス。七月五日
カリホルニヤ獨立ヲ布告ス。ニューメキシコ合衆國ニ加入ス。日本帝國通商貿易締結ヲ拒
ル
一千八百四十七年ペンシルベニヤ州リハイ郡ニ於テ亞鉛礦ノ發見アリ
一千八百四十八年一月十八日ジョン・エム・マーシャルカリホルニヤノ金坑ヲ發見ス。墨西哥ト平
和ノ條約ヲ結フ。ウヰスコンシン合衆國ニ加入ス
一千八百四十九年一月九日始メテ桑港ノ銀行ヲ設ク。カリホルニヤ移住民續々トシテ起ル。
紐育共同通信社建ツ

一千八百五十年カリホルニヤ合衆國ニ加入ス。人口二千二百十九萬一千八百七十六人ニ増加
ス。石炭ノ輸出漸ク盛ナリ
一千八百五十一年五月三日桑港大火アリ。六月二十二日再ヒ大火アリ。ウヰスタンユニオン
電信會社ノ設立アリ
一千八百五十二年十一月二十四日水師提督ベルリ通商條約締結勸誘ノ爲メ日本帝國ニ航ス。
消防警報電信始メテポストンニ行ハル
一千八百五十三年九月十四日水師提督ベルリ大統領ノ書翰ヲ日本政府ニ奉呈ス。十月十一日
紐育手形交換所ノ設立アリ
一千八百五十四年三月三十一日日本帝國トノ條約ヲ締結ス。六月七日英米水産互惠條約ヲ締
結ス。ペンシルベニヤロック石油會社起ル。ミリアポリスニ於テ始メテ製粉場ノ設立アリ。
一千八百五十五年始メテ綿油ノ功用アリ。航海業黄金時代トナス
一千八百五十六年カリホルニヤ州ニ於テ始メテ鐵道アリ。ベスマー鋼鐵ノ製作アリ。カリホ
ルニヤニ於テ硝石ノ發見アリ
一千八百五十七年八月二十四日ヲハイライフ・エンド・トラスト商會ノ破産アリ。經濟界ノ恐
慌ヲ來タス。十月十五日各銀行ハ正貨ノ支拂ヲ停止ス。十二月四日正貨ノ支拂ヲ復活ス。
日本茶始メテ輸入セラル
一千八百五十八年ミンチソタ合衆國ニ加入ス。コロラド州金坑ノ發見アリ。八月四日大西洋
海底電信線ノ敷設ヲ完フス。ウヰルスファーゴー商會大陸貨運郵便會社ヲ起ス
一千八百五十九年オレゴン合衆國ニ加入ス。八月十六日清國トノ條約ヲ締結ス

- 一千八百六十年三月二十七日ベルリ條約批准ノ爲メ日本帝國ノ使節桑港ニ到着ス
- 一千八百六十一年一月九日内亂始メテ起ル。三月四日アラハムリンコルン大統領トナル。
- セントルイ桑港間始メテ電信ノ交通アリ。十二月三十日銀行ハ正貨ノ支拂ヲ停止ス。鉛版新聞印刷始メテ行ハル。マッケー裁縫器械ノ特許アリ
- 一千八百六十二年二月二十五日始メテ法貨條例ヲ發布ス。ユニオンパシフィック鐵道會社起ル。
- 市加高肉類雜詰ノ中心トナル。アラバマ號事件アリ
- 一千八百六十三年一月一日三百十二萬ノ奴隸自由開放ヲ布告ス。西ヴァージニア合衆國ニ加入ス
- 一千八百六十四年一月二十一日六朱附育札ノ償還基金ノ準備ヲ停止ス。七月十一日金貨一弗ハ紙幣二弗八十五仙ヲ價ス。子ヴァダ合衆國ニ加入ス。綿布ノ價十倍ニ騰貴ス。北太平洋鐵道會社起ル。始メテブールマン會社ノ創立アリ
- 一千八百六十五年四月九日南軍ノ將リ降伏ス。四月十四日大統領リンコルン暗殺セララル。
- 紐育株式取引所大ニ擴張セララル
- 一千八百六十六年六月二十五日日本帝國ト通商上ノ協商ヲ終了ス。第二太西洋海底電線ノ敷設アリ。國民消防協會ノ設立アリ
- 一千八百六十七年子ブラスカ合衆國ニ加入ス。國民破産法ヲ通過ス。十月九日七百二十萬弗ヲ以テアラスカヲ露西亞ヨリ購買ス
- 一千八百六十八年一月二十八日市加高失火ス。七月四日清國ト新條約ヲ締結ス。南北戰爭ノ際叛シタル諸州悉ク再ヒ加入ヲ許サル。七月二十五日國會ハ國債償却法案ヲ通過ス

- 一千八百六十九年五月十五日東西大陸鐵道始メテ貫通ス。始メテ米佛間ノ海底電線ヲ完フス
- 一千八百七十年ミシシッピー州ノリベールス始メテ元老院議員トナル之ヲ最初ノ黑人議員トナス
- 一千八百七十一年一月二十六日所得税法ヲ撤去ス。十月八日市加高大火アリ二億萬弗ノ損害アリ
- 一千八百七十二年七月一日製茶及ヒ咖啡ノ稅ヲ免ス。十一月九日ボストン大火アリ
- 一千八百七十三年九月十八日紐育ノジェー・クック商會倒レ經濟界ノ恐慌ヲ來タス
- 一千八百七十四年七月十四日市加高又火ヲ失ス。マッサチユセツ州十時間法ヲ通過ス
- 一千八百七十五年正貨償還シアーマン法ヲ通過ス。八月二十六日カリホルニヤ銀行閉店ス。パレスホテル始メテ桑港ニ建ツ
- 一千八百七十六年三月七日ベル電話ノ特許アリ。コロラド合衆國ニ加入ス
- 一千八百七十七年一月四日ヴァンダービルド歿ス遺產一億萬弗ニ上ル。七月一日鐵道大ストライキ起ル
- 一千八百七十八年二月ブランド購銀條例ヲ通過ス。七月二十五日清國ノ使節桑港ニ到着ス。金紙幣ノ差甚シ
- 一千八百七十九年一月一日政府ハ再ヒ正貨ノ支拂ヲ回收ス
- 一千八百八十年エヂソン始メテ電氣鐵道ヲ試ム
- 一千八百八十一年國務卿ブレイン再ヒモンロー主義ヲ主張ス
- 一千八百八十二年支那人禁止條例ヲ通過ス。國立銀行繼續法案ヲ通過ス

- 一千八百八十三年新關稅法ヲ實施ス。朝鮮ト條約ヲ結フ
- 一千八百八十四年墨西哥ト條約ヲ結フ
- 一千八百八十五年二月二十二日ワシントンノ基礎ヲ建ツ。支那人排斥ノ運動盛ナリ。長距離電話始メテ行ハル
- 一千八百八十六年紐育高架鐵道始メテ電氣機關車ヲ試ム
- 一千八百八十七年二月十九日商業銀貨法案ヲ通過ス。四月三日州債貿易委員會ヲ設立ス
- 一千八百八十八年三月ベル電話專賣特許大審院ノ判決ヲ經テ確實トナル。始メテ電氣市街鐵道ノ敷設アリ
- 一千八百八十九年始メテ農務省ヲ置ク。ワシントン百年祭ヲ執行ス。南北ダコタ合衆國ニ加入ス。モンタナ及ヒワシントン合衆國ニ加入ス
- 一千八百九十年四月二十五日大統領ハリソン世界大博覽會法案ヲ裁可ス。マッキンレー關稅法案ヲ裁可ス。人口ノ統計六千二百六十六萬二千二百五十八人ヲ示ス
- 一千八百九十一年萬國版權法案ヲ通過ス
- 一千八百九十二年三月二十一日スタンダード石油トラストノ解散アリ。十二月二十一日コロラド盛ニ金坑ヲ發見ス
- 一千八百九十三年五月一日世界大博覽會ヲ市加高ニ開ク。支那人禁止條例ヲ修正ス。經濟界ノ恐慌アリ。購銀撤去法案ヲ通過ス
- 一千八百九十四年二月五朱利附五千萬弗ノ公債ヲ發行ス。十一月更ニ五千萬弗ヲ發行ス。ウルソン國稅法案ヲ通過ス

- 一千八百九十五年製鐵ノ業甚盛ナリ
- 一千八百九十七年デンクグリー關稅法案ヲ通過ス
- 一千八百九十七年右關稅法ヲ實施ス
- 一千八百九十八年西班牙ニ對シテ宣戰ヲ布告ス。三朱利子附二億萬弗ノ軍事公債ヲ起ス。軍事稅法案ヲ通過シ直ニ之ヲ實施シ新ニ製茶ノ輸入稅ヲ課ス。西班牙ハ致馬ポルトリコヲ割讓シ二千萬弗ヲ以テ菲律賓ヲ西班牙ヨリ購買ス
- 一千八百九十九年日米新條約ヲ實施ス
- 一千九百年國會ニ於テ貨幣及ヒ國立銀行法案ニカラグワ運河英米交涉事件太平洋海底電線ノ敷設トラスト法案其他重要ナル經濟上ノ問題ニツキ評議スル所アリ

第一款 經濟組織ト貨幣制度

茲ニ所謂經濟組織トハ經濟的機關ノ謂ニシテ例ヘハ運輸交通信用及ヒ保險ノ機關若クハ商業團體ノ組織、農工商業上ニ於ケル各個ノ機關、廣告的機關等ニ於ケルカ如シ是等ノ機關ハ皆相俟テ以テ產業ノ發達ヲ促スモノニシテ若シ其機關ニシテ整備スルコトナク運轉ニシテ圓滑ナラサシメハ國如何ニ大ニ、土地如何ニ豊饒ナリト雖以テ一國ノ進暢ヲ期ス可ラス米國建國以來未タ一百二十餘年ニ滿タス而モ尙此種ノ機關皆能ク發達シ各其所ヲ得テ益進歩セントスルモノノ如シ況

ンヤ外ニハ輸入ノ重税ヲ課シテ以テ内保護ノ實ヲ舉クルニ於テヤハ是等無數ノ機關ハ皆相頼リ相助ケテ以テ一致ノ方針ニ出テサル可ラスト雖之カ首腦ノ機關タル貨幣制度ニシテ之ニ伴ハサラシメハ何ヲ以テカ其大成ヲ期スヘケンヤ一般ノ經濟組織ニツキテハ更ニ章ヲ分チ款ヲ設ケテ論述スル所アルヘシ故ニ茲ニハ專ラ貨幣制度ノ大體ヲ述ヘテ其發達カ如何ニ米國全體ノ經濟ニ對シテ影響スル所アルカヲ論究セントス

米國ノ貨幣制度 ハ建國以來今日ニ至ル迄幾多ノ變遷ヲ經タリト雖今之ヲ大別スルトキハ左ノ五期トナスコトヲ得ヘシ

- 第一期—銀貨時代 紀元一千七百九十二年ヨリ一千八百三十三年ニ至ル
 - 第二期—金貨時代 一千八百三十四年ヨリ一千八百五十二年ニ至ル
 - 第三期—紙幣時代 一千八百五十三年ヨリ一千八百七十二年ニ至ル
 - 第四期—金貨單本位時代 一千八百七十三年ヨリ一千八百七十七年ニ至ル
 - 第五期—變遷ノ時代 一千八百七十八年ヨリ現今ニ至ル
- 今此順序ニ從ヒテ述フル所アルヘシ

第一期銀貨時代 米國ニ於ケル殖民ノ當初ニ在リテハ通用貨幣ノ制度甚一

ナラス恰モ往古ニ於ケル物々交換ノ時代ト均シク各州ニ於テ生産スル物品ヲ以テ交換ノ媒介即チ貨幣ノ用ニ充テタルモノ多シ例ヘハ一千六百十九年ヅノ**イジニア**州ノ州會ニ於テ烟草ヲ以テ一般ノ通用貨幣トナシ全ク法貨ノ性質ヲ有セシ**メーリーランド**州モ亦烟草ヲ以テ法貨ト爲シ**マッサチセツ**州ニテハ玉蜀黍或ハ獺ノ毛皮ヲ以テ法貨ト爲シ或ハ小麥裸麥、燕麥、豌豆、乾魚、家畜等ヲ以テ貨幣ノ用ヲ爲サシメ各其比例ヲ定メテ價ヲ一ニシタルカ如シ一千六百五十二年**マッサチセツ**州ニ於テ新ニ造幣局ヲ設立シ始メテ銀貨ノ鑄造アリ所謂松樹シリングナル者はレナリ又米ヲ以テ通貨ノ用ヲ爲サシメ金砂ヲ以テ同一ノ目的ニ使用シタルコト猶カ**ロライナ**及**ピカリホルニヤ**州ニ於ケルカ如シ之ヲ要スルニ**ヴァージニア**州ノ如キハ概左ノ變遷ヲ經タリ即チ一千六百三十三年ニ在リテハ金銀ヲ以テ唯一ノ法貨ト定メ二千六百四十二年ニハ烟草ヲ以テシ二千六百五十五年ニハ烟草、銀及ビ小麥ヲ以テ法貨ト爲シ一定ノ率ヲ定メ一千六百六十六年ニハ豌豆、玉蜀黍、裸麥、大麥、生糸等ヲ以テシ一千七百三十七年ニハ烟草證券ヲ以テ烟草ノ負債ニ對シテ償却スルコトヲ得ヘキ法貨ト爲シ之ヲ他ニ流用スルコトヲ得ス一千七百三十年ニハ烟草ノ證券ヲ以テ

烟草ノ負債ニ對スル唯一ノ法貨ト定メ一千七百五十五年ニハ銀貨ヲ以テ烟草證券トノ間ニ一定ノ率ヲ定メ之ヲ烟草ノ負債ニ充ツルコトヲ得セシメタルカ如シ

斯ノ如ク殖民地創設ノ時代ニ在リテハ貨幣ノ制度甚ニナラス或ハ一州ニ限リ一部ニシテ通用セラレタル貨幣アリ或ハ一州ノ間貨幣ノ種類又ハニセズ硬貨トシテ認ムヘキ者ハ専ラ外國ノ貨幣ヲ用キ西班牙弗ヲ以テ通用貨幣ノ本位ト定メ他ノ貨幣ハ皆之ニ準シテ交換スルコトヲ得セシメ外ニ英佛葡等ノ貨幣雜用セラレ久シク其狀況ヲ維持シタルモ時勢ノ變遷產業ノ發達ト共ニ雜種貨幣ノ不便ヲ感シ痛ク商業ヲ傷クルコトアルヲ知ルニ及ンテ當時ノ財政局長ロバートモーリスハ米國造幣局ノ新設ヲ主張シ國會ノ同意スル所トナレリ時ニ一千七百八十二年ナリ然レトモ氏ハ如何ナル金屬ヲ以テ弗ト定ムヘキカノ疑問ヲ生シ金銀ノ兩貴金屬ハ其比價常ニ高低アリ相並ンテ之ヲ用ユルコト能ハサルヲ知リ金銀ノ比ヲ一ニ對スル十四半ト定メ専ラ銀貨ノ單用ヲ主張セリゼフアーンソンハ亦硬貨ノ十進法ヲ立テ弗ヲ以テ單位ト定ムルコトヲ主張シタリト雖未タ其實施ニ至ラス一千七百八十五年殖民人ハ一般ニ正貨ノ流通ヲ希望シ

且銀ノ供給夥多ナルコトヲ知リ國會ハ始メテゼフアーンソンノ說ヲ採用スルニ至レリ當時金銀ノ比ハ甚ニナラス或ハ一ニ對スル十五トナシ或ハ十五二五トナシ十四七五トナセル者アリ未タ一致スル所アラザリキ

米國ニ於ケル兩本位ノ創立者ハ彼ノ有名ナルアレキサンダーハミルトンニシテ氏ハ専ラ金貨ヲ以テ通用貨幣トナスヘキコトヲ主張シタリト雖銀貨ノ共用ヲ以テ利アリトナシ金多キトキハ金ヲ用キ金行ケハ銀ヲ用キ以テ通貨ノ缺乏ヲ感セザランコトヲ希ヘリ然レトモ其比價ヲ定ムルニ至リテ一大困難ヲ感シ遂ニ當時世界萬國商業界ノ市價比例ヲ採ラスシテ合衆國ノ市價比例ヲ採用セリ是レ實ニ氏ノ失策ト謂ハサルヲ得ス氏ハ西班牙弗ヲ以テ單位トナシ一ニ對スル十五ノ比ヲ定メ三百七十一グレイン四分ノ一ヲ以テ一弗銀貨ノ純銀量トナセリ此時ニ方リテベントンナル者アリ痛ク氏ノ說ヲ攻撃シ硬貨ヲ盛ニ海外ニ流出セラレハハ全ク之カ爲メナリト絶叫セリ然リ銀ハ此幣制定ノ後漸ク低落シ金ニ對スル比例ヲ失ヒシカ所謂グレシヤムノ法則ニ從ヒ金貨ハ盛ニ海外ニ流出セルニ至レルモノナリ加之會テ人民ニ交附シテ造幣料ヲ課スルコトナクシテ以テ金銀貨ノ鑄造ヲ許シタリシカハ爭フテ皆銀貨ノ鑄造ヲ請求シタ

リ且當時ノ貨幣法ニヨレハ銀貨モ亦支拂額ノ制限ナク金貨ト共ニ全ク法貨ノカヲ有シタリシカハ銀貨ノ金貨ヲ驅逐シテ專ラ之ヲ通用ヲ見ルニ至レルハ亦怪シムニ足ラサルナリ之ヲ建國當時ノ貨幣法トナス可キ也蓋シ銀貨ノ價ハ一千七百八十年以來漸ク低落シリトトヘーア氏ノ統計ニヨルトキハ銀貨ノ價ハ一千七百八十三年ニ至リ一千八百七年迄ハ一ニ對スル十五五ノ比ニ近カリシカ一千八百十三年ニ至リテハ一ニ對スル十六トナリハミルトン法ノ根本ヲ危クセルコトヲ知ルニ足ル於是乎一千七百九十二年ヨリ一千八百三十四年ニ至ル迄四十四年間ハ米國ヲ通シテ金銀ヲ見ルコトヲ得ス銀行アリト雖其準備ハ悉ク銀ニシテ絶エテ金貨ヲ見サリシト云フ之ヲ要スルニ一千七百九十二年造幣局新設ノ當時ニ在リテ金銀ノ比價ハ一ニ對スル十五ナリシト雖世界的金銀ノ市價ハ漸ク變遷シ來レルコトヲ知ラスシテ遂ニ此不幸ヲ招クニ至レルナリ

一千八百二十年ヨリ一千八百三十年ニ至ル米國通貨ノ狀況ハ徒ニ紙幣ノ濫發ヲナシタルニ反シテ金貨ノ準備ナク一方ニ於テハ外國貨幣ノ通用尙盛ナルモノアリテ實ニ混沌タル狀況ヲ呈シタリシカ當時合衆國銀行ハ專ラ保守ノ政策ヲ執リ可成紙幣ノ濫發ヲ避ケ以テ其準備ヲ危クセサランコトヲ期シタリ一千

八百十一年其特許期限ノ盡ルニ及ンテ地方銀行ハ再ヒ勃興シ復タ紙幣濫發ノ弊ヲ招キ一千八百十七年再ヒ合衆國銀行ノ設立アリ正貨支拂ノ方策ヲ採リタリト雖其所謂準備ハ悉ク銀貨ニ外ナラス而シテ當時盛ニ用キラタル西班牙弗ハ其目方米銀ヨリモ重クシテ同シク一弗ノ通用ヲナセルニ止マリシカ故ニ米銀ヲ通用スルコトヲ得ヘキ土地ニ輸出シテ之ヲ墨銀ト交換シ之ヲ貯藏シテ以テ其通貨ヲ減縮シタルカ故ニ外國ノ銀弗ニ對シテハ一步ノ四分ノ一乃至二分ノ一ノ打歩ヲ支拂ハサルヲ得ス又銀行ハ皆銀ノ輸出ヲナスニ方リテハ悉ク米銀ヲ以テシタルカ故ニ通貨ハ日ニ缺乏ヲ告ケ造幣局ハ鑄造ノ繁ニ堪ヘス遂ニ一千八百五年ニ至リ全ク之ヲ禁止シ一千八百三十六年ニ至ル迄ハ再ヒ之ヲ鑄造セザリキ試ミニ一千八百三十年ニ於ケル米國正貨ノ通用高ヲ見ルニ全體ノ正貨ハ二千三百萬弗ニシテ内一千四百萬弗ハ米國ノ鑄造ニ係リ五百萬弗ハ西班牙弗ナリシト云フ而シテ其當時ニ至ル迄米國ニ於テ鑄造セル銀貨ノ總額ハ實ニ三千四百萬弗ナリシト云フヲ見レハ二千萬弗ハ正ニ海外ニ向ツテ輸出セルモノナルヲ知ルヘシ其鑄造ヲ中止スルニ至リテ銀弗ノ通用貨幣缺乏ヲ感シタリシカハ西班牙弗ト同一ノ重量及ヒ純分ヲ有スル貨幣即チ墨西哥コロンビ

ヤ、智利及ビベルーノ各國ニ於テ鑄造セラレタルモノニシテ四百十五グレイン以上ノ重量ヲ有スルモノハ總テ之ヲ法貨ト認定セラレンコトヲ請求スル者アリシト雖斯ノ如クスルトキハ再ヒ徒ニ米國ノ銀貨ヲ驅逐スルノ恐アルヲ以テ一千八百三十四年正月外國貨幣ト米國貨幣トノ間ニ一定ノ率ヲ定メテ之ヲ通用スルコトヲ得ルノ法律ヲ發布セリ既ニシテ一千八百三十四年ニ至リ國會議員ホァイト氏ノ新貨幣法案ヲ議會ニ提出スルアリ議論區々ニシテ頗多岐ニ亘リシカ途ニ一ニ對スル十六ノ比例ヲ以テ此法案ヲ可決セリ所謂金貨法案ト名ツクルモノ是レナリ然レトモ此比例ハ當時ノ市價(一ニ對スル十五七)ニ對シテ三分ノ差ヲ示セシカハ再ヒグレシヤムノ法則ニ從ヒ低價ナル金貨ハ高價ナル銀貨ヲ驅逐シ全ク前者ト反對ノ情勢ヲ生スルニ至リテ一時英蘭銀行ノ金準備ヲシテ薄弱ナラシムルノ恐ヲ生シ米國ハ復タ殆銀貨ヲ見ルコト能ハサルニ至レリ若シ當時銀貨ノグレイン數ヲ増加シ金貨ノ價ニ比例セシメテ以テ其低落セル價值ヲ補ハシメハ或ハ此弊ヲ防クコトヲ得ヘカリシニ不幸ニシテ金貨ノ分量ノ減少シテ銀貨價值ノ低落ニ適合セシメ以テ之ヲ防カンコトヲ期シ十弗金貨ノ二百四十七五グレインヲシテ二百三十二グレイントナシ一千八百三十

四年前ニ於テ有シタル法貨ノ價值ヲ薄少ナラシメタリ又一千八百三十七年ニ至リテハ銀ノグレインヲ減シテ四百十二半トナシ益不穩ノ狀況ニ陥レタリ

第二期金貨時代

一千八百三十四年ヨリ一千八百四十八年ニ至ル迄ハ金貨

時代ノ初期ニシテ同年ニ至リテ俄ニカリホルニヤ金坑ノ發見アリ從來金ノ産額ハ米國ヲ通シテ僅ニ三千八百萬弗ナリシモノ一千八百五十年トナリテハ一億五千萬弗ノ産額アルニ至レリ於是乎金ノ價ハ著シク低落シタリシカハ再ヒグレシヤム法ノ侵ス所トナリ金貨ハ盛ニ銀貨ヲ驅逐スルニ至リ一千八百三十四年ノ條例ニ從フトキハ銀ハ金ニ對シテ十六ノ比例ヲ有シ金ノ二十三・二グレインハ銀ノ三百七十一・二五グレインニ均シカリシモノ一千八百五十三年ニ至リテハ一ニ對スル十五・四トナリ金ノ二十三・二グレインハ宛テ銀ノ三百五十七グレイン四分ノ一ニ相當シ即チ銀貨法貨ヨリモ少キコト十四グレインナリシカ故ニ價高キ銀貨ヲ用ユル者ナク之ヲ鑄潰スル者續々トシテ出テ銀ハ全ク商品ノ形トナリテ顯ハレ金貨ハ米國ニ充滿スルニ至レリ一千八百五十三年遂ニ條例ヲ發布シ精神的ニ米國複本位制ノ破壞ヲ見タリ是レ蓋米國ノ國會ハ複本位ヲ以テ架空ノ説トナシ絶對的不能ノ理論トナシタレハナリ然レトモ此條例

ニ於テハ銀弗ノ處分法ニ於テ規定スル所ナカリシカハ銀貨ハ地ヲ拂フテ空シク全ク金貨ノ流通ヲ見ルニ至レリ此條例ニ從ヘハ一弗ニ對スル銀グレインノ分量ハ三百四十五六ニシテ即チ一千八百三十四年ノ條例ニ比シテ恰モ六九一分ノ低減ヲ見タリ換言スレハ銀貨ヲシテ補助貨タルノ位地ヲ減少セシメントスルニ在リ假令金銀ノ比價高低ヲ生スルトモ以テ補助貨ニ及フ勿ラシメタリ斯ノ如クシテ銀塊ヨリモ大ナル價值ヲ有セシメ以テ通用貨幣ヨリ消滅スルコトヲ防キ又銀塊ノ徒ニ造幣局ニ集マランコトヲ恐レ補助貨ノ自由鑄造ヲ禁止シ大藏大臣ノ意見ニ從ツテ其額ヲ増減スルコトヲ得セシメ他方ニ於テハ補助貨ヲ法貨トシテ使用スルコトヲ得ルノ程度ヲ定メ極メテ少額ノ範圍ニ限ラシメタリ之ヲ金貨時代ノ初期トナス

第二期紙幣時代

一千八百五十三年ノ條例以來内亂ノ起ルニ至ル迄ハ能ク此條例ノ精神ヲ墨守シタリシカ一千八百六十二年法貨條例ノ發布アルニ及ンテ州立銀行ニ於テ發行セラレタル紙幣ハ盛ニ流通シ同年二月二十五日合衆國紙幣一億五千萬弗ヲ發行シ同七月十一日再ヒ同額ノ紙幣ヲ發行シタルヲ以テ紙幣ハ俄ニ膨脹ヲ告ケ殆二割ノ打歩ヲ拂フテ金貨ト交換スルニ至レリ於是乎

グレシヤムノ法則ハ復ヒ顯ハレ紙幣ハ全ク金貨ヲ驅逐シ一千八百七十九年ニ至ル迄絶エテ金貨ヲ見サリキ紙幣ハ尙此ニ止マラス再ヒ補助貨ヲ驅逐シ通貨ノ缺乏ヲ告タルニ至リテ國會ハ新ニ條例ヲ發布シ一弗以下ノ紙幣ヲ發行スルコトヲ禁シ併セテ五弗以下ノ紙幣ハ三千五百萬弗以上ヲ發行スルコトヲ得ストナシ以テ小貨幣ノ減少ヲ防キタリ此ノ如クシテ紙幣ハ全ク他ノ通貨ヲ蹂躪シタリシカハ一千八百七十三年十月當時ノ大藏卿ハ其急ヲ救フト稱シ一弗以下ノ紙幣ハ正貨ト交換スルコトヲ得ト命令セルモ其實正貨ノ準備ハ極メテ少額ナル銀貨ニ限ラレタリ素ヨリ時勢ノ然ラシムル所ナリ下雖當時財政家ハ淺見驚クニ堪ヘタリ先是同年商業界ノ大驚慌アリ紙幣ハ又々下落シ金一弗ニ對シテ僅ニ九十四仙ノ價ヲ有スルニ過キタリキ銀貨モ亦缺乏シタルカ故ニ右大藏卿ノ命令アルニ及ンテ紙幣ト交換シテ得タル銀貨ハ再ヒ見ハルコトナク日ニ數百萬弗ヲ交換シテ唯紙幣ノ流通ヲ見ルニ外ナラサリシト云フ於是乎一千八百七十五年回收條例ノ發布ヲ見ルノ已ムヲ得サルニ至レリ蓋合衆國紙幣特ニ所謂青札ハ最重要ナル問題ナルヲ以テ別ニ論スル所アルヘシトシテ一千八百七十三年ノ條例ニ依リテ始メテ所謂貿易銀弗ヲ發行ヲ見ルニ至レリ

是レ蓋東洋殊ニ日本及ヒ支那トノ貿易ニ對シテ鑄造スル所ニシテ當時東洋ニ於テ通用シタル墨西哥弗ハ米國ノ貿易銀弗ヨリモ銀ヲ含ムコト少キヲ以テ東洋人ハ漸ク其利アルヲ見テ專ラ之ヲ通用セントシ米國ハ又銀ノ生産盛ナルヲ以テ之ヲ他ニ流用セントスルノ目的ニ出テタルモノナリ然レトモ此貨幣ハ專ラ東洋貿易ニ用ユルモノニシテ敢テ内國ニ於テ通用スルヲ許サザリキ

第四期金貨單本位時代

既ニ前ニ述ヘタル如ク一千八百七十三年ノ條例ニ依リ銀貨ノ鑄造ヲ停止シ紙幣ハ殆唯一ノ通貨ニシテ絶エテ金銀ノ貨幣ヲ見ルコトヲ得ス一千八百七十五年ニ至リテ著シク銀ノ下落アリ始メテ再ヒ銀貨自由鑄造ノ說アリ蓋銀ノ下落ハ一千八百七十二年起リ一千八百七十六年其極ニ達シ爾來幾多ノ高低アリ羅典同盟諸國カ一千八百七十四年銀貨ノ自由鑄造ヲ停止シ一千八百七十八年ニ至リテ全ク其造幣局ヲ閉鎖シタルカ故ニ銀ハ益低落セリ此時ニ方以テ米國ハ自ラ此下落ヲ止メント欲シ一千八百七十六年十二月所謂**ブランド**條例ヲ發布シ既ニシテ一千八百七十八年ニ至リテ銀貨ノ自由鑄造ヲ許ルサレシコトヲ主張シタル者アリシカ議會ハ其問題ハ大ニ遂ニ回收條例ノ復活ヲナシ全ク當時ノ金本位トハナレリ

第五期變遷時代

一千八百七十三年ノ條例ハ銀貨ノ自由鑄造ニ關シテ規定スル所ナク單ニ合衆國政府ハ一ヶ月二百萬乃至四百萬弗ノ銀塊ヲ購買シ之ヲ以テ四百十二グレイン半ノ銀弗ヲ鑄造スヘキコトヲ規定セルニ過キス而シテ何人ト雖當時僅ニ九十仙ノ價值ヲ有スルニ過キサリシ銀貨ヲシテ如何ニシテ金弗ト相並ンテ流通スヘキカヲ知ルコトヲ得ザリキ蓋**ブランド**銀弗ハ無制限ノ法貨ニシテ補助貨幣ハ十弗ヲ以テ法貨ノ限度トナシ更ニ銀券ヲ發行シ之ヲ流通セシメタルカ故ニ其銀券ヲ**ブランド**弗ト交換スルコトヲ得セシメ關稅若クハ課稅ノ爲メニ重キ重量ヲ有スル銀貨ヲ用ユルコトヲオサスシテ銀券ヲ用キ以テ金貨ト同比ニ通用スルコトヲ得セシメタリ一千八百八十二年議院ニ對シテ貿易銀弗ノ處分ニツキテハ一千八百七十三年シアーマン氏ノ發議ニヨリ其價ヲ定メ一弗ヲ以テ一百四仙ノ値ヲ有スルモノトナシ以テ國內ノ通用ニ充テシコトヲ期シタルモ其實功ヲ見ルニ至ラス既ニシテ一千八百七十七年トナリテハ合衆國紙幣ハ金一弗ニ對シテ九十五仙ノ値ヲ有スルニ至リ貿易銀弗ハ僅ニ九十三仙ヲ值スルニ過キサリキ於是乎貨幣仲買人ハ盛ニ貿易銀ヲ吸收シテ之ヲ内國ニ散布シタリシカハ一時非常ナル流通ヲナシ其本來ノ目的タル貿易銀

ノ性質ヲ失シ絶エテ海外ニ輸入スルコトナク再ヒ其弊ヲ醸スニ至リテ更ニ大藏卿ニ命シテ凡三千六百萬弗ノ貿易銀ヲ鑄造セシメ專ラ貿易ノ用ニ供シタルモ其現存スルモノハ既ニ合衆國法貨タルノ性質ヲ失ヒ銀塊トシテ認めラルニ過キス

合衆國大藏省ハ紐育支金庫ニ於テ共ニ之カ收支ヲ爲スカ故ニ自ラ紐育手形交換所ノ會員トナリ一般ノ通貨ヲ交換スルコトヲ例トセシカフランド條例ハ發布ト共ニ交換所ハ銀貨ヲ收受スルコトヲ厭ヒシカハ一千八百八十二年新ニ條例ヲ發布シ荷モ銀券ヲ收受スルコトヲ欲セサル國立銀行ハ手形交換所ノ會員タルコトヲ得スト規定シ強ヒテ國立銀行ヲシテ銀券ヲ收受セシメタリ爾來大藏省準備金ノ問題ハ久シク財政家ノ腦漿ヲ痛マシムル所ナリシカ本年二月新法ヲ發布シテ金本位ヲ確立シ併セテ國立銀行條例改正ヲ行ヘリ
現今米國ニ於テ通用スル貨幣ハ左ノ七種トナス
一金貨 法貨ニシテ無制限ノ支拂ヲナスコトヲ得ルモノトス
二銀貨 二千八百九十年ノ條例ニヨリテ發行セラレタル大藏省證券ハ契約證書ニ明文ナキ限りハ全ク法貨トシテ通用セラレ一弗以下ノ銀貨及ヒ白銅貨即チ補

助貨ハ一定ノ額ニ達スル範圍内ニ於テ法貨タリ

三合衆國證券 即チ青札ト稱スルモノニシテ支拂ノ額ハ法律ニ依リテ制限セラレ即チ公債ノ利子及ヒ輸入税ヲ除クノ外ハ法貨トシテ用ユルコトヲ得但一千八百七十九年正貨ノ兌換ヲ回收シタルヨリ以來大藏省令ニ從ツテ輸入税ノ支拂ニ供スルコトヲ得

四小紙幣(部分紙幣)殘餘

五國立銀行紙幣 ハ各國立銀行間ノ負債償却ニ充テ若クハ政府ニ支拂フヘキ一切ノ用ニ充ツルコトヲ得但輸入税又ハ公債ノ利子ニ充ツルコトヲ得

六正貨銀行券

七金券

一千八百九十八年ノ統計ニヨレハ貴金屬貨幣即チ金塊、銀塊、金貨、銀貨(二弗)銀補助貨ニシテ大藏省、國立銀行及ヒ他ノ銀行其他一般ノ通貨ヲ合セテ十四億九千九百十八萬七千五百二十三弗ヲ有シ紙幣ハ法貨紙幣(舊發行)同(一千八百九十年發行)金券、銀券、國立銀行紙幣、通用券ヲ合セテ十一億三千八百四十四萬一千二百二十六弗ニシテ即チ全體ノ合計二十六億三千七百六十二萬七千六百四十九弗ヲ有ス而シテ常

ニ貨幣制度ノ重大問題ヲ作ス所ノモノハ即チ銀券凡四億萬弗國立銀行券凡二億二千八百萬弗舊發行紙幣凡三億四千七百萬弗ノ三者ニ在リトス

●米國ニ於ケル青札

既ニ本論ニ於テ述ヘタルカ如ク米國貨幣制度ノ第三期ハ所謂紙幣時代ニシテ就中青札ハ其大部分ヲ占メ今日ニ至ル迄尙四億萬弗ノ通用アリ之カ處分法ニ就キテハ政治家實業家ヲ擧ケテ朝野ノ別ナク官民ノ差ナク皆等シク腦漿ヲ痛ムル所ニシテ政黨間ノ一大問題タル金銀貨幣制度ノ骨髓ハ實ニ茲ニ存ス故ニ特ニ少シク詳細ニ述フル所アラントス
抑青札ノ歴史ヲ陳フルニ先チ合衆國ニ於ケル紙幣ノ一斑ヲ說述スルノ必要ナルヲ覺エ蓋米國ニ於ケル紙幣ハ一千六百九十年マッサチュセツツ殖民地ニ於テ始メテ發行セラレ加奈太征討ノ士卒ニ對シ支拂ノ用ニ充テシカ爲メニシテ當時國庫ハ空乏ヲ告ケ將卒ハ他ニ收入ノ途ナキヲ訴ヘシカハ州會ハ四萬ポンド(本書中ドトアルハ分量ノトキハ凡五弗ト見ルヘシ)ノ紙幣ヲ發行シテ納稅及ヒ一般ノ物品購買ノ用ニ供スルコトヲ得ト爲セリ然レトモ此紙幣ハ償還ノ期限ヲ有セス利子ヲ附

セス法貨ノ性質ヲ有セザリシカ故ニ一ポンドニシテ僅ニ十二乃至十四シルリン
グノ値ヲ有スルニ過キサリシカ一千六百九十二年始メテ法貨ノ性質ヲ附與セラレ銀貨ト同一ノ價值ヲ有スルニ至レリ然レトモ是等ノ紙幣ハ全ク失敗ニ歸シ却リテ他州ノ恐慌ヲ起スノ原因トナリ或ハ母國ト爭フノ階梯トナリ地方長官トノ不和ヲ來タシ遂ニ一千七百五十一年ニ至リテ英國國會ハ此種ノ紙幣流通ヲ禁止セリトーマスベイン氏ハ當時ノ狀況ヲ說キテ盡セリト言フヘシ曰ハク茲ニ一對ノ人アリトセハ先ツ其信用ヲ利用シテ不動産ヲ購買シ後新聞ヲ利用シテ盛ニ通貨ノ缺乏ヲ訴ヘ紙幣ノ發行ヲ迫リ以テ信用保持ヲ理由トシテ法貨ノ價ヲ有セシメ其發行アルニ至リテハ忽チニシテ其價ヲ下落セシメ以テ債權者ヲ欺ク者甚稀ナリトセス云々以テ當時ノ狀況ヲ知ルヘシ之ヲ要スルニ戰費ヲ償ヒ個人ノ貸借ヲ辨シ政府經費ノ支拂ニ充テシカ爲メニ紙幣ノ發行ヲナセリト雖其目的ヲ達セサルノミナラス却リテ害毒ヲ流シタル者尠カラサルナリ一千七百六十九年ニ至リ英國ノ國會ハ十二萬ポンドノ證券ヲ發行スルコトヲ許シ革命戰爭ノ當時尙之カ流通ヲ見タリト雖之カ爲メニ屢經濟界ノ恐慌ヲ來タシ債權者ハ不利ノ狀況ニ陥リ地主ハ悉ク不平ヲ訴ヘ紙幣ノ價大ニ下落セリト云フ

一千七百七十五年七月始メテ米國大陸通用ノ紙幣ヲ發行シ以テ一般ノ用ニ供シタリシカ未タ法貨ノ性質ヲ有セス國會モ亦之ヲシテ法貨タラシムルノ權限ヲ有セサリシカ故ニ各州ヲシテ之カ法律ヲ設ケシメ法貨タラシムルニ至レリ名ツケテ大陸通用紙幣ト稱シ以テ各州發行ノ紙幣ト分タシメタリ然レトモ是等ノ紙幣ハ正貨ト同一ノ價ヲ有セスHニ下落ヲ告ケタリシカハ一千七百七十七年貨幣委員會ヲ召集シテ人民ヲシテ強ヒテ紙幣ヲ受理セシムルノ方策ヲ立テ或ハ物價規定協會ヲ催シ專ラ紙幣ノ下落ヲ防キタルモ未タ其効ナク經濟界ヲシテ益不穩ノ狀況ニ陷レタリ

合衆國憲法ニ從フトキハ各州ハ金銀貨ヲ除クノ外猥リニ信用券ヲ發行シテ之ヲ法貨ト爲シ負債ノ償却ニ充ツルコトヲ得スト規定シ又國會ニ於テ之ヲ發行スルノ權力ナシ但此規定ニ對シテハ解釋ヲ異ニスル者アリト雖要スルニ一千八百六十二年國會ニ於テ始メテ法貨證券發行ノ議アリ先是一千八百六十二年英米ノ戰爭アリジョージア州撰出議員ホール氏ハ一千八百十四年ノ議會ニ於テ財政ニ關スル法案ヲ提出シ中ニ言ヘルコトアリ此大藏省證券ハ法貨トシテ流通スルノ權能ヲ有シ一切ノ負債償却ニ充ツルコトヲ得云々ト議會ハ遂ニ之ヲ容レス遂ニ紙幣

ノ發行ヲ見ルニ至ラサリシカ一千八百六十一年內亂ノ起ルニ及ンテ當時ノ大藏卿チエース氏ハ紐育市ニ於ケル屈指ノ銀行家ヲ集メ五千萬弗宛三回ノ公債募集ヲ商議シボストン及ヒヒラデルヒヤノ銀行ヲシテ之カ負擔ヲ分タシメタリ此時ニ方リ議會ハ法律案ヲ通過シ大藏省支金庫條例ヲ中止シ大藏卿ヲシテ信用充分ナル銀行ニ預入ル、ニ公金ヲ以テスルコトヲ得時ニ從ツテ公ノ負債償却ノ必要アルトキハ之ヲ引出スコトヲ得セシメタリ紐育ナショナル銀行頭取ガランチン氏ハ大ニ之ニ反對シ政府ヲシテ一般ノ人民ト均シク種々ノ用途ニ對シテ銀行小切手ヲ振出スコトヲ得セシメ且此小切手ヲシテ手形交換所ニ於テ處分セシムヘシ果シテ能ク此ノ如クンハ必ス政府財政ノ運行ヲ滑ニスルコトヲ得ヘシ若シ之ニ反シテ正貨ノ準備ヲ危クスルカ如クンハ爲メニ信用ノ基礎ヲ固フスルコトヲ得サルヘシト痛論セリ然レトモ大藏卿ハ之ヲ可カス專ラ金貨ヲ吸收シテ以テ支金庫及ヒ支出官吏ヲシテ國內ニ散布セシメサル可ラストナシ遂ニ一億七千萬弗ヲ散布シタリシカハ一千八百六十一年十二月二十八日銀行ハ悉ク正貨ノ支拂ヲ中止スルノ已ムヲ得サルニ至レリ是レ明ニ大藏卿ノ失策ニシテ必シモ此方策ニ據ルニ非スンハ當時ノ經濟界ヲ救フコト能ハサルニ非サリシナリ一千八百六十二

年正月七日下院ニ於ケル財務委員會ハ一票ノ多數ヲ以テスボールチング氏ノ説ヲ採用シ法貨法案提出ノ議ヲ可決シタリシカ大藏卿ハ極力之ニ反對シ此ノ如キ法案ハ公ノ信用ヲ害シ國民ノ破産ヲ促スニ過キサレナリト嘲罵シ論難攻撃熾ナリシカ漸クニシテ自説ハ非ナルヲ悟リ遂ニ之ヲ托ケ翌年二月六日其法案ハ終ニ上下兩院ヲ通過シ二十五日ヲ以テ法律トナリ一億五千萬弗ノ紙幣ヲ發行シ更ニ六月七日ニ至リ大藏卿ハ再ヒ請求シテ尙一億五千萬弗ノ紙幣ヲ發行スルニ至レリ後幾モナクスチーファンズ氏ハ大藏卿ヲシテ法律ノ範圍内ニ於テ公債又ハ證券ヲ賣却シ之ヲ正貨ト引換ヘ以テ一般ノ利益ヲ進捗セシムルコトヲ得ルノ法案ヲ提出シ所謂シンジケートトランサケションノ基ヲ開ケリ但此法案ハ元老院ニ於テ修正スル所アリ大藏卿ハ公共ノ爲メニ最利益アリト認ムヘキ率及ヒ條件ニ於テ法律ノ指定スル所ニ從ヒ合衆國ノ公債又ハ證券ヲ以テ硬貨ヲ購買スルコトヲ得トナセリ一千八百七十四年憲法修正ノ際更ニ之ヲ改メス大藏卿ヲシテ常ニ金貨ヲ取得スルノ權力ヲ與ヘ以テ金貨準備ノ健全ヲ謀レリ先是一千八百六十三年一月再ビ一億萬弗ノ紙幣ヲ發行シテ以テ陸海軍須要ノ費ニ充テタリシカハ法貨證券ノ總額今ヤ四億萬弗ニ上リ同年正月十三日ニハ金ノ價一百四十二ナリシモ

ノ月末ニ及ンテハ一百五十九トナリ紙幣益下落セリ此時ニ方リ政府ハ別ニ應急ノ策ヲ立テ二個ノ法貨證券ヲ發行シ名ツケテ大藏省證券ト稱シ其一ヲ合衆國證券ト名ツケタリ所謂青札是レナリ是等ノ大藏省證券ハ五朱乃至六朱ノ利子ヲ附シ償却ノ時ヲ定メ五朱利附ノ證券ハ利札附ナリシカハ人民ハ利子支拂ノ時ニ至ル迄之ヲ貯藏シ後漸クニシテ流通紙幣ノ一部トナレリ他ノ證券ハ即チ重利證券ニシテ發行ノ日ヨリ三ヶ年間ニ支拂ヒ半年毎ニ六朱ノ重利ヲ附シ期限ニ至リテ元金ト共ニ利子ヲ合セテ償却セルモノナリ是ヲ以テ十弗ノ證券ハ期限ニ至レハ十一弗九十四仙トナルヘシ此證券ヲ發行スルコト二億二千六百萬弗ノ巨額ニ上リシカ果シテ幾何ノ流通ヲ見タルカハ今之ヲ詳ニスルコトヲ得ス同年三月ニ至リテ國會ハ新ニ之カ修正ヲナシ六朱利附金貨公債ト引換ユルコトヲ得セシメントシタルモ大藏卿ハ更ニ之カ修正ヲ請求シ利子ノ率ヲ明記セサルコトヲ申出テ以テ他日再ヒ公債ノ發行ヲ爲スニ當リテ之カ利子ヲ減スルコトヲ得ルノ餘裕ヲ存セシメタリ是レ明ニ人民ニ對スル契約ノ破毀ニシテ偶證券ノ價ヲ下落セシメ翌年六月國會ハ青札發行ノ額ヲ四億五千萬弗ト定メ戰爭ノ終ハル頃ハ四億萬弗ノ發行アリ一千八百六十五年當時ノ國務卿マツカロツク氏ノ發議ニヨリ毎月四

百萬弗ノ回收ヲ行ヒ以テ青札ノ基礎ヲ危フセサランコトヲ期シ遂ニ三億五千六百萬弗ニ至ル迄漸次回收シ來リシカ終ニ之ヲ停止シ**ビット・フェッセン**氏ノ大藏卿トナルニ及ンテ所謂非金貨法案ヲ通過シ當時一百九十八ノ價ヲ有シタルモノ翌日ニハ二百八十ナリ其翌日ニハ二百三十トナリ未タ旬日ヲ經スシテ二百五十トナリ愈益金紙ノ差ヲ生シタリシカハ國會ハ遂ニ此條例ヲ撤去スルノ已ムヲ得サルニ至レリ蓋四年間ノ戰費ヲ合セテ三十三億五千二百三十八萬四百十弗ニシテ内二十五億萬弗ハ悉ク一般ノ市場ヨリ買上ケタル物品ノ價ナリトス是ヲ以テ青札ハ僅ニ六十六仙ノ價ヲ有シ人民ハ恰モ八億七千萬弗ノ損失ヲ爲セル割合ナリトス既ニシテ戰爭其局ヲ結ヒ國內一般ノ平和ヲ唱フルニ及ンテ青札ノ議論愈盛トナリ**デモグラット**及**ヒレバフリカン**ノ兩黨ハ之ヲ以テ政綱トナシレバ**フリカン**黨ハ公債ヲ償却スルカ爲メニ青札ヲ以テス可ラスト論シ**デモグラット**黨ハ全然之ヲ主張シ議論日ニ熾ニシテ民心恟々タリ**レバフリカン**黨ノ勝ヲ得ルニ及ンテ政府ノ負債ハ總テ正貨ヲ以テ支拂フヘシ但別ニ法律ニ規定スルモノハ此限ニ非ストナセリ然レトモ是レ素ヨリ青札ノ性質ヲ誤解スル者ニシテ人民ヲ誣ユルノ太タシキ者ト謂フヘシ政府ハ更ニ通貨ノ膨脹ヲ以テ民福ヲ増進スル所

以ナリト誤信シ一千八百七十四年大統領**グラント**ノ時増發條例ヲ通過シ更ニ四千四百萬弗ノ青札ヲ發行セリ於是乎再ヒ四億萬弗ノ青札アリ金紙ノ差復タ甚シ一千八百七十六年正月ニ至リ議會ハ大藏卿ヲシテ必要ナル正貨ヲ吸收セシムルカ爲メニ公債ヲ賣却スルコトヲ得ト規定シ翌二ケ年間ニ於テ漸ク九千五百萬弗ノ金貨ヲ吸收スルコトヲ得タリ銀行**シンジケート**ノ力多キニ居ルト云フ此ノ如クシテ一千八百七十八年十二月十七日青札ハ始メテ金貨ト同一ノ價ヲ有スルニ至レリ

米國ニ於ケル銀弗ハ青札ト最重要ナル關係ヲ有スルカ故ニ茲ニ一言スヘシ抑増發條例ノ發布アルニ及ンテ引續イテ銀貨法案ノ制定アリ一千八百七十六年銀ハ殆一割ノ下落ヲナシ遂ニ**ブランド**案ノ提出アリ金ト同條件ヲ以テ一ニ對スル十六ノ比價ニヨリ銀貨ノ自由鑄造ヲナシ以テ銀ノ下落ヲ防カントセリ當時銀ノ市價ハ一ニ對スル十八ナリシト云フ然ルニ元老院ニ於テ**アリソン**氏ノ修正アリ政府ハ一ヶ月二百萬乃至四百萬弗ノ銀塊ヲ購買シ之ヲ銀貨ニ鑄造シ全ク法貨ノ價ヲ有セシメタリ然レトモ金銀ノ差ハ以テ之ヲ防クニ足ラス金貨ハ盛ニ海外ニ流出シ銀貨ハ國內ニ充滿スルニ至レリ政府ハ大ニ驚キ一千八百九十年七月ニ至リ

ヲ所謂シアーマン條例ヲ發布シ以テ銀貨ノ自由鑄造ヲ許シ大藏卿ヲシテ毎月四百五十萬ヲンスノ銀塊ヲ購買シ大藏省證券ヲ以テ之ヲ支拂ヒ而シテ其證券所有者ノ請求ニヨリ大藏卿ハ金貨又ハ銀貨ヲ以テ之ヲ兌換スヘシトナシ證券ヲシテ公私ノ負債一切ノ支拂ニ對シテ法貨タルノ性質ヲ有セシメタリ一千八百九十一年七月迄購買シタル銀塊ハ一億六千八百萬ヲンスノ巨額ニ達シ二千八百萬ヲンスヲ貨幣トナシ三千六百萬弗ヲ鑄造シ以テ一億五千六百萬弗ノ大藏省證券ヲ發行セリ此ノ如ク一方ニ於テハ僅ニ銀ノ價ヲ高メタリト雖當時金貨ノ流出夥シク殆未曾有ノ額ニ上リ遂ニ一千八百九十三年ノ大恐慌ヲ來タシ印度ノ幣制改革ハ益此勢ヲ助ケ經濟界ハ全ク不振ノ狀況ニ陥リ上下ヲ舉ケテ菜色アリ於是乎同年八月臨時議會ヲ召集シ同十月ヲ以テシアーマン條例ノ撤去ヲナスニ至レリ蓋此條例ノ爲メニ失ヘル金貨ハ實ニ無慮一億四千一百餘萬弗ニ達セリト云フ此時ニ方リ人民ハ皆紙幣ノ兌換ヲ請求シタリシカハ同年四月一億萬弗ノ準備アリシモノ翌一月ニ至リテハ僅ニ三千五百萬弗ニ下レリ大藏卿ハ此急ヲ拯ハント欲シ遂ニ一千八百七十五年ノ條例ニ基キ五朱利附公債五千萬弗ノ公賣ヲ廣告シタルモノトシテ應スル者ナク最終ノ日ニ及ンテ紐育ノ銀行ノ之ヲ購買スルアリ大藏省

ノ金貨準備漸ク一億六百萬弗ニ上レリ然レトモ同一ノ原因ハ再ヒ同一ノ結果ヲ來タシ同年七月ニ至リテハ五千五百萬弗ニ減シタリシカハ十一月復ヒ同様ノ公債ヲ募リ五千萬弗ノ金貨ヲ得タルモ翌年正月ニ至リテハ準備金ヲ合セテ僅ニ四千四百萬弗ニ減少シタリ之ヲ一千八百九十五年恐慌ノ原因トナス政府再ヒ其急ヲ救フカ爲メニ紐育及ヒ倫敦銀行ノシンジケートト契約シテ三百五十萬ヲンス即チ六千五百十二萬弗ノ金貨ヲ購買シ三十ヶ年四朱利附ノ公債ヲ以テ之ヲ支拂フコトヲ約束セリ此契約ニヨリシンジケートハ少クトモ一時外國爲替ノ率ヲ監制シ以テ金貨ノ流出ヲ抑止セシメタリ爾來今日ニ至ル迄經濟界不穩ノ形勢ナキハ此シンジケートニ負フ所多シトス

一千八百九十六年大統領撰擧ノ時ニ方リ金銀貨本位ノ論甚盛ニシテ今ニ至ル迄多少ノ議論アリト雖要トスル所ハ專ラ政策上ノ問題ニシテ複本位唱導者ハ金單本位ヲ以テ米國ノ產業ヲ阻害スル所以ナリト爲シ之ニ反スル者ハ金單本位ニ非サレハ以テ今日ノ隆盛ヲ致ス能ハスト今日實際ノ狀況ヲ視ルトキハ複本位說漸ク勢力ヲ失ヒ本年二月ノ議會ニ於テ金本位ノ確立ヲ見タリ此金貨本位制定法ニヨルトキハ單ニ金貨ヲ以テ貨幣ノ本位トナシタルノミナラス紙幣償却ノ爲メニ

特ニ一億五千萬弗ノ引換準備金ヲ置キ本法實施ノ基礎ヲ固クシ二分利附新公債ヲ發行シテ三分四分及ヒ五分利附ナル三種ノ舊公債ト引換ヘ以テ財政ノ整理ヲナシ且國立銀行ノ資本最低額五萬弗ナリシヲ引下ケテ二萬五千弗トナシ銀行設立ノ範圍ヲ廣メ兼テ從來國立銀行ハ大藏省ヘ保證トシテ預入ノ公債證書額面價額ニ對シ十分ノ九ノ割合ニテ紙幣ヲ發行シ來リシニ今回ハ右保證額ト同額ノ紙幣ヲ發行シ得ルコト、ナシ以テ紙幣發行ノ權ヲ擴張セリ

第二款 通商政策ト保護主義

米國ノ通商政策ハ歐洲又ハ他國ト著シク異ルモノアリ是レ蓋歴史上及ヒ地理上ノ理由ニ基カスンハアラス抑米國殖民ノ當初ニ在リテハ專ラ舊時ノ殖民政畧ヲ保持シ其間幾多ノ障害ニ遭遇セリト雖尙通商上全然ノ自由ヲ希望セルコト固ヨリナリ故ニ若シ時勢ノ之ニ反スルナクンハ或ハ永久ニ其方針ヲ持續シタランモ未タ知ル可ラス不幸ニシテ三大事件ハ此趨勢ヲ動カシタリ英國ニ對スル惡感情ハ其一ナリ嘗テ英國政府ノ爲メニ傷ケラレタル商業ノ衰運ヲ挽回セントシタルコト其二ナリ新政府所要ノ歳入ヲ作ラントシタルコト其三ナリ於是乎全ク舊策

ヲ棄テ、新ニ保護輸入稅ヲ課スルノ已ムヲ得サルニ至レリ夫ノ有名ナル財政家ハミルトンハ痛ク此說ヲ主張シ主トシテ財源ヲ收メントスルニ在リシヲ以テ初ハ其稅率極メテ低カリシカ時勢ノ變遷ト共ニ漸ク之ヲ高ムルニ至レリ未タ幾ナラス歐洲ニ於ケル戰亂ハ偶米國ノ市場ヲ新作シ其所産ノ食料品及ヒ原料品ハ著シク歐洲ニ輸出シ輸入品ハ專ラ之ヲ英國ニ仰ケリ且當時米國ハ局外中立ノ地位ニ在リシカ故ニ英國航海法ノ庇蔭ニヨリ航海業ノ重要ナル部分ヲ占メタリシカ一千八百七十年ナボレオンノ大陸政策及ヒ一千八百九年ノ英法(樞密院決議)ハ共ニ國際法上非常ナル打撃ヲ來タシ爲メニ米國ノ外國貿易上ノ地位ヲ一變シ麥粉材木及ヒ其他ノ原料品ハ全ク不法ノ禁制ニ遭ヒ殊ニ一千八百十二年以來英國商船ノ強硬ナル反對ニヨリテ妨ケラレ又製造品ノ輸入ヲ阻害セラレタリ於是乎自ラ內國製造業勃興ノ基ヲ開クニ至レリ既ニシテ一千八百十四年英國トノ戰爭其局ヲ結ヒ再ヒ通商ノ勃興シテヨリ以來米國ノ幼稚ナル製造業ハ又再ヒ英國製造業ノ強烈ナル競爭ニ堪ヘス終ニ一千八百十六年ニ至リテ其保護ノ爲メニ輸入稅ヲ高ムルノ必要ニ迫レリ當時綿及ヒ羊毛ノ製品ハ三年間二割五分ヲ課シ爾後二割トナリ鐵ハ二割其他ノ製品皆之ニ倣ヘリ一千八百十五年英米交互通商條約締結ア

リシカ一千八百十八年ヨリ十九年ニ亘リ米國ハ大恐慌ノ不幸ニ遭遇シ茲ニ又保護稅熱ヲ高メ一千八百二十四年ニ至リテハ綿及ヒ羊毛製品ハ三割三分三厘粗製羊毛及ヒ精製綿ハ一割五分乃至三割玉蜀黍、鉛及ヒ苧麻等モ非常ノ重稅ヲ課セラレ平均三割七分トナリシモ保護政策論者ハ尙之ニ屢カス一千八百二十八年ニ至リ更ニ之ヲ高メ從量稅、從價稅ノ兩者ヲ課シタリ然ルニ南部ノ諸州ハ大ニ之ニ反對シ國會ハ果シテ斯ク稅率ヲ高ムルノ權能アリヤ否ヤヲ投票セシメタリシニ南カロライナ州ノ如キハ一千八百二十八年ノ輸入稅ハ不法ナルカ故ニ之ヲ守ルノ義務ナシトナシ民心大ニ激昂シ一千八百三十二年遂ニ輸入稅條例ニヨリテ多少ノ輕減ヲナシ銑鐵ハ一噸ニ付二割ヲ下ケ茶及ヒ咖啡ハ無稅トナシ絹物ヲ減稅セリ然レトモ尙保護ノ主義ヲ失ハス全體ノ輸入稅率ハ平均三割四分ナリキ是ヲ以テ南部ノ諸州ハ未タ之ニ満足スルコトヲ得ス一千八百三十三年再ヒ協商輸入稅案ナルモノヲ設ケ今後九ケ年間ニ漸次之ヲ引下ケテ平均二割ニ下ラシムヘシト痛論セリ既ニシテ一千八百三十七年ヨリ三十九年迄ハ英米共ニ經濟界ノ大恐慌ヲ來タシ銀行及ヒ個人ノ破産スル者荐リニ起リ茲ニ又輸入高稅熱ヲ高メ一千八百四十二年新法案ヲ提出セルモ結局平均三割ノ稅トハナレリ一千八百四十六年

デモクラット黨勝利ヲ得テ比較的ニ自由ナル條例ヲ發布シ(ウァーカー氏ノ發案ナリ)總テノ商品ヲ八項目ニ分チ各項目ニ從ツテ稅率ヲ異ニシ五分乃至十割トシ平均二割五分トナレリ一千八百五十七年小更アリ漸クニシテ二割ニ下リシカ一千八百六十一年ノ内亂ニ至リテ亦一變セリ今憲法制定以來内亂ニ至ル迄ヲ概括スルトキハ初ハ殆無稅ナリシモノ漸次高進ノ一方ヲ示シ一千八百二十八年ニ至リテ其極ニ達シ更ニ漸ク反動ヲ現ハシ一千八百四十二年ニ至リ復タ昇騰シ十九世紀ノ終リニ至リテ一旦低減セラレシモデングリ法ニ及ンテ三ヒ高進セリ之ヲ要スルニ米國ハ其建國以來未タ曾テ純然タル自由貿易ノ政策ヲ執リタルコトナシ又其保護稅ト雖敢テ一定ノ方針アリシニ非ス免稅ノ品目ハ常ニ一様ナラス前後大ニ異ルモノアリ或ハ全ク保護ノ性質ヲ缺クモノアリト雖綿羊毛、鐵等ノ製造業ハ此保護ニヨリテ大ニ進歩ヲナセルコト疑フ可ラス南北戰爭ハ經濟上一大變化ヲ來タシ其内國製タルト外國製タルトヲ問ハス皆重稅ヲ課セラレ殊ニ外國品ノ如キハ内國ノ產物ヲ補償スルカ爲メニ非常ノ高稅ヲ負擔セシメラレタリ即チ一千八百六十二年ノ條例ニヨリ平均三割七分トナリ一

千八百六十四年ニ至リテハ四割七分トナレリ然ルニ内國稅ニ至リテハ時トシテ輸入稅ヲ超ユルモノアリシト雖一千八百二十四年又ハ一千八百二十八年ノ比較的の低率ナリシトキニ比シテ未タ保護ノ實ヲ舉クルコト能ハサリシカ如シ何トナレハ國內商工ノ大進歩ハ之ニ反對ノ現象ヲ示シタレハナリ要スルニ當初ハ專ラ歳入ヲ主トセルモノ今ハ一變シテ純然タル保護稅トハナリ思フニ一國ノ危急ヲ救フニ方リテヤ種々ノ財源ニツキテ精細ニ調査スルノ暇ナキカ故ニ先ツ第一着手トシテ外國貿易品ノ輸入稅ヲ高ムルヲ以テ常例トナスハ亦已ムヲ得サル所ナリトス既ニシテ一千八百六十五年内亂ノ終ハルト共ニ其課稅及ヒ公債上ノ米國ノ地位ハ殆五十年前ノ英國ニ異ラサリキ内亂ノ當時ニ在リテハ課稅ノ組織ハ頗復雜苛酷ニシテ屢人類ノ生活ニ必要ナル商品ニ課稅スルノ不幸ニ陥リシカ一旦平和ノ克復スルニ及ンテハ更ニ平準ニ復歸シ彼ノ英國カ嘗テ所得稅ヲ捨テ、間接ノ減稅ヲナシタルカ如ク米國ハ内國稅ノ低減ヲ斷行シ其缺ヲ補ハンカ爲メニ再ヒ外國品ノ關稅ヲ高メタリ例ヘハ羊毛ノ如シ中ニハ之ヲ輕減セル者ナキニ非ス例ヘハ茶、咖啡、砂糖、葡萄酒等ノ輸入稅ハ一千八百七十年ニ至リテ大ニ減少シ一千八百七十二年ニ至リテ茶及ヒ咖啡ハ全ク免稅トナリ遂ニ保護ノ稅率ハ一般ニ一

割ヲ減シタリシカ一千八百七十五年ニ至リテ又復タ之ヲ高メタリ一千八百八十三年新關稅法ノ通過アリ專ラ稅率ノ低減ヲ主旨トシ銑鐵、鋼鐵、羊毛及ヒ其製品等皆減少セラレタリシカ同法ハ頗物議ヲ生シ贊否ノ論難甚激烈ナリシカハ更ニ新法ヲ案出シ困厄保護政策論者ハ主張シテ曰ハク保護スヘキモノハ之ヲ据置トナシ歳入ノ目的ノ爲メニ課稅シタルモノハ其歳入ヲ償フニ餘リアル分ヲ免稅スヘシト之ニ反シテ關稅改正論者ハ原料品ノ多數ハ宜シク免稅品目中ニ入レ製造品ハ一般ニ減稅ヲ行フヘシト云ヒ議論區々ニ岐レ久シク決セサリシカ遂ニ一千八百九十年ニ至リテ保護稅說其勝利ヲ占メ所謂マッキンレー案ナルモノヲ通過セリ其報一ヒ歐洲ニ傳ハルヤ大ニ歐洲ノ社界ヲ動カシ歐洲トノ通商ハ大ニ妨害セラレ内國品ハ殊ニ其價格ヲ引上ケサル可ラサルニ至レリ今此條例ノ要ヲ舉クレハ一免稅又ハ低稅ニ入レタル品目亦甚少カラス例ヘハ原糖ヲ免稅シタルカ如キコレナリニ重要ナル輸入品ハ多ク其趣キヲ改メス絹及ヒ綿製品ハ原價ノ三分ヲ高メタリ三輸入煙草ハ八割乃至十八割ニ上リ農產物ハ殆五割増トナリ四金屬類及ヒ其製品類ハ概三割六分ヲ高メタリ此關稅法ハ假令幾多ノ障害アリタリト雖其主旨ニ至リテハ大ニ之ヲ貫徹シ先ツ輸入超過ヲ防キ併セテ保護ノ政策ヲ持續

シ及ヒ之ヲ鞏固ニスルノ目的ヲ達シタルコト争フ可ラス
前段續述スル所ニヨリテ之ヲ通看スルトキハ米國ニ於ケル關稅法ノ變遷ハ初ヨ
リ英國ト大ニ異ル所アリ試ミニ其關稅法ノ要點ヲ列舉セハ
一 内地ノ商工業ハ保護稅ニヨリテ外國競争ヲ避クヘシ
二 關稅ヲ以テ内國稅ニ優ル最便利ナル歲入法トナスモノアリ
三 茶、咖啡及ヒ砂糖ノ如キ普通ノ消費品ニシテ米國ニ於テ製造セサルモノハ無稅
又少許ノ課稅ニ止ムヘシ
四 原料品ハ少許ノ稅ヲ課スヘク内地製造業ハ輸入稅ニヨリテ競争シ得ル地位ニ
置クヘシ
五 輸入製品ハ宜シク重稅ヲ課シテ内地ノ製造業ヲ獎勵スヘシ
六 關稅ハ單ニ歲入ノ一方ニヨリテ定ム可ラス併セテ保護ノ法ヲ講セサル可ラ
ズ
七 故ニ關稅ハ規律ヲ一ニシ又ハ簡單トナスコトヲ得ス又其品目ハ歲入ノ多少ニ
拘ハラズシテ之ヲ包含スヘク品目間ノ差別ハ最嚴重ナラサル可ラス
一千八百九十年マッキンレー條例ノ以後更ニウ・ルリン條例ヲ發布シテ大ニ稅

目ヲ變更シ一般ニ低落ヲ見タリ是レ蓋デモクラット黨ノ政府ナリシヲ以テナリ
然ルニ未タ久シカラズシテ歲入ノ不足ヲ名トシ一千八百九十七年ウ・ルリン條
例ヲ廢シテデングレー條例ヲ發布セリ此關稅法ハ全ク前者ト異リ專ラ關稅ノ收
入ヲ増スヲ目的トスルト共ニ内地ノ製造業ヲ保護獎勵スルヲ以テ主眼トナシ殊
ニ絹物等ニハ重稅ヲ課シタリ次イテ一千八百九十八年米西戰爭ノ起ルニ及シテ
又臨時歲入條例ヲ發布シ烟草其他ニ重稅ヲ課シ殊ニ製茶ニ對シテ重稅ヲ課スル
ニ至レリ
之ヲ要スルニ米國ニ於ケル過去一百年間ノ通商政策ハ主トシテ保護ノ方針ヲ執
レルモノト謂フヘシ將來如何ニ變遷スヘキカハ固ヨリ未定ノ問題ナリト雖其純
然タル自由貿易ノ政策ヲ執ルニ至リテハ蓋尙遠キニ在ルヘシ
試ミニ米國ニ於ケル保護政策論者ノ要點ヲ舉クレハ概左ノ如シ
一 保護政策ハ幼稚ナル商工ヲ裨補ス
二 保護政策ハ生産力ヲ増進セシム
三 保護政策ハ利益ナリ何トナレハ傭役ノ方面ヲ廣クスレハナリ
四 保護政策ハ勞働及ヒ資本ノ移住ヲ獎勵ス

- 五 保護政策ハ内地ノ競争ヲ増進シテ物價ヲ下落セシム
 - 六 保護政策ハ消費者ニ對シテ物價ヲ高ムルモノニ非ス
 - 七 保護政策ハ健全ナル市場ヲ保有セシム
 - 八 保護政策ハ最近ノ市場ヲ保有セシムルノ便アリ
 - 九 保護政策ハ優勝ナル地味又ハ其他ノ自然物ノ枯渴ヲ防クノ力アリ
 - 十 保護政策ハ賤劣ナル土地ニ依頼スルノ必要ヲ止ム
 - 十一 保護政策ハ勞役ヲ安全ニス
 - 十二 保護政策ハ高キ貨銀ヲ保タシム
 - 十三 保護政策ハ高キ貨銀ノ必要物ナリ
 - 十四 内地業ハ一層利益アリ何トナレハ資本ヲ重用スルコトヲ得レハナリ
 - 十五 内地ノ業ハ外國業ヨリモ區域廣シ故ニ物價ノ廉ナルヨリ生スル生産者ノ損失ハ輸入ヨリ生スル少許ノ利益ヨリモ大ナリ
 - 十六 保護政策ハ貨幣ノ不利ナル分配ヲ阻止ス
 - 十七 保護政策ハ重稅ヲ課スル邦國ニ於テ特ニ便宜ナリ
- 保護政策ニ對シテハ議論極メテ區々ニシテ何レカ正何レカ曲ナルカヲ知ラス殊

ニ保護政策ニモ種々アリ專ラ學理ヨリ來ルモノアリ政治上又ハ社會上ノ理由ヨリ來ルモノアリ或ハ頻リニ之カ非ヲ鳴ラシ世界ヲ通シテ一ノ商業的結合ヲ作リ以テ自由貿易ノ政策ヲ採ルヘシ果シテ此ノ如クンハ世界各國ノ民愈益國家ノ繁榮ヲ謳歌シ人民鼓腹ノ時代必ス來ルヘシト或ハ輓近國家經濟主義ニヨリテ折衷ノ說ヲ採ル者甚少カラサルカ如シ余思ヘラク元政策上ノ問題ハ其國ノ發達ノ程度如何地理人種上ノ關係等ニヨリテ定マルモノナルカ故ニ一概ニ之ヲ論スルコトヲ得ス一國ハ其認メテ以テ最適切ナリト信スル所ノ政策ヲ斷行スヘキノミ敢テ必シモ他國ノ頻ニ倣フコトヲ要セサルナリ

第二章 運輸交通機關

第一款 鐵道

凡動力多シト雖未タ瀛關車ノ如ク最大ナル力ヲ發作シタルモノハアラサルヘシ彼ノスチーブンソン氏ノロケットハ實ニ絶大無雙ナル勢力ヲ人類社界ニ附與シタルモノニシテ今ヤ鐵道ノ問題ハ何レノ邦國ヲ問ハス最緊要ナルモノトハナレリ抑鐵道ノ要トスル所ハ人又ハ物ヲ運フニ方リテ安全ニシテ急速ナルニ在リ之カ爲メニ各種ノ問題ヲ生シ如何ニシテ此目的ヲ達スルコトヲ得ヘキカハ年來多數ノ講究スル所ナリトス今鐵道ノ起源ニ遡リテ之ヲ見ルニ初ハ規模狹小ニシテ當時其鴻益アルコトヲ知ル者ナク管ニ之ヲ危メルノミナラス之ニ反對セル者甚多カリシカ一旦鐵道ノ開通スルニ至リテ全ク舊來ノ迷夢ヲ破ツ今ハ普ク之カ開通ヲ見ルニ至レリ

米國ニ於ケル最初ノ鐵道ハ一千八百二十六年マッサチセツ州ニ起リ三萬四千弗ヲ以テ僅ニ三哩ヲ布設シ極メテ不完全ナル瀛關車ヲ用キタリシカスチーブンソン氏ノロケット式ヲ用ユルニ至リタルハ一千八百二十九年ノコトナリ

トス爾來トムサムベストフレンド等ノ新瀛關車ノ試用アリ遂ニ一千八百三十一年正月十五日始メテ稍完全ナル瀛關車ニヨリテ運轉スルコトヲ得タリ最舊鐵道ノ一タルボルチモリアヲハイヲハ一千八百二十一年ノ頃ハ專ラ馬力ヲ用キタリシカ一千八百三十年始メテ蒸氣ヲ用ユルコト、ナリ又當時ノ軌條ハ頗不完全ニシテ一般ニ材木ノレールヲ用キ半吋又ハ八分ノ五吋位ノ厚ヲ有スル鐵ヲ以テ之ヲ扼シ僅ニ車力ニヨリテ走レリト云フ

蓋米國ニ於ケル鐵道ハ其源ヲ英國ニ發シ瀛車及ヒ瀛關車ノ如キ一ニ之ヲ英國ニ倣ヒシカ爾來米國ノ自ラ發明改良セルモノ少カラス一千八百三十年米國ヲ通シテ僅ニ二十三哩ニ過キサリシカ人民漸ク其鴻益アルコトヲ悟リ運河航通ノ比ニ非サルコトヲ知ルニ至リテ駭々トシテ進歩シ今ヤ世界ノ第一位ヲ占ムルノミナラス所謂鐵道ノ大目的タル安全ト急速トヲ完フシタルカ如シ

米國ニ於テ最舊ニシテ有力ナル鐵道ハボルチモリアヲハイヲニシテ之ニ次クモノヲニューヨークセントラルトナス此線路ハ一千八百五十三年五小線ヲ合併シテ一會社トナシ水師提督ヴァンダービルト氏之カ社長トナリ大ニ改良ヲ施シ米國鐵道ノ模範トナスニ至レリ

今左ニ統計ヲ舉ケテ米國鐵道カ如何ニ發達セルカラ示サン

年 代	運轉哩數	年 代	運轉哩數
一八三〇年	二三	一八四〇年	二、八一八
一八五〇年	九〇二一	一八六〇年	三〇、六二六
一八七〇年	五二、九二二	一八八〇年	九三、二九六
一八九〇年	一六六、六八二	一八九一年	一七〇、七六九
一八九二年	一七五、一八八	一八九三年	一七七、四七〇
一八九四年	一七九、三六八	一八九五年	一八〇、九七一
一八九六年	一八二、五〇九	一八九七年	一八四、六〇三
一八九八年	一八六、八一〇		

若シ第二、三、四等ノ支線軌條ヲ合スルトキハ蓋二十五萬哩ニ達スヘシト云フ
 一千八百五十年迄ハ西部ニハ一トシテ語ルヘキ鐵道ナク又南部ニ通シタルハ實
 ニ一千八百六十年以後ニ在リ而シテ今斯ノ如キ進步ヲ致セルヲ見ハ誰カ又其長
 足ナルニ驚カサル者アラシヤ
 右ニ示ス所ニヨリテ見ルトキハ南北戰爭ノ當時ニ於テ鐵道ノ起工大ニ停滯セル
 モ一旦平和克復スルニ及ンテヤ非常ノ力ヲ以テ進メルコトヲ知ラン是レ潛勢力

ノ一時ニ膨脹セルモノト云フヘク一千八百九十三年ニ至リ一般ノ恐慌ノ爲メ亦
 少シク停止セルモノアリ
 斯ク急速ノ進步ヲナセルト共ニ鐵道會社ノ競争愈劇甚トナリ一千八百七十三年
 ノ恐慌及ヒシエーウツク商會ノ破産アルニ至リテ大打撃ヲ被ムレリ蓋商會ハ北
 太平洋鐵道會社トノ關係親密ナルモノアリシカ爲メナリ遂ニ終ニ大小相合シ強
 弱相併セ運賃ヲ低減シ線路ヲ延長シ大ニ鐵道界ノ革新ヲ促スニ至レリ
 翻リテ東西大陸貫通鐵道ノ起源ヲ尋ヌルニ遠ク一千八百五十年ニ始マリ當時費
 府ノ有力商人等ハ夙ニ其必要ヲ感シ之カ敷設ノ討議ヲナセルコトアリシカ既ニ
 シテカリホルニヤ金坑ノ發見アルニ及ンテ遽ニ人民ノ投機熱ヲ惹起シ益其必要
 ヲ促シ漸ク之カ起工ヲ企テタル者少カラサリキ又カリホルニヤニ在リテハ一千
 八百五十六年夙ニ鐵道ヲ起シ將ニ進ンテロッキー山ヲ超エテ東部ト相通セント
 スルノ必要ヲ感シタルヨリ雙方相俟テ以テ之ヲ完成セント欲シ一千八百六十
 二年國會ノ議決ニヨリユニオンパシビクヲ起シ政府ハ一哩ニ付一萬六千弗ヲ補
 助シ二千七百萬弗ノ公債ヲ募リ加フルニ別ニ一千二百萬エーグルノ地面ヲ附與
 シテ以テ一千三十八哩ノ延長ヲナスニ至レリ既ニシテセントラルパシビクモ

亦大ニ政府ノ補助ヲ受ケ公債及ヒ地面ヲ貸與セラレタリ於是乎一千八百六十九年始メテ東西ノ貫通ヲ見タリ東西二千三百哩土工日ニ數千ヲ使役シタリト云フ當時起工ノ困難ナリシコト言語ノ能ク盡ス所ニ非サルナリ

爾來鐵道會社頻々トシテ起リ一千八百六十四年北太平洋鐵道一千八百六十六年太西洋及ヒ太平洋鐵道會社、テキサス太平洋等相爭フテ敷設セリ之ヲ要スルニ米國ニ於ケル鐵道起工ノ業ハ一千八百六十九年ヲ以テ一段落ヲ告ケタルモノト謂フ可シ後鐵道ノ延長又盛ナリシコトアリト雖多クハ一時ノ起業熱ニ驅ラレテ無謀ノ工事ヲ起シ一線ニシテ足ルヘキモノヲ二線トナシ一人ニシテ辨スヘキモノヲ二人トナシ相競ヒ相爭ヒ以テ巨利ヲ博セントシタルモ商工業ノ發達ハ鐵道ノ急進ニ如カス是ヲ以テ鐵道先ツ成ルモ之ニ伴フノ貨物ナク競争ノ結果運賃ヲ低落セシメ愈以テ不利ノ悲境ニ陥リ途ニ合同ノ已ムヲ得サルニ至レリ既ニシテ合同ノ大會社又非常ノ競争ヲ生シ屢協議會ヲナシ以テ其弊ヲ拯ハントシテ幾度カ**プール**(共同勘定組合)ノ組織ヲナシタルモ之カ効用ヲ舉クル能ハス其極相利アラサルヲ見テ途ニ一千八百七十三年ニ至リ殆皆合同セリ試ミニ見ヨ今日一哩ニ付一噸ノ運賃〇八仙ニ過キス之ヲ一千八百七十三年即チ二十年前ノ一九八五仙ニ

比スルトキハ非常ノ遞落ヲ示シタルハ全ク競争合同ノ爲メニ經濟ヲ節約シ收利ヲ縮小シタルノ結果ニ外ナラサルナリ且固ヨリ鐵道經濟ノ進歩ハ運賃ヲ低落セシメ一大原因ナリト雖之ト相并シテ重要ノ原因ヲナスモノアリ曰ハク鋼鐵線路ノ敷設是レナリ蓋鋼鐵線路ノ利益著大ナルコト驚クヘキモノアリ知ラスヤニユ一**ヨークセントラル**ノ過去二十年間ニシテ貨物ノ容量四十億萬噸哩ヨリ二百億噸哩ニ増加セリト云フコトヲ是レ豈鋼條ノ賜ニ非スヤ

今米國ニ於テ用キラル、鐵道線路用鐵ノ重量ヲ見ルニ實ニ左表ノ如シ

年 代	鐵	鋼	鐵	總 計	內 地 用
一八七三年	六,九三〇	一,二二二	七,一五二	七,一五二	七,一五二
一八八〇年	四〇,八六九	六,四三三	四七,三〇二	四七,三〇二	四七,三〇二
一八九〇年	二二,八八三	一八,七二五	四一,六〇八	四一,六〇八	四一,六〇八
一八九二年	一〇,五七七	一五,一七〇	二五,七四七	二五,七四七	二五,七四七

鋼鐵軌條ノ行ハル、ニ及ンテ各箇滾車ノ容積大ニ増加シ從來一車三萬ポンドナリシモノ今ハ輕キニ過キテ却リテ不便ヲ訴フルニ至リ六萬ポンド以上ノモノヲ用ユルコト、ナリ之カ爲メ機關車モ軌條モ大ニ重量ヲ加ヘタルハ滾車ノ線路ニ

懸レル橋梁ノ如キモ從來ハ木造ナリシカ其危險ヲ恐レテ全ク鐵ニ改ムルヨリ、ナレリ米國ハ尙之ニ甘ンセス愈進ンテ益完全ナルモノヲ製出セシコトヲ務ムルノ熱心感歎ノ外ナシ

鐵道運賃ノ低落ハ尙他ニ原因ナクンハアラス即チ鐵道使用者ノ増加セルト所謂利益遞加法ノ結果ナルヘシ

今日ノ速力ト鐵道ノ多キヲ以テシテ年々負傷又ハ轢死スル者ハ極メテ僅少ニシテ之ヲ歐洲ニ比スルニ遙ニ少シ且米國ニテハ負傷又ハ轢死セル者ハ賠償金ヲ與フルノ制アリ其額年々凡二百萬弗ニ上ルト云フ

現今鐵道會社ハ自ラ電信ヲ用キテ大ニ線路ノ行動ヲ助ケ日ニ改良ヲ加フルアリ睡眠汽車ハ一千八百三十六年ニ起リ一千八百六十四年ブルマン氏ノ稍完全ナル睡眠汽車ヲ作ルアリ爾來改良ニ改良ヲ施シ一千八百六十七年ブルマン汽車會社ナルモノヲ創立シワグナーノ車モ又夙ニ知ラレ食事汽車ハ同シクブルマンニ始マリ今日ハ睡眠汽車ノ外ニ安樂椅子汽車、食事汽車、喫烟車、圖書、速記生、速寫生等ヲ置キ湯屋若クハ散髮ニ至ル迄一トシテ具ハサルハナシ殊ニ各鐵道會社ハ舊來ノ風ヲ一變シ鐵道切符仲買人ナル者ヲ設ケ市中ニ於テ切符ヲ賣買シ大ニ乘

客ノ便宜ヲ與フルコト、ナレリ

一千八百三十八年合衆國政府ハ普通ノ運賃ヲ支拂ヒ郵便ノ運送ヲ各鐵道會社ニ附託スルコト、ナリ一千八百六十四年更ニ郵便汽車法ヲ設ケ今ハ各鐵道會社重要ナル收入ノ一部ヲナス即チ通常郵便及ヒエキスプレッスノ收入ハ總收入ノ五分ヲ占メ乘客ハ二割五分貨物ノ運搬ハ七割ヲ占ムト云フ

斯ノ如ク鐵道ハ商業上及ヒ經濟上重要ナル職分ヲ行ヒ米國東西ヲ通シテ無數ノ線路アリ互ニ交叉シ往復頻繁殆筆紙ニ盡ス可ラス而シテ是等ノ線路ハ如何ニシテ其經濟ヲ整理スルヤ各鐵道會社鐵道ノ關係如何ハ人ノ知ラント欲スル所ナルヘシ蓋一會社カ他會社ノ所有スル貨車ニ荷物ヲ積ムトキハ其會社ニ對シテ三哩ニ付八分ノ三仙又ハ四分ノ三仙ヲ支拂フヲ例トセシカ實用ニ適セサルヲ見テ種種ノ改良アリ今ハ一貨車ニ付借料ヲ定メテ之ヲ差引勘定スト云フ是ヲ以テ現今世界ニ於テ最運賃ノ安キハ實ニ米國ナリトス歐洲ニ在リテハ平均一哩一噸二仙ナルニ反シテ米國ハ〇八仙ニ過キサナリ

鐵道膨脹ノ結果トシテ起レル一ノ弊害ハストライキ是レナリ一千八百五十七年ホルチモリアヲハイヲ線路ノ如キ一千八百九十四年ノシカゴノ如キ其最大ナル

者ナリ一ノストライキアル毎ニ少クモ二百萬人ノ勞働者其困難ヲ感スルニ至ルハ痛歎ニ堪ヘサルナリ

試ミニ一千八百九十五年米國ニ於ケル鐵道ノ狀況ヲ數字ニテ示サハ

株式資本	五〇七五、六二九、〇七〇
償却負債	五、六六五、七三四、二九〇
未償却負債	三八三、五六七、二三二
臨時負債	四四〇、六六九、六一五
負債總計 (弗)	一一、五六五、六〇〇、二〇七
線路附屬品	九七、八九、五四三、〇〇一
不動産株式ボンド其他	一、六六七、八七九、一六二
他ノ資産	二四〇、五二六、三五〇
預金	二二六、五〇二、三七一
資産總計 (弗)	一一、九二四、四五〇、八八四
資産ノ負債ニ超ユルコト	三五八、八五〇、六七七

一千八百九十三年ノ大恐慌ハ鐵道會社ニ非常ノ恐慌ヲ來タセリト雖爾來其景氣ヲ恢復シ一千八百九十八年ヨリ續々トシテ新鐵道會社ノ勃興又ハ新工事ノ延長アリ殊ニ愈益改良ノ域ニ向ヒツ、アルハ眞ニ欣フヘク將來ノ發達測リ易カラサ

ルナリ

一千八百九十八年現在米國鐵道ノ狀況ヲ見ルニ左ノ如シ
米國ノ鐵道ハ人口一萬ニ付二十六哩ニ當リ英(五哩)佛(六哩)獨(五哩)六ノ四倍以上ナルコトヲ知ルヘク更ニ面積一百平方哩ニツキテ言ハ、米國ハ六哩餘ニシテ他ノ諸國(英ハ十七哩四獨ハ十四哩佛ハ十二哩)ニ比シテ少シク遜色アリ年々運搬スル貨物ハ英佛獨ヲ合セタルヨリモ大ニ乗客ハ英ヲ除クノ外ハ佛其他ノ諸國ノ二倍以上ナリ
米國鐵道ノタメニ勞役スル人員ハ凡八十五萬人ニシテ俸給ヲ合セテ凡五億萬弗ナリ即チ鐵道會社歳出ノ六割以上ヲ占ムル割合ニシテ一哩ノ工事ハ凡六萬弗ナリトス
一千八百九十七年十二月末日ノ收入ヲ見ルニ收入ハ總テ十二億四千七百十八萬弗ニシテ支出ハ十二億五千三百三十萬弗ナリキ

第一款 船 舶

東西三千五百哩是レ米國內地商業ノ區域ナリ海洋三千哩是レ米國外國貿易地ノ

一端ナリ於是乎航海ノ業始メテ要アリ蓋一千七百九十五年ヨリ今日ニ至ル米國航業時代ヲ分ツテ二期トナスコトヲ得ヘシ

第一期ハ前世紀ノ三分ノ二ヲ占メ所謂ジェー條約ノ公布以後ニシテ專ラ發達ノ時代ニ屬シ英國ヲ除クノ外ハ世界中比類ナキ噸數ヲ有シ頗有望ナリシカ第二期ノ終ハリニ近クニ從ヒ至ク之ヲ一變シ英國トノ比ハ總噸數ニ於テ三ニ對スルニ、海洋噸數ハ九ニ對スル一トナレリ蓋斯ノ如キ著大ナル退歩ヲ來タセル原因一ニシテ足ラス從來船舶ヲ造ルニ專ラ木材ヲ用キタルヲ鐵材トナシタルコト、一般國民ハ内地ノ起業ニ忙シク航海業ニ從事スルノ暇ナカリシコト、内亂ノ爲メニ打撃ヲ受ケタルコト等ハ之カ主タルモノナルヘシ

一千七百八十九年十二月三十一日ノ統計ニヨレハ合衆國全體ノ航海總噸數ハ實ニ二十萬一千五百六十二噸ニシテ内十二萬三千八百九十三噸ハ外國貿易六萬八千六百七噸ハ沿海貿易ニ關係セルモノニシテ其殘餘ハ則チ漁船ナリシカ一千七百九十五年ニ至リテハ大ニ膨脹シテ七十四萬七千九百六十五噸ニ達シ更ニ一千八百二十年トナリテハ二百二十八萬二百六十七噸ノ巨額ニ達セリ抑米國ノ船舶カ始メテ外國貿易ニ從事スルニ方リテヤ歐洲諸國ニ於テ差別的課稅ノ非運ニ遭

遇セシカ幾ナラスシテ政府及ヒ外交官ノ力ニヨリ全ク平等ノ條約ヲ結フコトヲ得テ一千八百六十年トナリテハ實ニ五百三十五萬三千八百六十八噸トナリ内二百三十七萬九千三百九十六噸ハ外國貿易ニ從事セリ此時ニ際シテ英國ノ總噸數ハ四百五十八萬六千七百四十二噸ニシテ殖民地出入ノ船舶ヲ合セテ五百七十一萬九百六十八噸ニ過キス獨佛那威ノ全體ヲ合スルモ尙米國ノ外國貿易ノ噸數ニ及ハス又同年外國港ヨリ米國ニ入りタル船舶ノ總噸數ハ五百九十二萬一千二百八十五噸ニシテ内外國ノ船舶ハ二百三十五萬三千九百一十一噸ニ過キサリシナリ以テ當時ノ盛況ヲ察スルニ足ルヘシ之ヲ米國海運ノ黃金時代トナス未タ幾ナラスシテ逆勢ハ來レリ内亂是レナリ加フルニ一千八百五十五年ノ比ヨリ既ニ之カ兆候ヲ顯ハシ英國ノ鐵材ハ米國ノ木材ヨリモ安直ナリシカハ自ラ造船業ノ衰運ヲ來タシ引イテ其噸數ノ減少ヲ免レス又當時政府ハ米國ニ於テ使用スル船舶ハ米國製ナルヘシトナシタル爲メ更ニ之カ衰頹ヲ促シタルコト疑フ可ラス蓋航海獎勵ノ方法ハ一方ニ他國製ノ船舶ヲ許スト共ニ他方ニ補助ヲ與ヘテ以テ自國ノ船舶ヲ増大セシメサル可ラス然ルニ米國政府ハ遂ニ此方策ニ出ツルコトヲ怠リタルナリ原因ハ獨リ茲ニ止マザス一千八百四十九年カリホルニヤ金坑ノ

發見アリ又相尋イテ石油ノ發見アリシヨリ以來人民ノ之ニ狂奔スル者多ク加ヘ鐵道其他ニ投資スル者日ニ急ニシテ船舶ヲ願ミルニ違アラサリシナリ既ニシテ内亂ノ起ルアリ外國貿易船ハ忽チニシテ二百五十四萬噸ヨリ二百五十萬噸ニ減少シ一千八百六十二年ニハ彼ノ有名ナルアラバマ事件ノ起ルアリ(英船アラバマ號カ十八艘ノ米國船ヲ燒却シタル時ナリ)英米ノ紛議トナリ英國ハ遂ニ一千五百萬弗ヲ米ニ償フテ以テ僅ニ之カ落着ヲ告ケタリ一千八百六十五年トナリテハ外國港ヨリ米國ニ入レル總噸數ハ二百九十四萬餘噸ニ減少シタルニ反シテ外國ノ航行ハ著シク増加シ三百二十二萬噸トナレリ皆是レ米國航海業變遷ノ主因ナリトス今左ニ一千八百七十五年ヨリ一千八百九十五年ニ至ル世界航海業ノ比例ヲ示シテ米國カ如何ナル地位ニ在ルカヲ明ニセン

國名	年代	噸數
英國	一八九五年	一三、三四七、五八三
英國	一八七五年	一、三、三、四七、五八三
獨逸	一八九五年	一、六〇四、七七三
獨逸	一八七五年	四、一九六、四六三
米國	一八九五年	二、三、四、三、一七三
米國	一八七五年	二、四、九、五、九、五八
那威	一八九五年	二、一、二、一、五、五〇
那威	一八七五年	一、五、五、八、二、九〇
佛國	一八九五年	九、八、四、九、〇、五、四
佛國	一八七五年	六、二、〇、四、八、七、九
總計(噸)	一八九五年	四九、五、二、六、八、四、七
總計(噸)	一八七五年	二八、四、〇、七、九、四、六

其他諸國	九、八、四、九、〇、五、四	六、二、〇、四、八、七、九
總計(噸)	四九、五、二、六、八、四、七	二八、四、〇、七、九、四、六

知ル可シ過去二十ヶ年ニ於テ米獨全ク其地位ヲ異ニセルコトヲ外國貿易航業ノ衰微ト共ニ其船舶ハ今ハ概湖水又ハ沿海貿易ニ使用セラル、ニ至レリ豈憫ナラスヤ然レトモ輒近二十年間ニ於テ外國ヨリ購有セシ船舶甚少カラス皆之カ使用ヲナスヲ見レハ多少恢復ノ域ニ進ミツ、アルコト疑フ可ラス巴里斯紐育セントルイセントポール等ノ大船皆此中ニ在リ一千八百九十八年トナリテハ米國ハ帆船及ヒ蒸氣船ヲ合セテ四百七十五萬噸トナレリ而モ尙米國沿海港出入ノ總噸數ハ二千一百七十萬ニシテ内米船ハ僅ニ三百三十六萬噸ニ過キサルナリ

太平洋海上ニ於ケル航海業ハ決シテ悔ル可ラサルモノアリ一千八百四十九年ニ在リテハ僅ニ七百二十二噸ニ過キサリシニ沿洋ノ一港タル桑港スヲ今ヤ出入ヲ合セテ二百二十一萬噸ニ上レリ其他ノ諸港皆大ニ發達シ著明ナル進步ヲ見タリ況ンヤ東洋貿易ノ將來ハ益多望ナルニ於テヲヤ思フニ從來太平洋沿岸航海ノ業獨リ其名ヲ擅ニセリト雖太平洋航路モ亦此分配ニ與ルコト遠キニ非サルヘシ

米國ニ於テハ湖水航海業ノ著大ナルモノアリ一千八百八十三年ニハ七十二萬噸ニ過キサリシモノニ千八百九十三年トナリテハ一百二十六萬噸トナリ更ニ一千八百九十八年ニハ一百四十四萬噸ニ増加セリ以テ其進歩ノ急足ナルヲ見ルヘシ

前ニ縷述スルカ如ク米國ニ於ケル航海業ハ二大變遷ヲ經テ今ヤ新時期ニ入り新ニ航海業ノ發達ヲ見ントス知ラスヤ米國ニ於ケル地理地形產物ノ良好ニシテ且饒多ナル安ソ其發達ノ緩慢ヲ憂ヘンヤ況ンヤ世界ノ貿易ハ日ヲ追フテ開ケ歐洲ニ東洋ニ益其生産品ノ需用ヲ増加スルノ狀況ニ在ルヲヤ米國カ二十世紀ノ末葉ニ至リテ全ク世界航海業ノ霸權ヲ握ルニ至ランモ未タ知ル可ラサルナリ

第三款 郵便

郵便制度ノ一般公衆ニ及ホス利益ニツキテハ今詳ニ論スルヲ要セザレトモ特ニ商業ニ及ホスモノニ至リテハ多少叙述ノ必要アルモノニ似タリ蓋郵便ノ商業ニ於ケルハ猶手足ノ頭腦ニ於ケルカ如キモノアリ

郵便制度ハ其源ヲ英國ニ發シ實ニ一千五百三十三年ニ起レリ十七世紀ノ當初ニ

在リテハ英國ヲ通シテ僅ニ四ヶ所ノ郵便局アリシノミ英國殖民地ノ米國ニ開カ
ル、ニ及ヒ之ヲ殖民地ニ及ホシタリ先是英國ノ郵便稅ハ頗高率ナリシカローラ
ンドヒル氏ニ至リテ盛ニ二仙一ペンニ郵便稅ノ組織ヲ主張シ漸次行ハル、ニ
至レリ其理由トスル所ハ郵便稅安直ナルトキハ人民ノ通信ヲ發スルコト多カル
ヘク獨リ便宜ヲ増スノミナラス同時ニ收入ノ財源タルコトヲ得ヘシト云フニ在
リ北米ニ於ケル郵便局ノ創設者ハトーマステール氏ノ幕下タルハミルトン氏ニ
シテ一千六百九十二年ノコトナリ當時紐育ポストン間ノ一通ノ通信料ハ一シル
リングナリシカ漸ヤク時ヲ經ルニ從ヒ通信ノ數大ニ増加シ郵稅ヲ引下クルト共
ニ郵便局ヲ増加シ遂ニ一千七百二十二年トナリテ收支全ク相償フコトハナレリ
ト云フ一千七百七十五年ペンジャミンフランクリンニ至リテ大ニ郵便ノ制度ヲ
改良シ併セテ一ペンニトナセリ又當時歐洲トノ郵便ハ通常ノ船舶ニ積載シタ
ルモノハ其船ノ到着スル毎ニ人民ハ海灣波止場ニ集マリテ書信ヲ受領シタリ殊
ニ紐育ノエキスチエンジコーヒーハウスノ如キハ各人ノ集注スル所ナリシカ故
ニ自ラ郵便配達ノ中心點タリシト云フ

一千八百十二年以來更ニ制度ヲ改メ其發達著シキモノアリ一千八百四十五年ノ

國會ハ郵便總督ニ命シテ外國郵便運搬ノ特約ヲ結ハシメ爾來頗發達シ外國貿易
 ノ増進ト相並シテ著大ナル現象ナリトス
 斯ノ如クシテ發達シ來レル郵便ハ目下紐育一市ニテスラ恐ラクハ一日十萬以上
 ノ發信アルヘク畧同數ノ受信アルヘシ蓋次ニ起ルヘキ大革命ハ萬國ニ仙郵便ノ
 組織ナルヘシ
 鐵道ノ發達ハ郵便ヲ發達セシメタルコト明ナリ又初ハ郵便稅頗高カリシカ一千
 八百五十一年ニ至リ大ニ引下ケ更ニ一千八百六十三年ニ至リテ從來距離ノ長短
 ニ由ル郵便稅ノ組織ヲ改メテ均一トナシ一千八百五十四年書留郵便ノ組織ヲ設
 ケ今日ハ凡一千五百萬通以上ノ書留アルヘシ又特ニ新聞雜誌等ニ對スル一仙郵
 便ノ稅ヲ立テ以テ教育ノ普及ヲ圖レリ
 之ヲ要スルニ米國政府ノ郵便ニ費ス所ハ遙ニ世界ノ他國ニ超ス凡十八萬人ヲ使
 役スト云フ且近來特ニ大ニ改革ヲ加ヘ配達ヲ繁クシ手數ヲ省キ特ニ外國郵便ニ
 シキテハ叮嚀ナル取扱ヲナスコトハナレリ其進步ノ長足ナル實ニ驚クノ外ナシ

第四款 電信

始メテ電信ヲ發明シタルハ佛人ケラウドシヨール氏ニシテ一千七百九十四年佛
 國ニ於テ始メテ其敷設アリ一千八百二十三年ニ至リテハ歐洲一般ニ之ヲ利用ス
 ルコトハナリ今ハ世界萬國東西都鄙ノ別ナク電信ノ通セサルハナシ蓋電信ノ發
 明ハ世界ノ文明ニ一大革命ヲ與ヘタルモノト謂フヘシ
 一千八百十年ニ至リヴナルタノ動電氣發明アリ次イテ一千八百十九年エールステッ
 ド氏ニ至リ現今專ラ行ハル、電信機ヲ發明シモリアス氏ハ電信用假名ヲ發明シ
 二千八百三十五年始メテ紐育市ニ於テ之カ實驗ヲ施シ更ニ汎ク之ヲ實用ニ供セ
 ントシテ國會ヨリ補助金ヲ得ント試ミ遂ニ議員スミス氏ノ力ニ倚リ三萬弗ノ補
 助金ヲ得ルコトハナリボルチモリアヨリワシントンニ至ル電信機ヲ備ヘントシ
 テ失敗シ大ニ失望シタルモ氏ハ固ヨリ之ヲ放擲セス愈研究ノ結果遂ニ終ニ之ヲ
 完フスルコトヲ得タリ蓋初其不成效ヲ來タシタルハ全ク地球ノ有スル電氣之ニ
 支障スル所アリシナリ是ヲ以テ地上ニ電柱ヲ建ツルノ必要ヲ感シ一千八百四十
 五年ニ至リテ全ク成效シ汎ク公衆ノ用ヲ辨スルコトハナレリ(當時四文字ニ付
 一仙ヲ徵セリ)モリアス氏ハ痛ク之ヲ喜ヒ十萬弗ヲ以テ特權ヲ政府ニ讓渡サンコ
 トヲ申込ミタルニ政府ハ尙之ヲ危ミ敢テ購買スルノ勇氣ナカリシト云フ今ニシ

テ之ヲ思ヘハ實ニ笑止ニ堪ヘサルナリ
 既ニシテ一萬五千弗ヲ以テ紐育ヨリ費府ニ架設スルコト、ナリ之カ株主ヲ募集
 セルモ殆之ニ應スル者ナカリシカ幾多ノ盡力ノ末途ニ多少ノ株主ヲ得六萬弗ノ
 資本ヲ以テ一會社ヲ立テ磁石的電信會社ト名ツケタリ時ニ一千八百四十六年ナ
 リ
 右ノ如ク陸上ノ電信ハ大ニ好結果ヲ得次イテ海底電信ヲ敷設スルコトヲカメタ
 ルモ多クハ失敗ニ歸シ一千八百五十六年ニ至リテ漸ク海底電線ヲ發明セリ先是
 陸上電信會社陸續トシテ起リ二十有餘ノ多キニ及ヘリ蓋當時電信ハ忽チ公衆ノ
 喝采ヲ博シ會社ノ收利極メテ多カリシカハ皆爭フテ之ヲ設立セリト云フ
 一千八百五十六年ニ「**ニューファウンドランド**」ニ至ル海底電信ノ敷設アリ同年更ニ
 大西洋海底電信ヲ敷設セシモ失敗ニ歸シタリシカ遂ニ一千八百五十八年八月十
 六日ニ至リ二千三十六哩ノ敷設ヲ完フシ英國女皇ト米國大統領トノ間ニ始メテ
 電信ノ通信ヲナシタリト云フ爾來海底電信會社ノ起ルアリ後英米電信會社之ヲ
 併セ今ハ有力ナル大會社ヲ成スニ至レリ未タ幾ナラス一千八百六十六年ニ及ン
 テ米國東西貫通電信ノ開通アリ又小會社ハ大會社ニ合併シ今日ハ非常ナル進歩

ヲナセリ今左ニ統計ヲ掲ケテ之ヲ示サン
 目下米國ニ於テ強大ナル電信會社ハ「**ウエスタンユニオン**」**ボスタルテレグラフ**」**ケ
 ーフル**」ノ二會社トナス其他多少ノ小會社アリ電信料ハ距離ニヨリテ同シカラス
 ト雖市加高ヨリ紐育迄四十仙市加高ヨリ桑港迄ハ八十仙ナリ
 今「**ウエスタンユニオン**」ノミノ統計ヲ示サハ

年 代	電信ノ哩	電線哩	取扱局數
一八六六年	三七、三八〇	七五、六八六	二、二五〇
一八七五年	七二、八三三	一七九、四六九	六、五六五
一八八五年	一四七、五〇〇	四六二、二八三	一四、一八四
一八九五年	一八九、七一四	八〇二、六五一	二一、三六〇
一九〇七年	一九〇、六一四	八四一、〇〇二	二一、七六九
年 代	一哩ノ貸一音信(仙)	費 用(仙)	利 益(仙)
一八七五年	七五・五	五一・二	二四・三
一八八五年	三三・一	二四・九	七・二
一八九五年	三〇・七	二三・三	七・四
一九〇七年	三〇・五	二四・三	六・二

今米國ノ輸出入貿易ト電信トノ關係ヲ見ルニ左ノ如シ

年 代	輸出入總額(弗)	年 代	輸出入總額(弗)
一八四五年	凡 二二〇,〇〇〇,〇〇〇	一八八五年	凡 一,三二〇,〇〇〇,〇〇〇
一八六五年	四〇〇,〇〇〇,〇〇〇	一八九五年	一,五五〇,〇〇〇,〇〇〇
一八七五年	一,〇五〇,〇〇〇,〇〇〇	一八九九年	二,〇〇〇,〇〇〇,〇〇〇

前世紀ニ於ケル米國電信ノ發達ハ實ニ盛ナルモノアリ鐵道ト云ヒ船舶ト云ヒ商工業ト云ヒ貿易ト云フ皆其隆運ヲ來タシタル所以ノモノハ全ク電信ニ負フ所多シト云フモ過言ニ非サルヘシ

第五款 電話

テレホーン(電話)ナル語ハ一千八百二十六年頃ヨリ行ハレタレントモ真正ノ電話ハ一千八百七十六年ベル氏ノ發明ニ係ルモノナリ蓋此以前ニ方リ電話ニ關スル考説ヲ公ニセル者多ク又之ヲ企テタル者モアリシカベル氏ニ至ル迄ハ之カ實現ヲ見サリシナリ氏ハボストン盲啞院ノ教授ニシテ其發音ノ作用ヲ考ヘタル結果偶然ニモ電話ノ發明ヲナセルモノナリト云フ氏ハ之ヲ費府百年紀念博覽會ニ出品

シ一千八百七十七年更ニ之ヲ改良シ漸ク汎ク用キラル、コト、ナリ現今電話ノ効用洋ノ東西ニ普シ氏ノ効偉大ナリト謂フヘシ
 既ニシテベルリナーエチソン氏ノ發明ヲ加フルニ至リテ電話ハ愈其好妙ニ達シ以テ今日ニ至レリスピーキングマイクrohintonト稱スルモノ是レナリ
 又初ハ單線ノ式ヲ用キタリシカ遂ニ複線式トナリ交換所ヲ設ケ一千八百八十四年ニ至リテハ凡一萬以上ノ人口ヲ有スル都市ハ悉ク交換所ノ設立アリ一千八百九十二年トナリテハ長距離電話ナルモノ起リ同年十月十八日紐育市加高間(凡一千哩ノ距離ナリ)ノ電話ヲ敷設シ兩市知事ノ電話ニヨリテ開通式ヲ行ヘリト云フ
 長足ノ進歩實ニ驚歎ニ堪ヘサルナリ
 事業ノ進歩ト共ニ多少ノ障害ヲ來タスヲ免レス即チ地下電流ノ障害是レナリ或ハ電話ノ際屢妨ケラレテ達セサルコトアリ時トシテハ電流ノ強弱ニヨリ一様ナラス其他種々ノ弊害ヲ生シタルモ改良又改良今ハ完全ナルモノヲ作ルニ至レリ
 一千八百八十一年ノ統計ニヨレハ米國ノ電話線ハ總テ二萬九千七百十四哩ナリシカ一千八百九十二年ニハ二十六萬六千四百五十六哩トナリ更ニ一千八百九十五年ニハ三十九萬六千六百七十四哩トナリ一千八百九十八年ニハ六十二萬六千

四百哩トナレリ

一千八百八十一年電話交換加入者ハ總テ四萬七千八百八十人ナリシカ一千八百九十一年ニハ二十萬二千三百九十一トナリ一千八百九十五年ニハ二十四萬三千四百三十二トナリ一千八百九十八年ニハ三十八萬四千二百三十人トナレリ又一千八百八十五年ニハ一人ニ付五回半ノ割合ナリシカ一千八百九十五年トナリテハ八回半ニ上レリ其實用ノ増加知ルヘキナリ今ヤ世界到ル所電話交換ノ業行ハレ大ニ商業ノ發達ヲ助クルニ至レルハ眞ニ十九世紀ノ賜ト云フヘシ

電話料ハ器械ニヨリテ同シカラスト雖又都市ニヨリテ異リ一年七十五弗乃至二百五十弗トナス又一回十仙ノ組織モアリアメリカベル電話會社ハ殆米國全體ノ電話ヲ支配シ其資本金凡二千六百萬弗ニ及フト云フ

第六款 エキスプレッス(通運會社ノ一種)

往昔建國ノ當時ニ在リテハ人ヲ運フニハ主トシテ驛馬車又ハ馬上ニヨリ御者ハ便宜上乗客ノ包物又ハ特別委託ノ物品ヲ先方ニ送り届ケタルモノナリ後航通ノ盛ナルニ從ヒ船長ハ代ハリテ此種ノ委託ヲ受クルヲ常トセリ然ルニ鐵道ノ敷設

ト共ニ一變シ馬車ハ汽車トナリ當時ノ御者ハ多クハ車掌トナレリ

當時鐵道ノ最初ノモノ、一タルマツサツチニセツツ州ボストンウーイスター鐵道會社ノ車掌ニハインデンナル人アリ氏ハ元驛馬車ノ御者ナリシカ此會社ニ入ルニ及ンテ自ラ思ヘラク舊習ヲ利用シテ小包物ノ運搬其他ノ事ヲ扱ヒ鐵道會社ト分離シテ以テ一個人ノ業務トナサハ獨リ公衆ノ便宜ナルノミナラス必ス收利ノ大ナルモノアラント乃チ之ヲヘール氏ニ謀ル氏大ニ此舉ヲ贊シ試ミニボストン紐育間ニ其業務ヲ開通セルニ(時ニ一千八百三十八年ナリ)ハインデン氏ノ從來ノ經驗ハ大ニ業務ノ發達ヲ助ケ幾ナラスシテ利益ヲ博セシカハ一千八百三十九年各種ノ新聞ニ廣告シテエキスプレッスナル業務ヲ開始シ物品ノ購買爲替手形ノ集金小包物ノ配達等ヲナスコトヲ公告セリ之ヲ米國ニ於ケルエキスプレッスノ始源トス

既ニシテエキスプレッス會社ハ大ニ世人ノ好評ヲ博シ業務盛ニ發達スルト共ニ他ノエキスプレッス會社ヲ生シアダムス氏專ラ之ニ當リ後兩氏合併シテ益業務ヲ擴張シタリシカハ貴重品ヲ始トシテ種々ノ物品ヲ委託スル者頗多キヲ加ヘタリ勿論當時彼等ハ總テノ損害ニ對シテ責任ヲ負フノ資産ナカリシカハ專ラ誠實

ト勤勉トヲ以テシテ過失又ハ損失ナカラシムコトヲ期シタルハ其評判忽チニシテ
 八方ニ擴マレリ

斯ル好評ハ忽チ會社ノ膨脹ヲ來タシ一千八百四十五年ニ至リテハ東ハ紐育ヨリ
 西ハ市加高ニ及ヒ南ハニューオールレアンスニ達スルコト、ナリ又エクスプレッ
 ス會社ノ新ニ起レル者少カラサリキ蓋エクスプレッスノ發達ハ鐵道ノ發達ニ伴
 ヒ幾ナラスシテ大ニ延長シ殊ニ鐵道ノ達シ難キ地ニ至ル迄荷物ノ運送ヲナスノ
 便宜ヲ與ヘタリ又一方ニハ業務擴張ノ方策トシテ荷物引受、注文者、買入人、配送人
 ヲ始トシテ商業上ノ信用ニ關シ一切ノ責任ヲ負ヒ更ニ書信ノ配送ヲモ行フコト
 、ナリタレハ一時ハ共ニ擴張セシカ政府郵便局ヨリノ反對ニヨリテ之ヲ廢止セ
 リ

カリホルニヤ金坑ノ發見以後ニ在リテハ東西ノ間ニ介立シテ有益ナル商業上ノ
 利益ヲ圖リ一千八百五十四年ニ至リ各エクスプレッス會社ハ合同ノ利益アルコ
 トヲ知リ小會社ハ皆合併シテ大會社トナリ以テ業務ノ敏活ヲ圖レリアダムスエ
 キスプレッス會社ノ如キ其一ナリアメリカエクスプレッス會社、ユナイテッドス
 テーツエクスプレッス會社亦當時ニ始マリ同時ニ太平洋海岸ニウエルスフアゴ

一會社、南部ニボニーエクスプレッス會社一千八百五十五年ナシヨナルエクスブ
 レッス會社一千八百六十二年サウザンエクスプレッス會社等相次イテ起レリ南
 北戰爭ノ頃ニ在リテハエクスプレッスハ殆唯一ノ交通機關タリキ當時政府モ亦
 深ク其鴻益アルコトヲ嘉シアダムスエクスプレッス會社ヲ以テ政府ノ公金、證券
 其他ノ金錢、配達物委託所トナシ今ハエクスプレッスノ業務愈擴張シ荷モ馬車ノ
 到ル所達セサルハナク個人ノ配達物ハ遠近都鄙ヲ問ハス總テ之ヲ扱ヒ更ニ商業
 手形ノ集金等ヲナシ之カ責任ヲ負ヒ兼テ正貨其他ノ貴重品ノ配達ヲナスニ至レ
 リ一千八百九十四年ノ報告ニヨレハ人民ヨリノ正貨凡二十五億萬弗政府ノ公金
 十五億萬弗總テ四十億萬弗ハエクスプレッスニヨリテ配達セラレ絶エテ一文ノ
 損失ナカリシト云フ今ヤ國中四萬ノ本社及ヒ支店ヲ有シ郵便ノ及ハサル所銀行
 ノ達セサル所ニ及ヒ殊ニ軌近外國輸出入品ノ登録及ヒ配達、税金ノ支拂等ヲ兼テ
 行ヒ業務愈繁キヲ加フルニ至レリ

エクスプレッスハ鐵道ト相待テ發達シタルモノニシテ鐵道ト密接ノ關係ヲ有ス
 ルコト猶車ノ兩輪ノ如シ一千八百九十八年ノ統計ニヨレハ其範圍ハ二十萬哩ノ
 長距離ニ及ヒ一億萬ノ普通小包物及ヒ二千萬通ノ金銀小包物ヲ配達シ金銀爲替

七百萬件ノ多キニ達シ使用スル所ノ者五萬人、四萬ノ支店出張所、一萬五千ノ馬六千ノ車、六千萬弗以上ノ資本ヲ有スルコト、ナレリ其發達豈盛ナラスヤ。之ヲ要スルニエキスプレッスハ政府タルト人民タルトヲ問ハス汎ク鴻益ヲ與ヘタルコト明ナリ或ハ新ニ賣買分配ノ新市場ヲ開キ或ハ交通ノ途ヲ開キ金錢上ノ行爲ヲ擴スシ以テ他種會社ノ及ハサル業務ヲ行ヘリ是レ實ニ米國特産ノモノニシテ又米人ノ最誇ル所ナリ今試ミニ米國ニ於ケルエキスプレッスノ事務ノ要領ヲ舉ゲテ一目瞭然タラシメン

- 一金銀財寶商品書狀及ヒ蓄類等ノ運送方
- 一爲替手形小切手利札及ヒ配當金等ノ取立方
- 一登記及ヒ納稅等ノ代理委託ニ應スルコト
- 一物品其他家具類ノ買入注文ニ應スルコト
- 一停車場又ハ旅宿等ニ於ケル手荷物ノ請求並ニ其運送方
- 一内國及ヒ外國爲替ヲ行フ
- 一電信爲替ノ發送及ヒ受納方
- 一旅行者ノ囑託ニヨリ汽車汽船ノ切符ヲ購買シ又ハ旅宿若クハ停車場等へ案

内ヲナスコト

即チ約言スレハエキスプレッスハ雷ニ通運ノ性質ヲ有スルノミナラス又銀行及ヒ委託媒介人タルノ性質ヲ有スルモノト謂ヘシ

第七款 市街鐵道

一千八百三十二年紐育市ニ始メテ馬車アリ後二十年ヲ經テ鐵道馬車アリ爾來五十年間ノ發達ハ即チ米國市街鐵道ノ歴史ナリトス現今ハ米國ヲ通シテ一千ノ市街鐵道會社ト十三億萬弗ノ資本ヲ有シ哩數一萬四千ニ及フ抑米國市街鐵道發達ノ歴史ハ之ヲ三期ニ分ツコトヲ得ヘシ第一期馬車鐵道第二期網索鐵道第三期電氣鐵道是レナリ第一期ニ於ケル馬車ハ今ヲ距ル凡七十年前即チ一千八百三十二年ジョンスチーファンソン氏ノ發明スル所ニシテ爾來幾ナラスシテ蒸氣ノ利用盛トナリ多クハ蒸氣車ト變セリ既ニシテ又高架鐵道ノ敷設セラル、ニ及ヒ市街鐵道ハ殆挫折スヘシト信シタル者多カリシカ人情ノ常トシテ地上ノ安全ヲ希ヒ久シカラスシテ復タソノ隆盛ヲ見タリ第二期ニ於ケル網索鐵道ノ發明及ヒ實施ハ桑港ニ在リトス蓋同市ハ土地ノ高低ニ様ナラス尋常ノ市街鐵道ヲ設クルコト能

ハサルヲ見テ一千八百七十二年ハデリー氏ハ遂ニ新式鐵道ノ發明ヲナシ一千八百七十三年始メテ其敷設ヲ見タリ既ニシテ之ニ倣フ者漸ク多ク費府紐育等皆桑港ノ式ヲ改良シテ之ヲ敷設スルニ至リ現今其哩數ハ東部州ニ一百五十七哩中央部ニ二百五十三哩南部ニ六哩西部州ニ二百十七哩合計六百三十二哩アリ但電氣鐵道ノ發明以來漸次減少ノ傾向ナリトス要スルニ時代ニヨリテ各特色アリ皆發達ノ要素タルコト疑ナシト雖相並ンテ之ヲ助ケタルモノハ實ニ會社ノ合同ナリトス此合同ノ事タルホイット子ー氏ノ力多キニ居ル一千八百八十年エチソン氏ノ始メテニュージアーシー州メンロー公園ニ電氣鐵道ヲ敷設シテヨリ爾來現今ニ及ンテハ新英蘭地方ニ一千三百九十二哩東部ニ三千一百八十九哩中央部ニ三千五百七十八哩南部ニ七百四十三哩西部ニ一千四百六十一哩總計一萬哩以上ニ上レリ實ニ現今ニ在リテハ電氣鐵道ノ用著シク顯ハレ獨リ迅速ナルノミナラス費用ノ大ニ節減セラル、ヲ以テ愈廣ク行ハル殊ニ近來空中架線電氣鐵道ヲ以テ危險アリトナシ地下電氣鐵道ヲ敷設シテ之ヲ紐育市ニ試ミタリ先是同市ニテハ技師ヲ歐洲ニ派遣シテ研究セシメ之ヲ改良シテ敷設スル所アリシニソノ結果大ニ良好ナリト云フ

今左ニ一千八百九十年ノ統計ニヨリ各鐵道ノ敷設費ヲ舉クヘシ

一哩ニ付 エクイ フメント	鐵道		馬車(弗)		電氣(弗)		鋼索(弗)		蒸氣(弗)	
	馬車(弗)	電氣(弗)	鋼索(弗)	蒸氣(弗)	馬車(弗)	電氣(弗)	鋼索(弗)	蒸氣(弗)		
九〇三	八三三	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	三三〇	
三六三	三六三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	三三三	

從來各會社ノ決算報告ニヨルニ年々收入ヲ増シ支出ヲ減シ収利多キモノ多數ナリトス

近來政府ノ郵便局ハ市街鐵道ヲ利用シ特別郵便車ヲ備ヘテ普通鐵道車ニ連續セシムルコト、ナリ亦收入ノ一部ヲナス而シテ此制度ハ漸ク益發達スルノ見込アリトス又米國市街鐵道ノ特色ハ其乘車距離ノ長短ニ拘ハラズ低廉ニシテ均一ナル切符料ニ在リトス若シ五仙ヲ投セハ市ノ一端ヨリ他端ニ到ルヘク或ハ折レテ他道ニ入レハ無料ニテ乗替切符ヲ交附シ如何ナル僻隅ニモ到ルコトヲ得ヘシ故ニ數町ノ間モ五仙ナレハ十哩ノ地モ五仙ナルヘシ此制度ハ米國全體ヲ通シテ行ハル、所ニシテ以テ交通ノ頻繁ヲ致シ人智ノ開發ヲ速ナラシメントスルノ趣旨ニ出ツト云フ蓋世界萬國ニ比類ナキ所ニシテ米國人ノ最誇張スル所ナリトス

第三章 信用機關及ヒ保險

第一款 銀行及ヒ手形交換所

惟フニ銀行ハ一國民ノ生命ナリ銀行ハ猶生血ノ如シ商業ノ頭腦トナリ勞働ノ手足トナリ由リテ以テ各種ノ商業的便宜ヲ與ヘ苟モ商業ニ關スル總テノ財源ヲ集メ小ナル者ヲ以テ大ナル者ヲ作り之ヲ必要トシ之ヲ利用スル者ノ爲メニ貸與スルコトヲ得ヘキ途ヲ開クニ在リ是故ニ利用セラレサル資本ナク甲ノ要セサル所ヲ以テ乙ノ要スル所ニ移シ以テ之カ實用ニ施スハ銀行ノ要務タリ

亞米利加ニ於ケル銀行ハ革命戰爭ト其紀元ヲ同フシ爾來幾多ノ根本的改革ヲ經タリ今一世紀以前ニ遡リテ之ヲ見レハ米國ニ於ケル經濟上ノ事情ハ一ニ合衆國銀行ノ手ニ懸レリ蓋此銀行ハ專ラ其模範ヲ英蘭銀行ニ取り一千八百十二年ニ於ケル戰亂ノ際ニ於テハ米國全體ニ關スル財政ノ權力ヲ擧ケテ其握ル所タリシカ

アンドリュー・ジャクソンノ時ニ至リ全ク之ヲ廢止シ州立銀行ノ組織ヲ見タリ中ニ最有力ナル銀行アリシト雖事務行政或ハ規一ヲ缺キ殊ニ紙幣ノ不利ヲ蒙ムリタルコト少カラス且東西所ヲ異ニシ其割引一ナラサルコトハ屢經驗スル所タリ

キ既ニシテ内亂ノ起ルニ及ンテ當時ノ組織適當ナラサルコトヲ認メ新ニ組織ヲ立テ以テ今日ニ至レリ其要トスル所ハ一大銀行ノ下ニ權力ノ集注スルコトヲ避ケ之ヲ國內幾多ノ銀行ニ配布シ合衆國政府ハ其發行スル紙幣ニ對シテ保證ノ地位ニ立ツニ在リ

亞米利加ニ於ケル銀行ノ歴史ヲ知ラント欲セハ須ク先ツアレキサンダー・ハミルトンヲ知ラサルヘカラス彼ハ合衆國最初ノ大藏卿ニシテ當時ノ大銀行家タルロバート・モリスト相並ンテ之ヲ記臆セサルヘカラス彼ハヒラデルヒヤノ一商人ニシテ一千七百八十年ニ方リ他ノ同志者ト共ニ一銀行ヲ立テ名ツケテペンシルベニア銀行ト稱セリ之ヲ合衆國ニ於ケル最初ノ銀行トナス蓋其唯一ノ目的ハ政府ノ爲メニ軍隊ヲ運搬シ及ヒ之ヲ駐在セシムルコトヲ助ケントスルニ在リシナリ

一千七百八十一年ニ至リ北亞米利加銀行新ニ費府ニ立テラレ同シク政府ノ財政ヲ助クルコトヲ目的トシ同時ニ一般銀行ノ業務ヲ司レリ資本金四拾萬弗ニシテ專ラ正貨ヲ以テ基礎ト爲シ其發行紙幣ハ法貨ト見做サレベンシルベニア州ヨリ一ノ特許ヲ得テ當時國內唯一ノ銀行タリシカハ利益極メテ多ク時トシテハ一割四分ノ配當ヲナセルコトアリト云フ斯ノ如キ非常ナル好結果ハ遂ニ他ノ競爭者

ヲ生シ幾多ノ銀行設立ヲ見ントシタルモ結局新ニ資本ヲ増加シ右銀行ヲ以テベ
ンシルベニヤ州立銀行トナシ大ニ改革ヲ加ヘタリ次イテ一千七百八十四年紐育
銀行ノ設立アリ蓋當時ニ方リテハ銀行ヲ以テ一般公衆ノ利益ヲ傷クルモノト信
シタル者少カラズ殊ニ一千七百八十五年ヨリ六年ニ際シ通貨ノ缺乏ヲ告ケタレ
ハ人民ノ不平ヲ唱フル者多ク遂ニアレキサンダーハミルトンヲシテ有名ナル財
政政策ヲ立テシムルノ已ムヲ得サルニ至レリ是レ則チ一千七百九十一年合衆國
銀行ノ新設アリタル所以ナリ抑此銀行ハ國會ヨリ二十ヶ年ノ特許ヲ得テ主トシ
テ政府財政ノ代理者トナリ公金預入ノ府トナリ正貨ヲ基礎トシテ紙幣ノ發行ヲ
許サレタレハ合衆國大藏省ノ代理者タリ又米國財政ノ中心點トハナリシナリ資
本額一千萬弗ニシテ之ヲ二萬五千株一株四百弗ニ分チ四分ノ一ハ正貨ヲ以テ拂
込ミ四分ノ三ハ六米附合衆國公債ヲ以テ拂込ムコトトナセリ又一千五百萬弗迄
ハ各種ノ財産ヲ所有スルコトヲ許サレ併セテ支店ヲ設クルコトヲ許サレタルカ
爲メ直ニ紐育市ニ支店ヲ設ケテ以テ大ニ業務ノ繁盛ヲ來タシ八米ヨリ一割ノ配
當ヲナスニ至レリト云フ斯ノ如クシテ得タルハミルトン政策ノ効果ハ著シク顯
ハレ國民一般ニ其福利ヲ謳フニ至レリ

一千八百三年ニ及ンテハ國內ヲ通シテ四十餘ノ銀行アリ一千八百十一年合衆國
銀行特許ノ消滅ト相次イテ一千八百十二年英國ト戰爭ノ事アリ一般ノ經濟界頗
不穩ノ狀態ニ陥リシカ後州立銀行制度ノ立ツニ及ンテ漸ク恢復スルコトヲ得タ
リ
然レトモ斯ノ如キ一時ノ勃興ハ反リテ一千八百十四年ニ至リ再ヒ變兆ノ基ヲナ
シ遂ニ正貨ノ支拂ヲ停止スルノ已ムヲ得サルニ至レリ是レ即チ私立銀行ノ由リ
テ起リタル所以ナリトス**スチーブンスギラード**氏ハ之カ卒先者ニシテ四百萬弗
ノ資本ヲ以テ一私立銀行ヲ費府ニ立テ名ツケテ**ギラード**銀行ト稱シ以テ其急ヲ
救ヒシカハ當時國家政府ハ勿論大ニ人民ノ爲メニ活カヲ與ヘタリ既ニシテ同年
十二月更ニ合衆國立銀行ニ許スニ爾後二十ヶ年ノ特許ヲ以テセシカハ一千八百
十七年ニ至リテハ既ニ費府中有數ノ銀行トナリ三千五百萬弗ノ資本アリ三十五
萬株ヨリ成リ内八萬四千株ハ外國ノ資本家ナリシト云フ以テ一斑ヲ窺フニ足ル
此新銀行ハ紙幣ノ發行ト共ニ一般銀行ノ業務ヲ行ヒ重役ハ二十五人ニシテ内五
人ハ株主中ヨリ大藏卿ノ指命ニヨリテ選任セラレ重役ハ更ニ七名ノ評議員ヲ設
ケ以テ一般行務ノ行政ヲ司レリ幾モナクシテ至要ノ都市ニハ全國到ル所之カ支

店ヲ設ケタリシカハ一千八百三十年トナリテハ既ニ二十七個人支店ヲ見タリ然レトモ合衆國銀行ノ再設ハ復タ州立銀行ノ正貨ヲ吸收シタルカ故ニ四百四十六行ノ内一百六十五行ハ遂ニ破産ノ不幸ヲ見ルニ至レリ當時州立銀行ノ資本ヲ合セテ九千萬弗ナリシカ正貨支拂ノ爲メニ實ニ三千萬弗ヲ要シタリト云フ微弱ナル銀行豈倒レサルヲ得ンヤ銀行ノ破産漸ク多キヲ加フルニ至リテ一千八百二十九年紐育ハ安全基金條例ナルモノヲ設ケ以テ一般銀行ノ法律トナシ其安固ヲ圖レリ

合衆國銀行ノ再設ト共ニ起レル者ヲ貯蓄銀行トナス貯蓄銀行ハ一千八百十六年始メテ費府ニ開カレ後ボストン紐育相次イテ之カ設立アリ

一千八百三十二年トナリテハ合衆國銀行ハ愈其基礎ヲ鞏固ニシ今ハ世界ニ於テ最有力ナル銀行ノ一トナレリ當時銀行ノ責任ニ屬スルモノ實ニ三千七百二十九萬六千九百五十弗二十仙ニシテ資産ニ屬スルモノ七千九百五十九萬三千八百七十弗九十七仙アリ英蘭銀行ヲ除クノ外世界中他ニ比類ナカリシト云フ

然レトモ合衆國銀行ノ勢力漸ク強大ナルニ從ヒ又強大ナル敵ヲ作リ大統領アン・ドリーニシヤケリンノ如キハ極力之ニ反對シ合衆國銀行ハ國家ノ自由ヲ妨ケ憲

法ニ違反スルモノトナシ遂ニ幾モナクシテ悉ク政府預入ノ公金ヲ回收シタレハ銀行ハ忽チ恐慌ヲ起シ一般ノ經濟界亦暗潮ヲ呈シ將ニ拾収ス可ラサルニ至ラントセリ頭取ハ深ク之ヲ憂ヒ急ニ大統領ニ迫リ僅ニ之カ業務ヲ繼續シ名ツケテ合衆國ペンシルベニヤ銀行ト稱シ以テ其必要ヲ示シ大ニ世論ヲ喚起シタルモ不幸ニシテ一千八百四十年遂ニ全ク消滅スルコトハナレリ先是一千八百三十七年ニハ州立銀行益増加シ全國ヲ通シテ六百三十四行ノ多キニ及ヒ資本總額實ニ二億九千一百万弗ニ上リ大ニ好況ヲ呈シタリシカハ州立銀行手形國內ニ充滿シ盛ニ投機ヲ煽動シ將ニ大ニ恐慌ヲ來タサントセリ此時ニ當リ大統領ジャクソンハ爲メニ財政ノ基礎ヲ危クセンコトヲ恐レ投機ノ中樞タル公有地ノ拂下金ハ總テ正貨ナラサル可ラサルコトヲ命シ併セテ銀行ノ正貨ヲ吸收セリ於是乎全ク正貨支拂ノ停止ヲ見ルコトナリ銀行ハ概破産ノ悲境ニ陥レリ次ノ大統領ハンピエーレンハ其急ヲ救ハントシテ紐育市ニ大藏省支局ナル者ヲ設ケ以テ銀行ノ破産ニヨル公金ノ亡失ヲ防クコトナセリ

一千八百三十八年五月ヨリ景氣漸ク恢復シ紐育費府ヲ始メ其他ノ州立銀行モ亦正貨ノ支拂ヲナスニ至レルモ不幸ニシテ一千八百三十九年九月ニ至リ再ヒ之カ

停止ヲ見タリ

米國銀行ハ斯ノ如ク幾多ノ困難ニ遭遇セリト雖一千八百四十年ニハ其數九百一
資本額三億五千八百萬弗ニ達セリ唯夫レ州立銀行ノ聲望未タ甚揚カラス再ヒ舊
時ノ國立銀行制度ノ恢復ヲ望ミタル者少カラサリキハリソン將軍ノ如キハ之ヲ
以テ政綱トナシ熾ニ其必要ヲ唱道シテ以テ大統領撰舉ニ勝チ任ニ就クニ及シテ
力ヲ極メテ之カ再設ヲ望ミタルモ不幸ニシテ未タ成ルニ至ラスシテ身先ツ死セ
リ次ノ大統領タイラー氏ハ全然之ニ反對シ遂ニ終ニ之ヲ再設スルニ至ラス以テ
今日ニ及ヘリ

爾來銀行ハ專ラ確固タル基礎ヲ作ランコトヲ務メ漸ク景氣ヲ恢復シ既ニシテ一
千八百四十九年カリホルニヤ金坑ノ發見アリ著シク其氣運ヲ挽回セリ次イテ一
千八百五十三年十月十一日米國財政史上著大ナル事件ヲ生セリ紐育手形交換所
ノ設立是レナリ抑手形交換所ハ財政及ヒ經濟社界上最必要ナル者ナルコト固ヨ
リ論ヲ俟タス即チ銀行ハ各自ニ集會スルノ不便ヲ省キ資本ノ運轉ヲ滑ナラシメ
併セテ之カ會員タル銀行ヲ保護スルノ安全ナルコト此制度ニ若クハナシ一旦交
換所ノ設立アリテヨリ銀行ハ大ニ力ヲ得タルノミナラス殊ニ南北戰爭ノ際ニ方

リテハ死力ヲ盡シテ其急ヲ救ヒ交換所ノ保護ヲ基礎トシテ公債募集ノ任ニ當リ
以テ巨額ノ公債ヲ起スコトヲ得タリ現今紐育手形交換所ハ六十有餘ノ銀行會員
ヲ有シ八十有餘ノ他ノ銀行ノ手形ヲ交換シ其額實ニ日々一億萬弗ヲ起ユト云フ
豈盛ナラヌヤ爾來費府市加高セントルイボストン等爭フテ之ヲ設立セリ

一千八百五十七年以來激烈ナル投機熱ノ反動トシテ一般ノ恐慌ヲ來タシ尋イテ
南北戰爭トナリ正貨ノ支拂ヲ停止シ政府ハ盛ニ紙幣ヲ發行シテ以テ公債トナシ
タレハ銀行ノ破産セル者續々トシテ起リ遂ニ一千八百六十四年六月三日國立銀
行條例ヲ制定セリ蓋其要トスル所ハ五名又ハ以上ノ株主ヲ有スル會社ニシテ全
額ノ拂込ヲ必要トシ紙幣發行ノ權ヲ有セシムルト同時ニ之カ保證トシテ政府公
債ヲ差入レ其額面ノ九割迄ハ之カ發行ヲ許セリ爾來多少ノ變革ヲ經タレトモ其
要ニ至リテハ變スルコトナシ

右條例ノ發布ト共ニ舊州立銀行ニシテ新國立銀行ニ改メタル者少カラス内亂全
ク終ハリタル比ハ其數凡五百ニ達セリト云フ當時國會ハ大藏省管財局長ノ見込
ニヨリ國立銀行紙幣ノ發行額ヲ三億萬弗ニ限リシカ幾モナクシテ其不足ヲ訴ヘ
更ニ五千四百萬弗ヲ増加シタルモ亦之ヲ吸收シ盡シタレハ茲ニ融通ノ途ヲ失ヒ

一千八百七十三年大ニ恐慌ヲ來タシタル際尙法律ニ拘束セラレ紙幣ヲ發行シテ之カ急ヲ救フ能ハス途ニ一千八百七十五年ニ至リ國會ハ紙幣發行額ノ制限ヲ除キ銀行ノ業務愈擴張セラレ紙幣ノ發行益膨脹シ或ハ行務ノ措置宜シキヲ失スル者アリ再ヒ一千八百九十三年ノ大恐慌トナリシモ幸ニシテ其長キニ至ラス今ヤ既ニ全ク恢復ヲ告クルニ至レルハ蓋米國ノ至幸ト謂フヘキナリ

之ヲ要スルニ一百年前ニ在リテハ僅ニ四十萬弗ノ資本ヲ有スル唯一ノ銀行アリシノミナリシニ一千八百九十八年末ニハ三千五百八十五ノ國立銀行ヲ有シ資本額ヲ合セテ六億二千二百萬弗積立金二億四千萬弗トナリ貸附及ヒ割引ノ總額二十一億六千萬弗ニ上レリ又一千八百九十八年ニ於ケル手形交換所ノ交換高ハ總テ六百六十億萬弗ノ巨額ニ達セリト云フ豈隆ナラスヤ

國立銀行ニ次イテ今日米國ノ金融機關タル者ヲ州立及ヒ私立銀行貯蓄銀行及ヒ家屋建物貸附會社貸附及ヒ信用會社等トス

一千八百九十八年ノ統計ニヨレハ州立銀行ノミニテモ其數四千二百六十六行ニシテ資本額二億三千四百萬弗ニ上リ貯蓄銀行ハ九百七十九行アリ資本額一千八百五十四萬弗ニシテ私立銀行ハ七百五十八行資本額ヲ合セテ一千七百萬弗ニ達

シ使用及ヒ貸附會社ハ二百四十六ニシテ資本一億一百二十三萬弗建物貸附會社ハ其資本額ヲ合セテ四億五千萬弗ニ達シ又有力ナル資本家金融機關ノ一タリ即チ國立銀行以外ノ銀行數ハ總テ五千九百三行ニシテ資本ノ總額ハ三億七千萬弗ニ上リ國立銀行ト合セテ十億萬弗ニ近シ

米國ハ右ノ如ク無數ノ金融機關ヲ有ス政府ノ任務亦重シト謂フヘシ蓋一國銀行ノ歴史ハ其國力ノ消長ヲトスルニ足ル今米國銀行ノ總數ハ凡一萬八千餘行アリ資本額ヲ併セテ七十五億餘萬弗ニ上ルト云ハ、其進歩ノ絶大ナル多言ヲ要セザルナリ

一千八百九十九年ノ國會ニ於テ愈金貨本位制ヲ確立シ國立銀行モ亦其缺點ヲ補修スルコト、ナリタレハ今後益基礎ヲ固クシ米國一般ノ財政及ヒ經濟界ノ健全ナル發達ヲ見シコトヲ疑ハサルナリ

米國々立銀行條例摘要

米國ニ於ケル國立銀行ハ專ラ監幣局長ノ監轄スル所而シテ監幣局長ハ又大藏大臣ノ直轄ニヨル

●國立銀行條例

米國ニ於ケル國立銀行條例ナルモノハ一ノ法典ヲ成スモノニ非ス折ニ觸レ時ニ應シ必要ノ件
件ヲ追加補修セルモノ集マリテ一ノ法規ヲ形成セルナリ左ニ錄スルモノハ則チ其最要ナルモ
ノニ止マル

一 國立銀行ノ有スル權利左ノ如シ

一 銀行ノ印章ヲ採擇使用スルコト

二 二十年ヲ定期トス但適意ノ解散又ハ不法ノ行爲ニヨル解散ハ此限ニ非ス

三 契約ヲ結フコトヲ得

四 自然人ト同シク訴訟ノ當事者タルコトヲ得

五 重役ヲ撰擧スルコト重役ハ頭取出納人其他役員ヲ云ヒ且之カ職分ヲ明ニスヘシ

六 法律ニ抵觸セサル範圍内ニ於テ之カ規定ヲ設クルコトヲ得

七 此等ノ職員ヲ以テ左ノ事務ヲ行フコトヲ得

約束手形爲替手形及ヒ其他ノ債證ノ割引及ヒ融通手形預リ金ノ受取爲替硬貨金銀塊ノ賣買人
的擔保ニ對スル貸出通貨ノ授受及ヒ發行

二 銀行ハ單ニ人的擔保ニヨリテ貸出チナスコトヲ得必シモ不動産ヲ以テ貸出ノ唯一擔保トナスコ
トヲ得ス

三 各國立銀行ハ十萬弗以上ノ拂込資本ヲ有セサル可ラス又五萬以上ノ人口ヲ有スル都市ニ在リテ
ハ二十萬ヲ最限トス尤大藏大臣ノ見込ヲ以テ人口六千人以下ノ都市ニ限リ五萬弗ノ資本ヲ許ス
コトヲ得

四 業務開始前少クトモ過半ノ拂込資本ナカル可ラス殘額ハ銀行業務開始認可ノ時ヨリ五分ノ一宛

チ拂込マサル可ラス

五 監督局長ハ充分ノ検査ヲ經タル上其銀行ノ業務開始認可狀ヲ發スルコトヲ得

六 資本ノ増減ハ總テ監督局長ノ認可ヲ經ヘシ

七 國立銀行株主ハ其株金ノ全額又ハ其株金ニ投セラレタル全額ニ充ツル迄ハ總テ契約負債ニ對シ
テ均分ニ及ヒ比例的ニ其責任ヲ負フモノトス

八 十五萬弗又ハ以下ノ資本ヲ有スル國立銀行ハ其業務開始以前ニ方リ其資本額ノ四分ノ一ヨリ少
カラサル合衆國利子附公債ヲ大藏卿ニ預クルコトヲ要ス

十五萬弗以上ノモノハ五萬弗トス

此公債券ハ其銀行ノ通貨發行ノ紙幣ニ對シテ兌換スルノ擔保タルヘキモノニシテ其額ヲ超エタ
ルトキハ他ノ債權者ト均シク其銀行解散ノ際ニ之ヲ請求スルコトヲ得

九 國立銀行ハ別ニ指定ノ都市ニ在リテハ常ニ其預リ金ノ二割五歩以上ノ正貨準備ヲ要ス其他ハ同
シク一割五歩トス

又紙幣發行ノ準備金ハ五歩トシテ之ヲ大藏卿ニ預クルモノトス尤此額ハ預入準備ノ一部ニ繰込
ムモノトス

十 積立基金ハ常ニ其利潤ノ十分ノ一迄積立ツヘシ而シテ其額カ資本ノ二割ニ達シタルトキハ之ヲ
準備金トナスヘシ

十一 國立銀行ハ年五回以上精細ナル計算報告書ヲ監督局長ノ指揮ニ從ツテ差出スヘキモノトス

十二 國立銀行ハ大藏省支局ナキ地ニ限リ無酬ニ合衆國ノ公金預入ノ府トシテ其經濟的代理人タル
業務ヲ行フモノトス

三 國立銀行ハ假令何人ト雖一人ニ對シテ資本額ノ一割以上ノ貸出ヲナスコトヲ得ス
 四 國立銀行ハ其州領又ハ地方ニ定メタル定利以上ノ利ヲ課スルコトヲ得ス
 五 國立銀行ハ年二回半歲毎ニ其通貨紙幣ノ平均額ノ五厘ノ稅ヲ大藏省ニ納ムヘシ
 六 國立銀行設立ノ際ニ方リテハ左ノ條件ヲ必要トス

一 名稱

二 地位

三 資本額

四 株主ノ名及ヒ人員

五 証狀ノ目的

六 國立銀行ハ金券償還ノ銀行ヲ設クルコトヲ得即チ其銀行紙幣ニ對シテ金貨ニテ兌換スヘシ
 七 國立銀行發行紙幣額ハ大藏省預金額ノ九割以上ヲ上ルコトヲ得ス
 八 國立銀行ニシテ破産スルカ又ハ隨意解散シタルトキハ大藏省ハ其銀行發行紙幣ノ兌換ニ任スヘシ

附 金券及ヒ國立銀行發行紙幣ハ法貨ト看做サス但金銀券ハ公金ノ授受トナスコトヲ得又國立銀行券ハ輸入稅及ヒ公債利子ヲ除クノ外ハ公金トシテ授受スルヲ得其他ハ總テ法貨トス

以上

手形交換所

ハ數多ノ銀行カ互ニ貸借ノ關係ヲ有スル場合ニ於テ其勘定尻ヲ確保シ及ヒ之ヲ辨濟スルノ機關ナリ故ニ若シ單ニ二個ノ銀行アルニ止マラシメ

ハ絶エテ交換所ノ必要ヲ見ス之ニ反シテ多數ノ銀行相集マリ箇々別々ニ之カ勘定ヲ定ムルカ如キハ頗繁雜ヲ免レス於是乎始メテ交換所ノ要アリ今ハ暫ク紐育市ニ於ケル手形交換所ノ實況ヲ述ヘテ以テ米國全體ノ代表者タラシメントス

紐育手形交換所ハ六十有餘ノ會員ヲ有シ各其番號ヲ定メ合衆國大藏次官モ亦其會員ノ一タリ今假リニ簡單ナル實例ヲ取ルトキハ甲ナル銀行カ乙ナル銀行ト一ノ規約ヲ定メ甲ノ振出シタル一切ノ手形ハ交換所ヲ通シテ乙ノ勘定書記ニ呈示セラレ宛モ自體ニ振出シタル手形ノ如ク扱ハルモノトス又此場合ニ於テ乙ナル銀行ハ甲ナル銀行ニ向ツテ振出シタル手形ニツキテハ交換所ノ會員ニ對シテ責任ノ地位ニ在リ此ノ如クシテ各會員ハ手形振出銀行ノ名目ニ從ツテ一切ノ手形ヲ排列シ之ヲ一束トナシ更ニ其全額ヲ記載セル表紙ヲ附ケ別ニ各個ノ銀行ニ對シテ有スル貸方ノ總額ヲ示シ各其切符ヲ貼附スヘシ同時ニ總テノ銀行ニ對スル貸方合計ヲ表明スヘキ別紙ヲ添ヘテ之ヲ交換所ニ呈示セサル可ラス之ヲ以テ當日交換所ニ對スル貸方徵收ノ方法ト爲ス此呈示書ハ交換所ノ支配人又ハ證認書記ニ差出スモノトス以テ交換實務執行前至ク準備ヲ終ハル

各銀行ハ交換所ニ送ルニ二人ノ書記ヲ以テ送達書記及ヒ勘定書記是レナリ交

換所ノ内屋ハ三方ニ分レ勘定書記ハ各指定ノ場所ニ着キ送達書記ハ各別ノ封筒内ニ納メタル小切手ノ束ヲ所持シテ勘定書記ノ前面ニ立ツモノトス各自午前十時前凡十分ニ其座ニ着キ二分前ニ至レハ支配人ハ呼鈴ヲ鳴ラシ荷モ缺席スル者アルトキハ科スルニ二弗ノ罰金ヲ以テス之ヲ要スルニ一般ノ組織ハ全ク軍隊ノ風ニ倣ヒ正十時トナルトキハ送達書記ハ其隣席ニ在ル銀行ノ勘定書記ニ適當ナル小切手ノ束ヲ渡シ豫テ用意セル受取箱ノ内ニ添附ノ切手ヲ落入レ以テ勘定書記ノ前ニ目錄書ヲ表示シ勘定書記ハ之ニ記號ヲ附シテ以テ其小切手束受取ノ證トナス此ノ如クシテ各送達書記ハ各勘定書記ニ順次送達受授シテ毫モ間然スル所ナシ其終ハル迄僅ニ十分ニ過キス此手續ヲ終ハルヤ否ヤ支配人ノ前ニ座セル證認書記ハ各銀行ノ貸方ニ記入ヲ終ハルヘシ各銀行カ交換所ニ對スル貸方勘定ノ總額ハ送達書記カ兼テ落入レタル受取箱中ノ切符ノ總額ニ均シカラサル可ラス次ニ各勘定書記ハ各自ノ受取箱ニ挿入セル切符ノ額ヲ締メ之ヲ證認書記ニ送り證認書記ハ銀行ノ順序ニ從ツテ之ヲ借方勘定ニ記入ス此ノ如クシテ得タル差引勘定ハ一覽シテ交換所トノ貸借ヲ明ニスルコトヲ得ヘシ此間凡半時間ヲ費スヲ常トス證認書記カ其誤ナキコトヲ認メタルトキハ支配人ハ徐ニ各自ノ差額ヲ

朗讀シ各勘定書記ヲシテ貸借ヲ記入セシム其嚴格ナルコト實ニ驚クニ堪ヘタリ苟モ誤謬ヲナシ又ハ遲滯シ或ハ支配人ノ命令若クハ一般ノ規律ニ從ハサルトキハ直ニ處罰セラルヘシ各自貸借ノ金額ハ一回ノ交換ニシテ一千萬弗ヲ超ユルモノアリ或ハ小切手ノ數三萬以上ニ達スルモノアリト雖通常差引勘定ノ高即チ交換所カ支拂若クハ受取ルヘキ額ハ其當日集中セル小切手ノ總額ノ凡五分ヲ常トス借方トナリタル銀行ハ午後一時半前ニ之ヲ交換所ニ支拂ヒ交換所ハ直ニ之ヲ貸方銀行ニ拂渡スモノトス現今一日ノ交換高ハ凡一億萬弗ニ上リ時トシテハ一週間十五億乃至二十億萬弗ニ上ルコトアリ其交換此ノ如ク大ナルカ故ニ弱小ナル銀行ハ時トシテ其借方ノ全額ヲ支拂フコト能ハサル場合アリ若シ一ノ銀行ニシテ此ノ如キ不幸ニ遭遇スルトキハ忽チ他ノ銀行ニ波及シ銀行社會ノ大恐慌ヲ來タスコトアリ此際ニ方リテハ所謂手形交換所貸附證券ト稱スルモノヲ發行シテ此急ヲ救フコトアリ一千八百九十三年手形交換所協會ハ一ノ決議ヲナシ荷モ其會員タル者ハ各自ノ貸借對照表及ヒ擔保品ヲ明記シテ之ヲ交換所ノ貸附委員ニ呈出シ其交換トシテ擔保品ノ時價ノ七割五分ニ達スル迄貸附證券ヲ受取り之ヲ以テ交換所ニ於ケル勘定尻ノ支拂ニ對スル現金ノ代用ヲ爲サシム此證券ハ他

ノ目的ニ向ツテ使用スルコトヲ得ス且證券發行ノ時ヨリ六朱ノ利子ヲ附スルカ
 故ニ如何ナル銀行ト雖必要ノ限度ヲ超エテ之ヲ要求スル者ナシ此利用ノ途アル
 カ故ニ銀行ハ其準備金ヲ以テ普通基金トナスコトヲ得固ヨリ之ニヨリテ準備金
 ヲ増加スルコトヲ得スト雖以テ一般ノ人心ヲ和ケ正貨ノ支拂ヲ要求セラルコ
 ト少シ又之ニヨリテ通貨ノ缺乏ヲ補フコト能ハスト雖以テ人民ヲ安堵セシメ
 空ノ需要ヲ停止スルノ力アリ之ニヨリテ悉ク正貨支拂停止ノ不幸ヲ禁遏スルコ
 トヲ得スト雖以テ支拂停止ヨリ生スル不良ノ結果ヲ除クコトヲ得ルニ庶幾シ
 或ハ思ヘラク果シテ此ノ如クンハ所謂貸附證券ナルモノハ發行ノ限度ヲ有セザ
 ルヘシト然リ然リト雖正貨支拂ノ停止ヲ救フノ効力ハ蓋正貨ノ準備全ク盡ルト
 キニ終ハルモノト云ハサルヲ得ス實際ハ銀行ニ於テ正貨ノ全ク盡ル迄躊躇スル
 コトナシ又小切手ニ對シテハ通常手形交換所ヲ經テ始メテ効力アリト捺印シ概
 其九割五分ハ他ノ銀行ヘノ貸方勘定ニヨリテ平均スルヲ常トス若シ銀行カ小切
 手ニ對シテ一覽拂法貨ノ支拂ヲ請求セラレタルトキハ之ニ應セサル可カラスト
 雖若シ此捺印アル小切手ヲ受納シタル者ハ現金ノ代用ヲ受クルヲ拒ムコトヲ得
 ス是ヲ以テ貸附證券ノ効用ハ或ハ銀行ノ破産ヲ救ヒ内外ノ通商ヲ活動セシメ兼

テ労働者ノ窮乏ヲ恤ヒ商工業者ノ不振ヲ挽回スルノ効ナキニ非ス現ニ一千八百
 六十年、一千八百八十四年、一千八百九十年、一千八百九十三年等ノ恐慌ノ際此證券
 ノ發行ニヨリテ大ニ之ヲ救フコトヲ得タリト云フ

◎手形交換所貸附證券ノ雛形

番號	金高
此證券ハ一千八百九十年十一月十一日此協會ノ決議ニ基キ何銀行 ノ爲メニ發行セラレ又相當ノ擔保ヲ此委員ニ預入レタルコトヲ證 明ス	
此證券ハ手形交換所協會ノ會員間ニ於テ頭記ノ金額ニ對シテ手形 交換所勘定尻ノ支拂ニ充ツルコトヲ得ヘシ	
前記預入銀行ニ於テ此證券ヲ返付シタルトキハ此委員ハ其銀 行ノ負債ニ對スル支拂トシテ記入セラレタル額ヲ裏書シ擔保 品ノ割合ニ應シテ之ヲ返附スヘキモノトス	
金額	紐育市
年月日	紐育手形交換所協會貸附委員
	各委員署名

此證券ノ裏面ニハ何銀行ノ手形交換所ニ拂渡セルモノトストア

第二款 トラスト

緒言

輓近米國ニ於テ産業上ノ合同組合ヲ組織スルモノ甚多ク皆名ツケテトラストト稱ス或ハ其組織ニ於テ或ハ其目的ニ於テ大ニ異ルモノアリト雖トラストハ頻々トシテ發生シ八十億萬弗ノ富ハトラストノ吸收スル所トナリ五百ノ會社ハトラストノ流行ニ侵サレ數百萬ノ勞働者ハ悉クトラストノ使役スル所トナリ尙續々トシテ起リ殆其止マル所ヲ知ラス天下靡然トシテトラストノ神前ニ屈跪スルモノ、如シ於是乎理論家ハ曰ハクトラストノ弊ヤ言フ可ラス政府ハ宜シク法律ヲ以テ之カ規定ヲ設ケ禍ヲ未萌ニ防クノ策ヲ執ラサル可ラスト政治家ハ曰ハクトラストハ其主義ニ於テ憲法ニ違反スル所ナキヤ否ヤト資本家勞働者ハ各自家ノ利ヲ以テ標準トナシ論難辯護到ラサルナク上下ヲ舉ケテ其講究ニ餘念ナシ殊ニ

昨一千八百九十九年九月トラスト會合ヲ市加高市ニ開キ此問題ヲ討議スルニ至リテ愈益米國ノ輿論ヲ喚起シ今ヤ將ニ世界ヲ通シテトラストノ論議日ニ盛ナラントス而シテ他方ヲ顧ミレハ苟モ文明國ト稱セラル、者ハ殆トラストノ組織アラサルハナク又之カ發生ヲ促サ、ル者ナシ是レ豈十九世紀ノ末葉ニ於ケル産業上ノ一奇觀トナスニ足ラサランヤ蓋近來斯ノ如ク世人ノ注意スルニ至リタル所以ノモノハトラストヲ以テ單ニ自由競争ノ結果ニ外ナラスト斷言スルコトヲ肯セス法律上ノ禁制ハ殆皆無用ノ長文ニ屬シタルコトヲ證明スルモノニシテ或ハ憂キニ之ヲ攻撃スル者モ今ハ翻リテ贊成ノ意ヲ表スル者ナキニ非ス則チ知ルトラストノ發生未ダ必シモ輕々ニ看過ス可ラサルコトヲ從來トラストヲ論スル者動モスレハ一般普通ノ觀察ニ止マリ理論ニ據リ歴史ニ稽ヘ實際ニ訴ヘテ之ヲ詳論スル者アルヲ聞カス惟フニトラストノ講究ヲシテ徒ニ政治家ノ論議ニ一任スルカ如キハ頗危險タルヲ免レス宜シク之ヲ數理的ニ考察シ部分ト部分トノ關係ニツキ終ニ全部ト部分トノ關係ニ論究スヘシ一般經濟現象ノ發達如何國民ノ性質如何立法上ノ關係如何將タ又主觀的勢力則チ偶然ノ事實又ハ特別人ノ存否如何等ヲ講究シ審議シ以テ其真相ヲ穿タサル可ラス獨英二國ノ如キハ夙ニ此研究

ニ與ルヤ久シ米國ハ未タ其發達ノ初期ニ屬スト雖亦之ヲ研究スル者甚少カラス且近來我日本帝國ニ於テモトラストノ議論漸ク行ハレ上下ノ別ナク朝野ノ論ナク之ニ注意スル者日ニ増加スルノ勢ナルカ故ニ別ニ項目ヲ分ツテ少シク論究スル所アルヘシ

第一項 トラスト發達史

米國ニ於ケルトラストハ歐洲ニ於ケル者ト其趣ヲ同フセス蓋歐洲ニ在リテハ遠ク往古ニ發シ一旦全ク其勢力ヲ失ヒシカ近來ニ至リテ再ヒ勃興セルモノ、如シ米國ニ在リテハ獨立ノ當時憲法ヲ制定スルニ方リテ英國ノ主義ヲ採用セス専ラ個人ノ權利ヲ重シシ政府ノ力ヲ藉ラスシテ自由放任ノ主義ヲ採リシカハ國勢漸ク進ミ文物漸ク開ケ人口漸ク増加スルニ從ツテ産業上自ラ三大變化ヲ來タシ小資本家ハ變シテ大製造家トナリ鐵道ノ發達ハ生産ノ中心ヲ作り地方ノ勢力ヲ一所ニ集ムルニ至リ財源ノ豊富ハ漸ク製造ノ中心ヲ生シタリ當時皆思ヘラク生産大ナルニ從ツテ物價下落シ物價ノ下落ハ消費ヲ増進シ消費ノ増進ハ愈人工ヲ要スルニ至リ賃銀ハ益騰貴シテ一般ノ消費力爲メニ膨大スヘシト且政府ハ安リニ

個人ノ自由ニ任シタルカ爲メ製造ノ業ニ從フ者著シク増加シ生存競争ノ結果遂ニ合同ノ必要ヲ生シ根本的平民主義ノ破壞ヲ見タリ然レトモ政府ハ尙未タ其弊ヲ悟ルニ至ラス依然トシテ普通法又ハ州法ノ制限ヲ以テ足レリトナシ敢テ關涉ヲ加フルコトヲ爲サス難問ノ起ル毎ニ判決ヲ異ニシ或ハ合同ノ當事者カ互ニ其合意ヲ遂行セサリシトキハ損害ヲ償ハシムルコトヲ爲サスシテ却リテ其合意ヲ目シテ不法ニシテ無効ナリトナシ或ハ當事者ノ一方カ故ナク取消ヲ求メタルトキト雖裁判所ハ之ニ關涉ス可ラストナシ或ハ第三者カ損害ヲ受ケ訴訟ヲ提起シタルトキハ其合同ヲ以テ不法トナシ解散ヲ命シ或ハ反リテ之ヲ問ハサルコトアリ所説紛々區々ニシテ司法ノ主義何レニ在ルカヲ疑ハシメタリ既ニシテ一大革命ハ米國ノ産業社會ニ襲來セリ曰ハク南北戰爭コレナリ抑南北戰爭ハ政治上永久ノ合同ヲ形成シ人民ヲシテ悉ク平等ノ人格ヲ有セシメ鐵道ハ愈延長シ經濟上ノ合同愈其繁ヲ加フルニ至リ識者或ハ思ヘラク新時機ノ來ル遠キニ非サルヘシ經濟上ノ變革當ニ是レヨリ見ルヘキモノアラント未タ幾ナラス一千八百七十三年ヨリ一千八百七十七年ニ至ル世界的恐慌ノ風波ハ米國ヲ席卷シテ其渦中ニ投シタリシカハ製造者ハ其消費ノ著シク減少セルヲ歎キ勞働者ハ其糊口ノ途ヲ

得ルノ難キヲ訴ヘ與論大ニ震動シ上下ヲ擧ケテ極力其急ヲ救ハンコトヲ期シ痛ク計畫スル所アリ是時ニ方リ一世ノ豪傑ジョン・デー・ロックフェラー氏ハ奮然トシテ蹶起シ世論ニ反對シ斷乎トシテトラストヲ組織シ自ラ其局ニ當リ以テ産業上一大革命ノ基ヲ開ケリ之ヲスタンダード石油會社トナス維時一千八百八十二年ナリ氏ノ炯眼ハ能ク時勢ヲ看破シ産業ノ進歩ニ於テ最適切ナリシカ故ニ事業勃然トシテ興リ幾ナラスシテ名聲噴々タルニ至リシカハ他ノ製造業者爭フテ之ニ倣ヒ砂糖、ホイスキー、鉛、綿種油、甘忍油、澱粉ヲ始トシテ近來殆トラストヲ見サルハナクトラストニ非サレハ以テ産業ヲ興スニ足ラストナスニ至レリ氏ノ功實ニ偉大ナリト謂フヘシ

株式取引所ニ於テトラストノ擔保ヲ取扱フニ至リテ益勢力ヲ増大シ殆止マル所ヲ知ラサリシカ未タ久シカラス原料ノ生産者ハ大ニ不安ノ心ヲ生シ小賣商及ヒ消費者ハ貨物ノ供給新府ヲ開キタルニ恐懼シ株式取引所ニ於ケル急速ナル増加ハ反リテ大ニ不信任ヲ來タスノ源トナリ物議茲ニ生シ一般ノ公衆ハ合同會社ニ對シテ不平ヲ懷キ鐵道會社立法者、司法者ノ間絶エス紛紜ヲ來タシ鐵道ノ延長益盛ナルニ及ンテ愈此弊ヲ助成シ遂ニ放任ス可ラサルニ至リテ一千八百八十七年

新ニ州際通商條例ナルモノヲ發布シ專ラ鐵道ノ差別的賃銀ヲ課シ又ハ合同ヲナスコトヲ禁制シ次イテ工業上一般ノ合同ニ關シテ法律ノ關涉ヲ必要トスル者多キニ至リ紐育州ヲ始メ其他諸州ニ於テ先ツ之ヲ禁止スルノ法律ヲ發布シ違フ者ハ五千弗乃至一萬弗ノ罰金ヲ科シ五年以上十年以下ノ禁錮ニ處スルコトヲ規定シジョージア州ノ憲法ノ如キハ新ニ左ノ規定ヲ設ケタリ曰ハク州會ハ如何ナル會社ニ對スルモ他ノ會社ト共ニ個人ノ業務ノ競争ヲ破リ又ハ獨占ヲ獎勵スルカ如キ契約若クハ合意ヲ許可スルノ權利ヲ有スルコト能ハサルヘシ若シ此種ノ契約若クハ合意ヲ爲シタル者ハ總テ不法又ハ無効タルヘシト是レ蓋主トシテ鐵道會社ニ對スル規定ナリシカ爾來一般ノトラストニ適用スルコト、ナレリ時ニ一千八百七十七年ナリ一千八百八十九年ニハカンサス、メイン、ミシガン、ミソリー、子ラスカ、北カロライナ、テンネッシー、テキサス、アイダホ、モンタナ、北ダコタ、ワシントン、ワイオミング等ノ諸州ニ於テ同様ノ規定ヲ設ケ一千八百九十年ニハアイヲワケンタッキールイジアナ、ミソリー、南ダコタ一千八百九十一年ニハケンタッキー、ミソリー、アラバマ、イルリノイ、ミンネソッタ、ニューメキシコ一千八百九十二年ニハ紐育、ウエスコニンシ一千八百九十三年ニハカリホルニヤ等ノ諸州領ニ於テ或

ハ新ニ之カ規定ヲ設ケ或ハ修正ヲ加ヘ一千八百九十一年合衆國政府ハ合衆國條例ヲ發布シ一千八百九十四年ニハ輸入稅條例ヲ發布シテ多少トラストニ關係ヲ有スル規定ヲ設ケタリ近來又トラストノ論極メテ盛ナルト共ニ或ハ修正補改スル所アルノミナラス進ンテ國家ノ立法ヲ要ストノ論甚熾ナリ於是乎國會ハ上下兩院議員各九名大統領ノ撰任ニ係ル者九名合セテ二十七名ノ調査委員ヲ置キ專ラ之カ講究ニ盡スヲ見レハ其法律完成ノ日蓋遠キニ非サルヘシ

第二項 トラストノ性質及ヒ種類

トラストノ性質及ヒ種類ハ之ヲ數種ニ分ツコトヲ得ヘシ先ツ獨占業ノ種類ニツキテ論述スルヲ順序トス

第一 自然的獨占業

商品ノ種類ニヨリテ或ハ地方的ニ產額ノ制限アリ或ハ其材料ニヨリテ制限アルヲ免レス故ニ或土地ノ所有者又ハ其生産物ノ購買者ハ間々個人ニ對シテ強制的勢力ヲ有スルコトアルハ固ヨリ論ヲ俟タス原料ノ生産ニ於ケル合同ハ多クハ其萌芽ニ係ルモノナリ即チロツクフェラーカスーベリヤ湖ノ礦山地方ヲ獨占セン

トスルノ類是レナリ蓋鐵鑛ハ各地ニ發見セラレ又種々ノ形ニ於テ存在スルヲ常トスルガ故ニ獨占ニ難シ柔炭ニ於ケルモ亦然リ一千八百九十三年ノ恐慌以前ニ在リテハ中央諸州ノ採掘額價格賃銀等ニツキテ未タ一定ノ組織ナカリシカ爾來アレガニー山以西ニ一大合同アリ礦山所有者ハ皆其價格ヲ低廉ニシテ生産ヲ増加シ一方ニハ賃銀ヲ下ケテ之カ損失ヲ償ハントセシカハ一千八百九十四年五月石炭礦採掘ノ大ストライキヲ惹起スニ至レリ之ニ反シテ硬炭ハペンシルベニヤ及ヒ近隣諸州ニ限ラレ一方ニハ西部地方ノ來リテ競争スルノ憂ナク他方ニハノヴァスコシアノ競争ハ輸入ノ高稅ニヨリテ之ヲ防キ以テ其安全ヲ圖リ幾度カ共同組合ノ成リシコトアルモ今日ニ至ル迄未タ純然タル合同ノ組織アルニ至ラス年々五千萬噸ノ採掘アリ主トシテ東部諸州ニ於テ消費セラル惟フニ硬炭ノ將來ハ未タ知ル可ラスト雖近來柔炭ハ製鐵業ニ使用セラル、コト夥シク漸ク硬炭ノ地ヲ奪ハントスルニ反シテ西部諸州ハ漸ク硬炭ヲ消費スルコト、ナレルハ奇ナラスヤ

礫砂ノ生産業又此種ニ屬ス或地方ニテハ截石業ノ組合アリ鐵銅亞鉛銀鉛精製油等ノ工業亦此種ノ組合アリ中ニモ石油ノ如キハ露西亞ヲ除クノ外世界中他ニ類

スル者ナキ獨占業タリ唯其原料ノ生産ヲ獨占スルコト能ハサルハ井田ハ皆小資本家ニヨリテ成ルヘキモノナレハナリ

第二 準自然的獨占業

何人ト雖之ヲ樹立スルコトヲ得而シテ一旦起サレタルトキハ容易ニ競争スルコト能ハサル種類ノ者ナリ是レ其莫大ナル資本ヲ要スルヲ以テナリ此種ニ屬スル者ハ概自然的獨占業ト比肩スヘキ勢力ヲ有スルニ至ルモノトス

イ 米國ニ於ケル鐵道業ノ如キ即チ是レナリ一旦其集中ノ事起リテヨリ如何ナル立法モ之ヲ動かスコトヲ得ス競争ハ屢會社及ヒ人民ニ危害ヲ及ホシ現ニ一千八百八十四年ニハ此種ノ危難ニ遭遇シ市加高紐育間即チヴァンダービルド及ヒ新ドレキセルモルガン會社ノ競争劇烈ナリシコトアリ大西洋貨物及ヒ乗客汽船間ノ合同モ亦錄スルニ足ル外國行ノ汽船會社モ輒近合同スルコトハナレリ

ロ一 歐洲ニ在リテハ鐵道ハ主トシテ國家ニヨリテ運轉セラレ殊ニ郵便、電信、電話等ハ國家ニ屬シ市ハ水及ヒ燈光ヲ供スルニ反シテ米國ニ於テハ全然公ノ行政ニ屬スルモノハ郵便ノ一事アルノミエキスプレッス及ヒ爲替ノ送達ハ今日ハ

多ク四大私立會社ノ運轉ニ係リ資本金四千八百萬弗ニ上ル皆漸次小會社ヲ購買シ又ハ滅落セシメタルモノニシテ其間一定ノ率ヲ定メ殊ニ競争ヲ避クルカ爲メ地方的區劃ヲ立テ以テ一會社ト他會社トノ業務ノ關係ヲ明ニシ兼テ鐵道會社ト特約ヲ結ヒ小包物ノ獨占權ヲ取得セリ

ニ 電信ノ組織ハ由來幾多ノ會社ヨリ成レリト雖今ハ專ラウエスタンユニオン及ヒポストタルテレグラフ會社ノ掌中ニ歸シ海外電信ヲモ扱フニ至レリ

ウ エスタンユニオンハ一千八百五十二年ヨリ一千八百五十六年ノ間ニ五十有餘ノ小會社ヲ吸收シ一千八百五十六年紐育州ヨリ特許ヲ經テ大會社トナリ一千八百八十年トナリテハ更ニ一大合同ヲナシ從來四千一百萬ノ資本ヲ増シテ八千萬弗トナセリ或ハ之ヲ妨害セントスル者多カリシカ皆其効ナクシテ止ミヌ此他合同セル電信會社甚少カラサリシカ爾來大ニ利益ヲ増加シ一千八百八十七年ニハ二步ノ配當ナリシモノ五步トナリ一千八百九十年七步七厘五毛トナリ更ニ一千八百九十二年ニハ一割ノ配當ヲナシタリト云フ右ト相並ンテ成効セルモノヲポストタルトナス其資本金ハ今日一千萬弗ナリ而シテ一般ノ電信料ハ合同以來大ニ高騰シ殊ニ近距離ノモノハ甚高キヲ致セリ

電話ノ業ハベル電話會社及ヒ其代理店ニ在リトス資本金八千二百萬弗ニシテ大多數ヲ管制シ地方ニ屬スルモノハ皆小會社ノ營ム所ニシテ州際間ハ亞米利加電信電話會社ニヨリテ營マル

三 大都會ニ於ケル給水ハ主トシテ特許ヲ經タル私人會社ノ營ム所ニシテ多クハ一定ノ損料ヲ仕拂ヒ又ハ總收入ノ割宛ヲナシテ以テ特許ヲ經ルモノトス或ハ之ヲ難スル者アリ曰ハク徒ニ賄賂ニヨリテ人生ニ缺ク可ラサル給水ノ事業ヲ腐敗セシメ一般ノ人民ハ其利ヲ享クルコト能ハスト夫レ或ハ然ラン

四 瓦斯ノ事業モ亦給水ニ等シ中ニモ市加高瓦斯トラストハ著名ナルモノニシテ四大瓦斯會社ハ一千八百八十七年合同シテ一ノ純然タルトラストヲ組織シイルリノイ州ノ特許ヲ經タリ其後大ニ紛紜アリシモ結局仲裁ニヨリテ事纏マリ一千八百九十三年六分利附一千萬弗ノ公債ヲ起シテ其事件ヲ收メダリ右會社ハ市加高エコノミックフエエルガスカンパニー(經濟的薪炭用瓦斯會社ノ義)ヲモ管制スルモノトス此種ニ屬スル者ハゼ子ラル電氣會社ニシテ五千萬弗ノ資本ヲ有ス

第三 法律上ノ獨占業

專賣特許及ヒ版權是レナリ由來コノ種ノ獨占ハ人性ノ特質ヲ發揮シ智能ノ發達ヲ獎勵スルモノトシテ何人モ之ヲ論議スル者ナシ而シテ專賣權ニヨリ數多ノ重要ナル合同ヲ形成シ裁判所ノ判決モ亦常ニ專賣ニヨル特許ノ爲メニ利益ヲ圖ルモノニ似タリ

最重要ナル專賣ノ中ニ或ハ其作用ヲ利用スルカ爲メ國內ノ各所ニ支店ヲ設クルアリ或ハ一地方ヲ以テ中心トスル者アリ時トシテハ專賣權者ハ轉貸ヲ許シ相當ノ利益ヲ納メシムル者アリ例ヘハワツシバーンエンドモーンノ有鉤金線ノ發明ニ於ケルカ如キ是レナリ後幾多ノ小支店ヲ合セテ更ニ一大合同ヲ作りコロンビヤパテントカンパニーニ讓渡セリ

版權ノ中ニ就キ學校教科書ノトラストハ特ニ録スヘキモノタリ此トラストハ三會社ヲ除クノ外ハ悉ク合同シタレハ無法ノ高價ヲ課スルトノ批難ナキニ非ス

第四 以上述ヘ來リタル種類ノ外ニ尙無數ノ合同アリ

然レトモ其多クハ變幻出沒常ナラス自由貿易論者ハ內國商工業ノ發達ハ專ラ保護稅ニ在リトナシ又之ニヨリテ合同ノ原則ヲ保ツコトヲ得ルト主張シ之ニ反スル者ハ曰ハク米國ノ鐵道ハ刑罰的ノ一揆ナクシテハ遂ニ存在スルコト能ハサリ

シナリト今ニ至リテ尙ブールス(共同勘定組合ノ義)及ヒ合同ノ出沒離合ハ甚常ナラス

嘗テ紐育レホームケラフト稱スル自由貿易論者ノ機關雜誌ハ一百ノ實例ヲ舉ケテ專ラ保護稅ノ恩澤ニヨルモノトナセリ即チ硬炭、銑鐵、有鈎金線、ビスケット、ケラツカー、礪砂、綿蠟燭、陶器類、綿油、マツチ、紙袋、硝子、米、鹽、砂糖、蝙蝠傘、赤杉等ハ其主ナルモノナリ

要スルニ保護稅ヨリ受クル利益ノ大ナルモノハ商工ヲ獎勵スルニ在ルコト明ナリ今一朝關稅ノ大改革ヲ行ハ、各種ノ合同ニ非常ノ影響ヲ及ホスヘク又幾多ノ合同ハ鐵道ニヨリテ以テ其安全ヲ保ツコトヲ得互ニ相俟テ發達セルコト論ヲ俟タス思フニ經濟的發達ノ傾向ハ是等合同ノ存在ヲ望ムナルヘシ或ハ之ヲ稱シテ資本家ノ合同ト名ツクルモ可ナラン乎

右ニ述フル所ハ主トシテ自然的又ハ人爲的獨占業ノ種類及ヒ性質ニ屬ス是レヨリ一般ノトラストニツキテ論スル所アルヘシ

第一 多少不定形ノモノ

イ競争ヲ抑制スルコトナク唯普通共同ノ目的ノ爲メニ同一ノ業務ニ在ル者カ合

同スルモノニシテ例ヘハ或種ノ利害ヲ保護スル爲メニ形成セラレタル國立州立又ハ地方立組合ノ如キモノ是レナリ又釀造家國立協會ハ以テ例トナスヘシ此協會ハ撰擧ノ當時ニ方リテ勢力ヲ及ホシ又ハ立法院ノ平和ヲ保持スルカ爲メ時々集金シ特ニ自家ニ不利益ナル課稅又ハ禁酒法ノ如キモノ、提出ヲ拒ムノ目的ヲ以テ組織セラレタル者ナリ銀行家、國立協會、地方賣子、ホテル、俳優、教師等ノ間ニモ此種ノ組織アリ

右ニ舉クル者ノ外更ニ商業ノ風習、登記、相場、物價ノ高低等ニ關スル規則ヲ設ケタル組合、釀造組合ノ如キ其一例ナリ市加高、紐育ニ於ケル釀造家組合ハ小賣商ニ賣ルヘキ割戻金ノ種類及ヒ制限ヲ定メ荷車馬御者代ハリテ一定シ得意先ニ配附贈呈スル飲物ノ種類ヲビール、氷箱、圖書等ニ限り廣告費ニ制限ヲ置クノ類ナリ特ニ著シキモノハ市加高ニ於ケル家畜及ヒ肉類商集合是レナリアーミー、ス井ット、モーリス、子ルソン及ヒハンモンドノ五商會ニテ米國全體ノ家畜及ヒ肉類ヲ管制シ而モ各個々獨立ノ業務ヲ執リ唯家畜ノ賣買價格ヲ一定シ之ヲカシサスシチー及ヒラマハ等ニ及ホスモノトス又彼等ハ獨立シテ肉類販賣所カ妄リニ安價ニ賣捌クコトヲ禁シ毎日ノ市價ヲ定メ之ヲ犯ス者ハ禁法ニ處シ各

主任者ハ常ニ會合シテ其價格ノ高低ヲ定メ唯各自ノ市場及ヒ得意先ヲ害セザルヘキノ約ヲナス故ニ彼等ニ反抗スル事業ヲ起ス者ナキニ至ルヘシ牛乳ニモ此種ノ組合アリ又取引所モ此種類ニ屬ス彼等ハ其扱フヘキ商品ノ性質ニ就キテ一定ノ標準ヲ立テ其取引又ハ登錄ニ對スル擔保ノ許否支拂ノ條項取引ノ形式交換ノ方法等ヲ定メ其主任者タルヘキ人々ハ各組合員間ノ仲裁者トナリ又商業道德上ノ行爲ニツキテ判決ノ位地ニ在リトス

醫師、法律家亦此種ノ組合ヲ組織セリ

ハ物ノ價格ヲ一定スルカ爲メ定期ノ集會ヲ催シ之カ生産額ヲ決シ其賣捌ニ關シテ普通共同ノ代理人ヲ指定スル組合例ヘハ石炭商ノ如シ紐育市ニ於テ毎月一回ノ會合ヲナスヲ常トス此種ニ屬スル商業亦甚少カラサルナリ

第一 前者ヨリハ一層嚴密ナル形式ト物質的結合ニヨリテ成レル強力ナル組合イ生産ノ額又ハ市場ニ賣出スヘキ高ヲ定メ其價格ヲ一定シ口頭及ヒ書面ニヨリテ之カ合意ヲ示スモノ例ヘハ石腦油精製家ハ此種ニ屬ス又ハスタンダード石油會社ノ如キハ其代表者トシテ運動シ又小賣商人ニ賣渡スヘキ最下額ヲ定ムルモノ概此種ニ屬ス

口罰則ヲ設ケ又ハ合意ノ主旨ヲ安全ニスルカ爲メ特ニ其利益ノ幾分ヲ割キテ共同基金ニ繰入レ又ハ共同ノ利害ノ爲メニ支辨シ更ニ之ヲ定率ニヨリテ分配スル等嚴格ナル規定ヲ設クルモノ第一者ニハ製鐵業鐵道業者等アリ第二者ニハ封筒業者其適例ナルヘシ

ハ割賦金ノ組織ニヨル合同即チ一ノ團體ト他ノ團體トノ間ニ賣買ヲ特約スルモノ之カ補償トシテ其相手タルヘキ團體ハ特別割賦金ヲ請取ルモノナリ亞米利加烟草會社ノ如キコレナリホイスキートラスト及ヒ新聞社會ニ行ハル、共同通信組合亦此種ニ屬ス目下皆此通信ノ補助ナクシテ行ハルヘキ新聞紙ナシ

第二 全體ノ利害ヲ目的トシ及ヒ之カ遂行ヲ目的トスルモノ
一 個人ノ事業ハ實際上又ハ名義上保有セラル、モノニシテ即チ純然タルトラスト是レナリ

一 異會社ノ株式ノ多數ヲトラスチー(即チ評議員ニ引渡シトラスチーハ專ラ之カ管理ノ責ニ任シ代フルニトラスト證券ノ交附ヲ以テスルモノ
一 株式ノ全體ヲトラスチーニ引渡シトラスチーハトラスト證券ヲ發行シ前所
有者ハ其製造所ノ價格ニ相當スル質物ヲ得且別ニ相當ノボンドヲ受クルモ

ノ(ホンド)ハ保證書ノ義ナリ)ハ、
ハトラスト證券ニ代フルニ無條件ニ其財産ヲ以テシ之ヲトラスチーノ手ニ引
渡スモノ

ニ全ク個人ノ事業ヲ合同スルモノ
ハ損料又ハ貸地ノ方法ニヨリ一時結合スルモノ鐵道會社ヲ最トシ其他之ヲ形
成スルモノ少カラス

ル永久ニ結合スルモノ
1 賣買ニヨルモノ例ヘハ幹線カ支線ヲ買上ケ一ノ會社カ他會社ヲ買上クル
如キモノナリ

2 株式所有權ノ全然管制ニヨリ
3 異分子ノ混合スルモノ即チフルックリンニ於ケルヘッカー・ジュエルジョン
スシルリンク商會カ他ノ三會社ヨリ發達シタル如キコレナリ

4 既ニ現存スル全體ノ會社ヲ併呑シテ新ニ一大會社ヲ起スモノ而シテ或ハ
一ノ中央權力ヲ以テ全然之カ管理ニ任シ或ハ特別ノ支店又ハ地方ニ幾分
ノ獨立權ヲ認ムルモノ

右三種ノトラスト中第三種ニ屬スルモノハ最重要ニシテ商工業ノ發達ニ伴ヒ最
後ニ現ハレタルモノトス是レ即チ財政上及ヒ物質上生産ノ全然合同ヲ指スモノ
ナリ

第三項 トラストノ組織

前段述フル所ニヨリテ畧トラストノ種類ヲ盡セリ之ニヨリテトラストナル者ハ
何等ノ明白ナル原因ナクトモ自然的又ハ人爲的ニ設立セラレ專ラ當事者ノ趨向
ニ基キ管理者ノ技能ニ根據ヲ措クモノナルコトヲ知レリ是レヨリ進ンテトラス
トノ組織ニツキテ述フル所アラントス唯茲ニハ特ニ最重要ナル形式ニツキテ論
究スヘシ即チ其資本及ヒ行務ノ方法共ニ物品ノ生産ニ關スル諸種ノ要件ニツキ
規一ナラシムルノ行動ヲナスモノニシテ生産ヲ廉ニシ其額ヲ一定シテ以テ價格
ノ管制ヲナサントスルニ在リ此種ニ屬スル者ハ石腦油鉛綿油甘忍油砂糖シガラ
ットマツチホイスキー澱粉芋繩クラツカー護謨及ヒ皮革ノ合同ノ類ナリ
抑絶大ナル起業ハ必シモ理想的道德的又ハ一般經濟的ノ原理ニ基キテ組成セラ
ル、モノニ非ス其直接ノ目的ハ單純ニシテ且健全ナル利益ヲ得ントスルニ在リ

彼ノロツクフェライト云ビヴァンダービルドト云ヒ初ヨリ經濟的ノ神託ヲ奉シテ起テタルモノニ非ス又初ヨリ必ス一國ノ中心的鐵道經濟ノ規模ヲ立テントシテ起セルモノニハ非サルヘシ唯夫レ彼等ノ果敢異常ノ行動ハ遂ニ一般ノ商工ニ對シテ著大ナル進歩ノ階梯ヲ作レルニ外ナラサルナリ米國ニ在リテハ個人ノ活動ハ極メテ自由ニシテ起業者ノ人物如何ニヨリテ其地位ヲ管制スルノ力アリ又開發の大事業ヲナシ非常ノ創造的勢力ヲ以テ全體ノ商工業ノ爲メニ其個人ノ勢力ヲ扶植スルモノ多キコト遙ニ歐洲ニ優レリ然レトモ社會ハ時代ニヨリテ其必要ヲ同フセス時トシテハ急劇ナル改革ヲナシ起業者ノ重キヲナスコトアリ時トシテハ現在ノ狀況ヲ保守スルコトアリ又既成ノ進歩ニヨル組織及ヒ規律ニ依頼シテ其國ノ一般ニ及ホサントスル時代アリ蓋發明及ヒ創造ノ事ハ素ヨリ非常ノ精神ニ非サレハ能ハスト雖之カ事業ヲ活動セシムルニ至リテハ寧常人ノ爲シ易キ所ナリトス之ニ反シテ不世出ノ勢力家ト雖時トシテハ却リテ一般ノ固執的傾向ニヨリテ禁束セラレ其活動ヲ妨ケラル、コトアリ所謂經濟的法則ニ抗スルコト能ハサルナリ見ヨ一旦非常ノ經濟的的革命ニ遭遇スルトキハ反對ノ勢力ヲ碎カサルモノ稀矣例ヘハ嘗テ強大ナル會社ト鐵道トノ間ニ密約ヲ結ンテ他ヲ苦シメ

タルコトアルカ如シ是レ事實上ノトラストニ外ナラス其起原ハ遠クトラスト以前ニ發生シ其採ル所ノ方法必シモ常ニ公平ナラサルノミナラス甚シキニ至リテハ粗暴ニ流レ大商工業家ハ鐵道會社ト特殊ノ關係ヲ有シ差別的運賃ヲ課シテ以テ競争者ヲ撲滅スルコトヲ力メタルコトアリ此時ニ方リテ如何ナル偉人アリト雖之ニ反抗スルコト甚難カルヘシ又合同ヲ組織スト雖必シモ皆成效スルモノニ非ス彼ノスタンダード石油會社ノ創設以來之カ瀕ニ傲ヒ唯其易キヲ見テ其難キヲ見サリシカハ續々トシテトラストノ發生アリシカ中ニハ激烈ナル戰鬥ト同盟トニヨリテ自然的ニ發生セル者亦多シ例ヘハホイスキートラストノ如シ一千八百六十年ノ終ハリニ在リテハ其生産ノ包容力ハ消費額ノ二倍ニ上リ釀造家ヲ擧ケテ悲惨ノ狀況ニ陥リシカ既ニシテ消費ハ漸次其額ヲ加ヘ一千八百七十八年歐洲ニ向ツテ盛ニ之カ輸出アリ又新ニ無數ノ競争者ヲ生シ一千八百八十二年ニハ歐洲ヘノ輸出大ニ衰ヘシカハ其賣價ハ生産費ニ及ハス遂ニ共同組合ノ制度ヲ必要トシ太西輸出協會ヲ形成シ更ニ國會ニ補助金ヲ請求シテ容レラレス一千八百八十七年ニ至リ釀造家及ヒ家畜飼養者間ニ一ノトラストヲ造リ大ニ價格ヲ引下ケテ他ノ競争者ヲ壓倒シ強ヒテ其權力ニ服セシメタリハフマイヤースブレック

ルス氏ノ砂糖精製業ニ於ケルモ亦然リ大ニ事業ヲ擴張シ同時ニ最新ノ器械ヲ應用シ以テ價格ヲ引下ケ他ノ競争者ヲシテ手足ヲ展ハスコト能ハサラシメタリビツツバーグノカーチーギーノ製鐵業モ亦此種ニ屬スルモノトス

蓋合同ナル者ハ必シモ全體ヲ支配スルコトヲ要セス其生産者ノ大部分及ヒ生産ノ大半ヲ管制スルコトヲ得ハ足レリ故ニ大合同ノ起ルニ方リテハ必ス多少其他ニ獨立シテ同一ノ業務ヲ行フモノアリト假定セサル可ラス從ツテ時トシテ其獨立者ハ反リテ間接ニ合同ヨリ生スル利益ノ分配ヲ受クルコトナシトセス固ヨリ彼ノ起業ノ經濟的技能ト云ハ、之ヲ小者ニ比シテ其生産費ノ廉ナルヲ尙フ即チ大資本ヲ有シ土地及ヒ個人ノ事情ヲ斟酌シ其事業ニ練達セル人ヲシテ起業セシムルニ在リ而シテ合同ノ起ルヤ順序ヲ經テ健全ニ發達スル者ノ外ハ其業務上緩慢ノ恐アリ又其業務繁榮ナルトキハ個人ハ却リテ各自ノ獨立ヲ喜フト雖一旦恐慌ニ遭遇スルトキハ始メテ合同ノ利益ヲ覺悟シ又徒ニ價格ヲ引下ケテ以テ市場ヲ妨害シ競争者ヲ破壊シ労働者ノストライキ其他種々ノ障害起ルアリテ後始メテ合同ヲ熱望スルニ至ルモノトス然レトモ合同ノコト未タ必シモ皆之ヲ全フスルコト能ハス或ハ全ク投機的ニ出テ妄リニ大資本ヲ投スル者アリ或ハ業務施行

ノ活動其宜シキヲ得ス非常ノ損失ヲ招キテ倒ル、者アリ由是觀之起業者ノ基礎トナスヘキ物質、行務、商業及ヒ技術ノ如何ニヨリテ其結果ヲトスルコトヲ得ヘシ今試ミニ所謂大起業者タルモノハ如何ニシテ其目的ヲ遂行スルカヲ見ルニ彼等ハ先ツ其思考ヲ回ラスニ方リテ幾多ノ年月ヲ費シ或ハ事情ノ爲メニ妨ケラレ或ハ異種ノ利害ニヨリテ結合上屢困難アルコトヲ免レス故ニ其成立ヲ望ムハ既ニ異常ノオアルコトヲ要ス而シテ其考案ノ成ルニ及ンテヤ或一致ノ意見ヲ形成シ證書ヲ作り合同者各自トラストノ行爲、合同ノ條件ト契約條項等ノ署名ヲナスモノトス之ヲ最初ノ手續トナス此手續終ハルヤ彼等ハ先ツ法律上ノ條件ヲ充タシ之カ特許ヲ受ケ同時ニ諸種ノ財産ニツキテ箇々ノ評價ヲナシ新會社ノ資本額ヲ定メ同意者ヲシテ之ヲ分擔セシム次ニ撰舉會ヲ起シ施行規則ヲ立テ始メテ其行動ヲ頭取又ハ委員會ニ委任ス彼等ハ又更ニ生産ノ最良法ヲ討議シ最完全ニシテ且最利益多キ方法ニ據リテ之ヲ起シ其利益少キ者ハ漸次門戸ヲ鎖スニ至リ始メテ第一着ノ競争遮斷ヲ行フ蓋如何ナル起業ト雖合同ノ以前ニ在リテ其全力ヲ利用スルノ難キヤ明ナリ綿油トラストノ如キ其一例ナリ砂糖トラスト、ホイスキトラスト又之ニ屬ス第一ノ者ハ合同成ルノ後始メテ十二會社、第二ノ者ハ生産全

額ノ四分ノ一第三ノ者ハ六十八會社ヲ閉鎖セシメタリト云フ而シテ一旦合同ノ成ルヤ更ニ進ンテ其事業ニ密接ノ關係ヲ有スル諸種ノ業務ヨリ補助セラルベト甚多シ即チ副産物ノ取得及ヒ利用ニヨリ其荷造原料ノ自製ニヨリ又ハ運輸方法ノ改良等ニヨルモノ是レナリ之カ爲メニ賣上高ヲ増加シ及ヒ市場ヲ擴張スルノ効偉大ナリト云フ即チ石油トラスト及ヒ綿油トラストノ歐洲ニ支店ヲ有スルハ全ク之カ爲メナリ

之ヲ要スルニ從來組織セラレタルトラストハ概其目的ヲ達シタルモノ、如シ勞働ヲ減シ材料ヲ節シ以テ眞實ノ利用品ノ最大額ヲ生産スヘキ經濟的理想ニ近ツキツ、アルモノト云フヘシ尙彼等ハ常ニ其改良ノ方法ニ注意シ新器械ヲ應用シ勞役節約ノ方法ヲ案出シ漸次手工ヲ省クコトヲ務ム例ヘハ亞米利加精糖會社綿油會社ノ如キホイスキートラストスタンダードマイルトラストノ如キ皆然ラサルハナシ其勢力此ノ如ク大ナルカ故ニ同種類ノ業ニ在リテ反對スル者ハ多クハ失敗ヲ免レス又之カ爲メニ無數勞役者ノ糊口ヲ絶チ或ハ屢生産靜止ノ不幸ニ遭遇スルノ弊アルヲ免レサルナリ

トラストヲ評スル者或ハ曰ハク生産ノ規律ニ關シテトラストハ常ニ禁制的ノ行

爲ヲナスノ害アリト之ヲ歴史ニ顧ミルニ其需要急ナルトキハ漫リニ供給ヲ節シテ以テ大ニ價ヲ引上ケタルコトナキニシモアラスト雖是等ノモノハ所謂盲目者流ノ徒ニシテ有識ナル施政家ニ至リテハ却リテ健全ニシテ且漸進的ノ方法ヲ執リ專ラ市場ノ急劇ナル變化ヲ防カンコトヲ是レ勉ムルヲ常トス又曰バクトラストハ實ニ屢消費者ノ身分不相應ノ價格ヲ保持シ原料ノ製造者ニハ反リテ意外ノ低價ヲ償ヒ以テ暴利ヲ貪ルコトアリ砂糖トラストノ如キ其實例トナスニ足ルト然リト雖經驗ハ彼等ニ教訓セリ曰ハク生産ヲ改良シ之ヲ安價ニ賣捌クハ即チ最後ノ勝利者ナリト若シ不法ニ其價格ヲ引上クルトキハ投機者流ノ其間ニ起リテ大ニ競争ヲ試ミ遂ニトラストノ基礎ヲ危クスルノ憂アルコトヲ明ニセリ澱粉トラストハ此實例ナリ唯原料品ノ價格が大ニ下落セルノ事實アルコトハ争フ可ラス例ヘハ合衆國皮革會社カ皮革ノ價格ヲ下落セシメタルカ如シ煙草トラスト亦然リ然リト雖又反對ノ現象ナキニ非ス即チ綿油ノ製造盛ナルニ從ヒトラストハ消費者ヲシテ高價ヲ拂ハシムルニ反シテ原料ノ生産者ト共ニ其利益ヲ頌チタルコトアリ由是觀之トラストノ組成アリト雖價格ノ上騰甚シカラサレハ以テ危險ヲ來タスコトナク假令彼等ハ多少其價格ヲ引上クルトモ生産ノ方法ヲ改良シ以

テ利益ヲ收ムルコトヲ務ムル者ナリ故ニ普通ノ市價ヲ以テ論スルトキハ普通ノ事情ニ在リ且互ニ相當ノ利潤ヲ目的トスル生産費ハ其變動著シキニ至ラス之ニ反シテ若シ生産ニシテ異常ノ便利ナル經濟的狀勢ニ在ルトキハ其利スル所ハ個人ニ集中スルコトアリ然ラハ則チ方今米國ノ狀勢ニヨリ公衆ハ果シテ其トラストノ異常ナル利益ノ分配ヲ受ケツ、アリヤ否ヤジエンクス氏ハ曰ハク合同ハ屢適法以外ノ利益ヲ收メ且一時物價ノ高騰ヲ來タセリ例ヘハ砂糖、火酒、石腦油等ニ於ケルカ如シト或ハ曰ハクトラストノ公共的利便ヲ與フルヤ實ニ大ナリト思フニ兩者ノ説或ハ妥當ヲ缺クモノアラン蓋トラストノ最成效セルモノハ其事業ノ改良ヲナシ生産品ノ品質ヲ高メテ以テ消費者ノ負擔ニ堪フヘキ極度ニ其價額ヲ引上ケタルモノニシテ未タ無法ナル獨占業ノ源ニ倣ヘル者アラサルカ如シ然レトモ若シ機會ノ投スルアレハ競争者ハ之ニ乘シ反對勢力ヲ逞フスルニ至ランスタンダード石油會社ニ對スルコロンビヤ石油會社ノ如シ蓋スタンダードト露西亞トノ石油協定會ノ成效ヲ舉クルコト能ハサリシハ全ク之カ爲メノミ綿油會社モ精糖トラストモ何レモ大ナル競争者ヲ生セントスルノ傾向ナキニ非ス唯近來競争者ノ劇甚ナルモノアルトキハトラストハ特別ノ手段ヲ運ラシ得意先ノ好

意ヲ失ハサルノ方法ヲ講シ相當ノ歲月間其會社ト取引セル者ハ五步乃至七步ノ割戻ヲナスコトアリシガレツツ及ヒアルコホールトラストノ如キコレナリ但其割戻支拂前ニ方リテ其トラストト正確ナル取引ヲ持續シ且他ノ會社ト取引セツツシコトヲ證明セサル可ラストラストカ物價ニ及ホス影響ニ就キテハ諸説紛々トシテ定マラス或ハ高騰スト云ヒ或ハ下落スト云フド氏及ヒガントン氏ハ後者ヲ取リジエンクス氏ハ前者ヲ取ルモノハ如シ左ニ現今最重要ナルトラストノ資産表ヲ掲ク

社名	資本	金	一八九七年ノ配當
鐵道組合	一四〇四、一三〇、五八一		
スタンダード石油トラスト會社	九七、五〇〇、〇〇〇		三・三
ウエスタルン電信會社	九五、三七〇、〇〇〇		五
米國砂糖トラスト會社	七三、九三六、〇〇〇		一・二
加州中央材木會社	七〇、〇〇〇、〇〇〇		
シカゴミルキー酒屋組合	六〇、〇〇〇、〇〇〇		
壁紙トラスト會社	三五、四三二、一五〇〇		八

米國 煉糖製造會社	三五〇〇〇〇〇〇	
米國 火酒トラスト會社	三五〇〇〇〇〇〇	
アナゴンダ銅山會社	三〇〇〇〇〇〇〇	
米國 ベル電話會社	二六〇一五〇〇〇	一・五
シカゴガス及ヒ市燈會社	二五〇〇〇〇〇〇	・六
米國 綿油トラスト會社	二〇・三七〇〇〇	・六
鐵道鋼鐵レール會社	五〇〇〇〇〇〇〇	一
米國 學校用書籍會社	三五〇〇〇〇〇	・六
太平洋ボーラック會社	一五〇〇〇〇〇	・六

右各種ノトラスト證券及ヒ株式ノ相場ノ高低ヲ觀察スルハ頗興味アルコトナリト雖今之ヲ省ク中ニ就キ業務ノ行動最宜シキヲ得タル者ヲ亞米利加煙草會社又タンタード石油會社綿油及ヒ精糖會社等トス按スルニ米國ノ會社法ニ於テ株式會社カ自家ノ株式ヲ賣買スルコトヲ得ルハ不當ナリト云フヘシ歐洲ニ在リテハ之ヲ禁スルヤ久シ是故ニ米國ニテハ其會社カ利益アルトキハ重役ハ自ラ其株式ヲ賣買シテ自家ノ懐中ヲ肥シ損失アルトキハ株主全體ヲシテ之ヲ負擔セシムルノ惡弊アルコト其實例ニ乏シカラサルナリ

現今合同組織ノ大要ヲ叙ズレハ凡左ノ如シ

重役ニハ頭取施業委員會役員會アリ施業委員會ハ通常二部ニ分レ一ハ專ラ財政ヲ司リ他ハ專ラ技術的ノコトヲ掌ル又之ヲ各委員ニ分チ賣方買方及ヒ各部ノ技術監督方等トナス而シテ各個ノ事業ハ皆多少獨立ノ地位ヲ保チ通常其中心タル事務所ニ於テ原料ヲ購買シ製造品ノ賣價ヲ定メ及ヒ大注文ニ對スル割宛ノコトヲ掌ル支店ハ直接ニ小注文ヲ取り其施行ニ關スル細目ヲ決スルノ權能アリ常ニ本店ト交通シ定期ノ報告ヲ發行スホイスキートラストノ如キハ毎日其報告ヲ作ルナリ(生産賣上引渡ノ明細書)合同ノ多數ハ可成支店ノ獨立的精神ヲ獎勵シ且互ニ競争シテ生産ノ改良及ヒ安全ヲ圖ラシムルノ方法ヲ採レリ

第四項 トラストニ關スル法律

トラストノ性質ハ既ニ述フルカ如ク頗獨占的ノ性質ヲ有スルカ故ニ米國各州ニテハ之ヲ撲滅シ若クハ新ニ發生スルモノヲ防止センコトヲ務メサルハナシ今是等ノ諸州ニ於テ制定シタル非トラスト法ノ大要ヲ舉クレハ左ノ如シ

註 茲ニ人トハ個人團體協會組合ヲ云ヒ同意又ハ趣旨トハ契約共合、合、起業成形又ハ行爲等ノ

義ナリ

一 イ十六ヶ州ニ在リテハ左ノ一ニ該當スルモノハ刑法上ノ罪人タルヘシ

一 二人又ハ以上ノ人カ或種ノ物品ノ價格ヲ一定シ又ハ之ヲ一定セシコトヲ
シテ又合意シタルトキ

二 二人又ハ以上ノ人カ製造採掘生産又ハ賣買セラルヘキ物品ノ分量ヲ定メ
又ハ制限スルコトヲ合意シタルトキ

三 蓋價格ノ規一又ハ劃一トハ其高低共ニ含ムコト必然ナリ

四 六州ニ在リテハ左ノ種ニ屬スルモノハ刑法上ノ罪人タルヘシ

一 二人又ハ以上ノ者カ生産及ヒ賣買ニ對シテ完全ニシテ自由ナル競争ヲ妨害
スルノ合意ヲナシタルトキ

二 八三州及ヒ一領ニテハ二人又ハ以上ノ人ニシテ如何ナル物品ト雖之ヲ獨占ス
ルヘキ目的ヲ有スル行爲ヲナシタルトキハ有罪トス

三 子フランスカ州ニテハ二人又ハ以上ノ者カ或製造品ノ賣買ヲ停止又ハ禁止ス
ルコトヲ合意シタルトキ又ハ製造品又ハ賣買ノ利益ニシテ普通基金トナス
ルヘキモノヲ自家ニ分配セントシタルトキハ有罪トス

ホテキサス及ヒミシシッビーノ二州ニテハ價格ノ規一高低ヲ定ムルハ有罪ト
スルノミナラス或物品ノ價格ヲ二人以上ノ間ニ又ハ他ノ者トノ間ニ定ムルコ
トハ等シク有罪トス

ヘ紐育州ニテハ價格高騰ヲ目的トシ生活ニ必要ナル普通用品ノ價格又ハ供給
ノ競争ヲ禁制シ又ハ妨害スヘキ性質ヲ有スル契約ハ如何ナルモノト雖皆有
罪トス

ニ純然タルトラストニ對スル輿論ノ偏重ハ又多少ノ影響ヲ生シ特ニ裁判所ノ判
決ハ屢吾人ヲシテトラストノ合意ハ畢竟司法部ノ承認セサル所ナリト迄疑ハ
シメタリ是故ニ或ハ單ニ形式上之ニ服スルノ利ナルコトヲ學ヒトラストヲ移
シテ會社トナシタル者少カラス然ルニ一州ノ市民ハ自由ニ他州ニ於テ一ノ株
式會社ヲ建テ州際商業的會社トナシ全國ニ對シテ商業ヲ營ムノ自由アルカ(唯
鐵道又ハ瓦斯會社ノ如キ擬公共的會社ハ此限ニ非ス)故ニ刑罰ニ遭フヘキトラ
ストモ此方法ニヨリテ形成セハ頗容易ナルモノアリ現今ニ在リテハ一方ニハ
トラスト及ヒ合同ニ對シテ嚴格ナル法律ヲ發布シ他方ニ於テハトラストヲ變
形シ及ヒ其州ニ於ケル商業上ノ取引ニ便利ヲ與ヘタル會社法ノ變更アルニ至

レハ頗奇ト謂フヘシ且課税法ノ變革ト共ニ偶外國會社ニ利益ヲ附與シ反リテ從來トラストノ形式ヲ撰擇スルノ困難ヲ除クコトヲ得タリ何トナレハ舊法ニヨレハ外國會社ハ皆其株金ノ全額又ハ取引高ニ對シテ納税スヘキモノナルコトヲ規定セル州多カリシカ今ハ此煩ヲ避クルコトヲ得タレハナリ現今盛ニ特許ヲ與フル州ハニュージャージー及ヒイルリノイノ二州トナス殊ニ紐育州ノ商業團體ハ概ニニュージャージー州ニ立テラレタリ蓋紐育州ニテハ裁判所及ヒ輿論共ニ大會社ノ設立ヲ熱望スト雖其特許料甚高ク課税又重クシテ株主及ヒ役員ノ責任甚難キニ反シテニュージャージー州ニテハ組合設立ノ特許料ハ總株券面額ノ壹歩ノ五十分ノ一ニシテ年税ハ同株金ノ壹歩ノ十分ノ一ニ過キス且其特許ハ適法ノ商業ナル以上ハ如何ナル種類又ハ目的ノモノト雖之ヲ設立スルコトヲ得ヘシ唯其重役ノ一人ハ必ス州ノ市民タルヘシト雖其株金ノ制限ナク株主モ亦其會社ノ負債ニ對シテハ何等ノ責任ナク會社ノ財産及ヒ財産權ヲ以テ株券發行ノ基礎トナスコトヲ得年々ノ營業報告ハ之ヲ公ニスルコトヲ要セス其緩慢ナルコト此ノ如シイルリノイ州モ稍之ニ似タル所アリト雖檢事總長ハ屢非トラストノ訴訟ヲ起シタルヲ以テ漸ク危險ナリトナシ今ハ同州ヲ

避ケテニュージャージー州ニ移ル者多シ西ヴァージニア州モ亦極メテ易シ故ニ右諸州ニ於テ無數ノ無責任會社ヲ生スルハ固ヨリ自然ノ勢ト謂ハサルヲ得サルナリ

トラストヲ變シテ組合(コーポレーション)トナスニ方リテハ主トシテ形式上ノ手續ニ基キ事實上何等ノ變動ヲ見ス即チ發起人中ヨリ委員ヲ撰定シタル時ハ特許ヲ取消シトラストチーハ變シテ重役トナリトラストノ役員ハ新會社ノ役員トナリトラスト證券ハ新株式ト交換セラル、ノミ

三 或ハ曰ハクトラストカ今日特許ヲ名トシテ其城寨ノ中ニ包圍セラル、ニ至レルハ實ニ輿論カ道德上ノ一大勝利ヲ占メタルモノナリト蓋トラストカ秘密ヲ守ルコト及ヒ其責任ヲ避クルコトハ實ニ一大危險ナリシコト疑フ可ラス只目今ト雖其重要ナル問題ハ依然トシテ存在シ非トラスト法ハ之ニ對シテ未タ重キヲ爲スニ至ラス或ハ裁判所ノ判決ハ稍重ニスルニ足ルヘキモノアリトスルモ法律上ノ判決ハ專ラ公共政策ノ思想ニ存シ其思想ハ屢變スルヲ常トスルカ故ニ裁判所ノ立法的判決モ亦常ニ變化スルヲ免レサルヘシトラストニ關スル法律ハ如何ニ制定スヘキカハ論議區々ニシテ未タ一定セス

ト雖或ハ是等ノ法律ハ全然違憲ナリト云フ者アリ其說ニ曰ハク
一國會ハ財産ノ取得積立又ハ管制ニ對スル州ノ合同又ハ市民ノ權利ヲ制限スルコト能ハス
二其合同タルト個人タルトヲ問ハス其所有者ノ物品ニ對シテ價格ヲ豫定スルカ如キハ國會ノ權限ニ屬セス
三國會ハ其人ノ住居シ若クハ創造スル州ノ許可ニ係ル財産ヲ取得シ又ハ管制セントスル個人ノ意思及ヒ目的ヲ以テ犯罪トナスコトヲ得ス
四法律ニヨリテ禁セラレタル獨占業ナル者ハ一方ニ於テ全然ノ權力ヲ有シ他ニ者ヲシテ同一ノ權利ヲ施行シ又ハ享有スル能ハサラシムル法律上ノ禁制ヲ意味スルモノナリ
五既ニ禁止セラレタル商業ノ禁制ヲ目的トスル契約ハ又一般ニ禁制スヘキ契約ニシテ憲法法律ヲ俟タスシテ普通法ニヨリテ既ニ全然無効タルヘキモノナリ
之ニ反スル者ハ曰ハク是種ノ法律ハ必ス憲法ノ規定ニ從ツテ國會ノ制定スヘキモノニシテ他ニ方法アルヲ知ラサルナリト

第五項 トラストニ對スル輿論

第一 理論家

世ニハ一般中央集權ノ弊ヲ論シ個人ノ自由ヲ尙フヲ主トシテトラスト及ヒ合同ニ反對スル者少カラス彼等ハ思ヘラクトラストハ陰險ナル獨占業ニシテ個人ヲ無視シ人民ヨリ絞奪スル富ヲ以テ大組織ヲナシ以テ社會主義ノ渦中ニ陥ル、モノナリ(ハツドレ)教授ノ如キ其一人ナリ見ヨ此世ニハ恐ルヘキモノ少シトセス彼等ハ實ニ商工業上最尙フヘキ最價值アル主義ヲ破リ競争ヲ停止シ以テ之ヲ嚴格ナル管制ノ下ニ立タシメントス若シ吾人カ或トラストノ如キ不親切ナル方法ニヨリ幾多ノ製造家ヲ零落セシメ之ヲ布街ノ外ニ放逐シ専ラ自家ノ利益ヲ壟斷スルコトヲ目撃スルニ至リテハ吾人安ソ默視スルニ忍ビンヤトラストハ果シテ公共ノ敵ニ非サルカ將タ勞働者ヲシテ恐ルヘキ教訓ヲ與ヘ他日大擾亂ヲ來タスノ途ヲ開カシムルモノニ非サル乎嗚呼ト

或ハ曰ハク
1 原料買上人ノ競争ハ生産者ノ價格ヲ高クス

- 2 製造家ノ賣人ノ競争ハ消費ニ對スル賣價ヲ安クス
 - 3 物價ノ低落ハ消費者ノ數ヲ倍蓰ス
 - 4 消費ノ倍蓰ハ其需要ニ對スル供給ヲ増スヘシ
 - 5 生産ノ増加ハ勞働者ノ必要ヲ増加ス
 - 6 勞働者間ノ競争ハ賃銀ヲ高ム
 - 7 勞銀ノ高騰ハ勞働者間ノ物質上及ヒ道德上ノ標準ヲ高ム
 - 8 賣捌ノ競争ハ其品物ノ品質改良ヲ促ス
 - 9 賣捌ノ競争ハ物品ノ價ヲ減スルコトヲ勉メ發明心ヲ獎勵シ智能ヲ發揮セシメ併セテ要用ナル技術及ヒ科學ノ進歩ヲ促ス
- 之ヲ要スルニ競争ハ人民一般ノ安全ヲ保ツノ神使ニシテ一國ノ財源ト權力ヲ確保スルモノナリ若シ夫レ競争劇甚ニ過クルトキハ其惡害恐ルヘシト雖自利心ノ爲メニ又需要供給ノ法則ノ爲メニ自ラ控制符束セラルヘシ之ニ反シテ獨占業ハ悉ク是等ノ有力ナル結果ノ發生ヲ阻止スルモノナリ獨占業ハ社會ノ一般ヲ壓逼シ併セテ國家ノ貧弱ヲ來タスヲ免レヌト
- 右ハトラストニ反對スル理論家ノ說ナリ又トラストヲ辯護スル者アリ彼等ハ歷

史上ノ事實ヲ根據トシトラストハ有機的ノ開明ニ必要ナル階級ナリトシ且其近來ノ資本説及ヒ技術的補助即チ大起業ノ傾向ニ就キ之ヲ正理ト信スルモノナリ彼等ハトラストノ缺點ト過誤ヲ知ル而シテ彼等ハ之ヲ抗擊スルヤ切ナリ然レトモ彼等ハ是種ノ弊害ヲ以テ單ニ一時的ノモノトナシ之ヲ自由ニ放任スヘシト云ヒ或ハ又法律上之ヲ明認シ之カ規定ヲ設クヘシト云フ者アリ中ニドツド氏ノ如キハ種々ノ實例ヲ引照シテ曰ハク各州ノ關涉ハ不法ニシテ不要ナリ且反リテ反動ヲ起スニ止マラサルヘシ自然ノ勢力ト個人ノ盡力トニヨリ其弊害自ラ止マルヘシト雖其物價ノ低落ト其改良ヲ望ムニ至リテハ則チ一ナリ又或ハ曰ハク物價ノ低落ハ固ヨリ必要ナリト雖合同ノ爲メニ物價ノ高騰ヲ來タスヲ以テ唯一ノ弊害トナシ之ヲ抗擊スルコトヲ得スト

第一 政治家

政黨ハ各自家ノ利害ニ準據シテ其合同ノ如何ヲ可否スルモノ、如シデモクラット黨ハ曰ハクトラストハ國家ノ組織上最危險ナルモノナリ無數ノ收賄ヲ促シ裁判所及ヒ立法院ノ腐敗ヲ來タシ以テ社會ニ害毒ヲ流スモノナリト尤中ニハ此害毒ハ漸次減少スヘシト信スルデモクラットモナキニ非ス

之ニ反シテレバフリカン黨ノ多數ハトラストニ賛成シ中央集權ヲ喜ヒ若シ合同ニシテ不法ノ方法ヲ取リタランニハ宜シク之ヲ禁制スヘシトラストナル者ハ元自然ノ經濟的發達ノ現象ニ過キサルナリトボビユリストハ曰ハク資本家ノ合同ハ總テ之ヲ避ケサル可ラスト而モ彼等ハテキサス州ノ非トラスト法ヲ以テ至當ナルモノト信シ其行動ノ已ムヲ得サル形勢ナル時ハ宜シク州ニ於テ此種ノ獨占業ヲ管制シ又ハ所有スヘシト云フ蓋此問題ハ其範圍頗汎汎ニシテ容易ニ論シ盡ス可ラス或ハ曰ハク合同ハ州ノ創造スルコトヲ得ヘキモノタリ若シ其特權ヲ亂用シタルトキハ人民ハ直ニ之ヲ禁束スルコトヲ得ルモ富豪者ニ至リテハ一旦其合同ニヨリテ活動スルトキハ人民ノ不平ヲ和クルカ爲メボンドヲ與フルヲ奈何セント之ヲ要スルニ近來トラストノ問題ハ大ニ政黨間ニ起リ殆政綱唯一ノ題目トナラントスルノ勢アリ

自由貿易論者ハ曰ハク保護輸入税ハトラストヲ培養スルモノナリ而シテトラストハ其物價ヲ高メテ内地ノ人民ヲ貧弱ナラシメ却リテ外國ノ貿易價格ヲ廉ニシ内地ノ勞働者ハ爲メニ糊口ノ途ヲ失ヒ遂ニ路頭ニ迷フ者其數ヲ知ラサルナリ嗚呼輸入ニ重税ヲ課シテ新事業ノ勃興ヲ促シ勞働者ヲ使役スルノ途ヲ開キ大ニ生

産ノ増加ヲ圖ラントシタルモノ偶以テトラストノ爲メニ諸工業ノ進歩ヲ阻止禁制スルニ至レルハ豈悲ム可ラスヤト保護論者ハ全ク之ニ反對シトラストハ絶エテ輸入税ノ如何ニ直接ノ關係ナシト

第二 法學者

或ハ全ク舊英法ノ主義ヲ採リ總テトラストハ大ニ危險ナリトノ主義ヲ確信スル者ナリト雖近來政治上ノ性質自ラ變化スルト共ニ其影響ヲ受ケタルコロ少カラサルカ如シ

第四 實業家

實業家中特ニトラストヲ敵視スル者甚多キハ爭フ可ラサル事實ナリ何トナレハ彼等ハ何カ故ニ其業務ヲ奪ハレ何カ故ニカク困厄ノ境遇ニ陥ラレタルカヲ知レハナリ見ヨ彼等ノ麵包ハ盡キテ將ニ饑渴ニ逼ラントス又一般ノ公衆ハ俄然物價ノ騰高ニ驚キ精糖會社ハ單ニ其高價ヲ拂ハシメンカ爲メニ一時供給ヲ停止シホイスキートラスト及ヒスタンダード石油モ亦之ニ倣ビシコトアリ麥粉ハ屢砂糖ヲ混シ煙草ハ他種ノ樹葉ヲ混シアルコホールニハ水ヲ加ヘ綿油ニハ牛脂ヲ交ヘタル等ノ實例ニ乏シカラス而モトラストノ業務ニ當ル者ハ其品質ヲ能クシ其

價格ヲ引下ケ又ハ引下クルコトニ務メツ、アリト誇稱スルニ至リテハ暴慢モ亦極マレリト云フヘシ彼等ハ其外國貿易ノ額ヲ増加シタルコトヲ公示シテ以テ其事實ヲ證明セントス或ハ曰ハク生産ヲ規一ニシテ之ヲ改良シ漸次之カ進歩ヲ圖リ以テ一般公衆ノ利益ヲ圖ルハ則チ國富ヲ致ス所以ナリト

第五 勞働者

トラストヲ辯護スル者ハ曰ハク勞働者ノ勞働時間ヲ約シ賃銀ヲ増シ健全ナル勞役ノ途ヲ開キ以テ勞働者ノ新方面ヲ開ケリト然ルニ之ニ反スル者ハ曰ハク先ツ其トラスト創設ノ際ニ方リ無數ノ勞働者ヲ解僱シテ以テ豫備勞働隊ヲ作ラシメ競争者ヲ生セシメ其勞働時間ヲ延長シ賃銀ヲ減少セリト之ニ就キテハデモクラツト黨ハ種々ノ事實ヲ舉クルコトヲ勉メタリ然レトモ右勞働者ノ言フ所未タ必シモ悉ク信スルニ足ラサルカ如シ殊ニ勞働者ノ著シク増加セル會社實ニ少カラズ故ニ必シモ舊來ノ地位ニ劣レリトハ言ヒ難カルヘシ

或ハ思ヘラク(コンパース氏ノ)說生産者ノ合同ハ必要ニシテ敢テ危害ヲ及ホスコトナシト雖莫大ナル資本ノ堆積ハ勞働者ノ不和ヲ來タス所以ナリト之ニ反スル者ハ曰ハク資本ノ合同ハ反リテ勞働者ノ爲メニ利益ナリ見ヨバンタービルド、ス

タンホルド、ロツクフエラー、カーチーギーノ如キ大資本家ハ皆或ハ大學ヲ起シ圖書館ヲ建テ美術館慈善院ヲ設ケ以テ新ニ勞働者ノ門戸ヲ開ケルニ非ヌヤト

トラストニ關與スル者ハ皆曰ハク勞働者ハ須ク甘ンシテ可ナリトラストハ勞働者ナクシテ生存スルコトヲ得ス且安ソ輿論ニ反對シテ勞働者ヲ強迫スルノ愚ヲ學ハシヤト然レトモ惜イ哉實際ニ於テハ是等可憫ノ勞働者ハ未タ彼等ノ如キ政黨ヲ作ルコトヲ得ス偶他ノ爲メニ壓倒セラル、コト多シ

第六 トラスト及ヒ取引所

所謂大起業ノ財政ハ概其中心點ヲ紐育ニ置キ以テ取引セシムルカ故ニ大合同ハ著大ナル勢力ヲ有シトラストノ株式ハ屢通常金融市場ノ媒介トナリ以テ相互ノ需要供給ヲ平均セシムルコト、ナレリ

トラストノ問題ニ關シテハ取引所ノ會員ハ二黨ニ分レ一派ノ者ハ全體ノ業務監理上規一ヲ保ツカ爲メ大會社ト取引スルヲ旨トシ之ヲ信スルコト厚ク此種ノ起業ヨリ生スル勢力ニヨリテ以テ彼等ノ位地ヲ固メントス他ノ一派ハ即チトラストハ其中中央集權ニヨリ一層ノ信用ヲ博スルコトヲ得ルカ故ニ個人ノ利得ヲ占ムヘキ機會ヲ消耗セシムル者ナリトシテ有數ナル財政家ノ唱フル所ナリ故ニ大危

險ヲ蹈ンテ取引ヲナスコトヲ好マストラストトノ取引ヲ増加スルハ則チ危險ヲ加フル所以ナリ取引所ノ全體ハ之カ爲メニ危キヲ加ヘ終ニ其根底ヲ失ハントス。然リ一時取引所カ大ニ神經痛ヲ起シ全體ノ實業界ニ波瀾ヲ起シタル實例ナキニ非サルナリ。

或種ノトラスト組成者ハ單ニ權利株ヲ設定シ專ラ投機ヲ旨トスル者ナキニ非ス之カ爲メニ幾多ノ破産ヲ來タシタルコトアリ之ニ反シテ施設ノ方法其宜シキヲ得タル合同ハ屢非常ノ困厄ニ遭遇シタリト雖能ク之ヲ救フコトヲ得タリ。

抑合同ノ勉ムル所ハ可成少許ノ信用ヲ附與シ又ハ利用シテ以テ其目的ヲ達スルニ在リ故ニ苟モ之ヲ利用セサル可ラサル時ニ方リテハ(例ヘハ原料品輸入ノ際ノ如キ)紐育又ハ倫敦ノ第一流ノ銀行家ヲ擁シテ大ナル取引ヲ開クヲ常トス而シテトラストノ期圖スル主眼ハ先ツ其得意先ノ信用ヲ控抑シ又ハ規一ナラシメ可成多クノ現金ヲ以テ營マシムルニ在リ之カ爲メニ特ニ此種ノ目的ヲ以テ運動スル者アリ名ツケテ「リーライガニゼーションコンミッチ」即チ復成委員ト云フ彼々ハ主トシテ破産ノ場合ニ於テ自己ノ爲メニ又ハ代表者トシテ單ニ利益ヲ貪ルノミナラス他ニ種々ノ方策ヲ回ラシテ金錢ヲ利スル者ナリ近來此種ノ委員ハ續々

トシテ起リ漸ク世人ノ嫌厭ヲ來タサントスルモノ、如シ

◎市加高トラスト協會ニ於ケル諸名士ノ

演說要旨拔萃(明治三十二年九月中旬會合)

トラストノ問題益米國人民ノ注意スル所トナリタレハ昨午市加高ニ於テ特ニ協會ヲ開キ之ヲ講究セントノ趣旨ニテ各要部ニ招待狀ヲ發シ當日會スル者無慮五百名何レモ知名ノ人士ニシテ州知事アリ元老院議員アリ下院議員アリ法律家大學總長及ヒ教授トラスト重役實業家労働者及ヒ技手代表委員等アリ甲論乙駁舌戰甚熾ナリシカ左ニ錄スル所ノモノハ其二三ニ止マル若シ夫レ其細目ニ至リテハ之ヲ叙述スルノ暇ナキヲ憾ム

第一 コーチル大學教授ジシクス氏ノ說

- 一 競争ト合同ノ相互關係即チ合同ハ全ク競争ヲ停止スト云ヒ之ニ反スル者ハ益競争ヲ劇シクスト論ス
- 二 資本家ノ合同ハ元労働者ノ合同ヨリ生シタリトナス者アリ
- 三 合同ハ特種ノ權利ヲ享クルモノアルヨリ生ス例ヘハ輸入税ノ爲メニ或ハ特許法ノ爲メニ或ハ鐵道運賃ノ差別法ノ爲メニ或ハ州際商法ノ爲メニ生シタリト云フ者アリ
- 四 合同ハ或ハ内外ノ競争劇甚ナルニ堪ヘスシテ起レリト云フ
- 五 合同資本ハ果シテ如何ナル性質ヲ帶フルヤ
- 六 合同ハ物價ノ高低ヲ來タシ又貸銀ノ高低ヲ來タスト云フ
- 七 合同ハ仲立人ヲ排除驅逐スル者ナリト云フ

八州法ニヨリテ之カ發生ヲ制限スヘク又ハ禁制スヘク又ハ國法ニヨリテ禁制スヘシトナス者ア
其他重要ナル問題少カラズ宜シク之ヲ講究スヘキナリ

第二 ミシガン大學教授アダムス氏ノ説

合同ハ事物ノ趨勢ナリト雖現今ノ如キ合同ハ必シモ悉ク趨勢ニヨル者ト云フ可ラス或ハ自然ノ者
アリ或ハ人爲ノ者アリ故ニ之ヲ禁制スルニモ種々ノ理由ヲ尋テサル可ラス又合同ニハ漸ク集中ノ
傾向ヲ有スル者ト分業競争ニ傾ク者トアリ鐵道ノ如キハ前者ニ屬シ製造業ノ多クハ後者ニ屬ス其
講究ス可キ要點ハ

一 合同ハ果シテ物價ヲ低落セシムルヤ否ヤ

二 製造業ハトラストニヨリテ恐慌又ハ不振ヲ救フコトヲ得ルヤ否ヤ

三 トラストハ平民主義ノ經濟ト一致スルヤ否ヤ

思フニ合同カ物價ヲ低落セシムルハ或限度迄ハ確實ナレトモ或限度ヲ越ユルトキハ却リテ高騰セ
シムヘシ故ニ一概ニ之ヲ論ス可ラス又トラストハ幾分カ恐慌又ハ不振ヲ救フ力アルヘキヤ否ヤハ
未定ノ問題ナリトストラストハ又由來個人自由主義ニ違反スル者ニ非スヤ此ノ如キ者ハ總テノ法
規ノ根本ヲ棄シ訴訟ノ不安ヲ來タスチ免レサルヘシ故ニトラストノ弊ヲ防カントセハ中央政府カ
其内國經濟ニ關スル問題ヲ處分スルニ方リテ宜シク先ツ立法ノ根本ヲ究メサル可ラス而シテ地方
政府ハ其主義ニヨリテ地方ノ事情ニヨリテ斟酌ヲ加ヘ以テ之カ施行法ヲ制定スヘキナリ果シテ此
ノ如クンハ行爲ノ一致並ニ得ヘク且現行ノ各州會社法ハ頗不完全ナルモノナレハ之ヲ改正スルノ
必要ナリ

第三 或ハ曰ハク(雜説)

トラストハ舊時ノ奴隸ヨリモ甚シキ毒ヲ流ス者ナリ國民トシテノ價值ヲ墜落スト云フ者アリ或
ハ大起業ノ施行方法其宜シキヲ缺クト絶叫スル者アリ唯其過多ノ資本ヲ吸收スルコトハ須ク之ヲ
停止セサル可ラスト或ハトラストハセールスマン即チ實チ害スルコト甚シク彼等ハ悉ク其地位
ヲ失フト痛論スル者アリ中ニモ自由貿易論者ノ骨頂タルホルト氏ノ如キハトラストハ全ク輸入重
税ノ爲メニ發生シタリト極論セリ特ニ其實例ヲ引キ輸入税ノ高低ニヨル物價ノ高低ヲ示シタリス
カンラン氏ノ如キハ全然前者ノ説ニ反對シ輸入税カトラストヲ發生セシメタリト云フハ抱腹ニ堪
ヘスト嘲罵セリ

ミシガン州知事ピングリー氏ハ極力トラストニ反對セリ其要ニ曰ハク劈頭第一ニトラストハ商工
業的奴隸ノ先鋒者ニシテ且創造者ナリ彼等ハ今日悉クトラストヲ論スト雖其目的ハ皆金錢ヲ主ト
セサルハナシ金錢果シテ全能力アリヤ余思ヘラク是等ヲ論スルハ抑末矣余ハ將ニ問ハントストラ
ストヲ發生セシムルコトハ個人トシテ將タ國民トシテ利害ノ差引相償フヘキモノナリヤ否ヤ試ミ
ニ見ヨ平民平等主義ノ米國ハ今ヤ金錢ノ階級ヲ作レルニ非スヤ又從來米國ノ骨髓タリシ者ハ實ニ
中等社會ナリキ彼等ハ實ニ國民ノ骨肉ナリ生血ナリ從來雇主ト傭人トノ關係最密ナリシカ爲メニ
成功心ヲ發達セシメタリ若シ此希望心ナクンハ國民ハ途ニ殺生セラルモノト何ソ擇ハシ然ルニ
トラストハ實ニ金力ノ中心ヲ作リ小資本家ノ競争ヲ許サス換言スレハ中等社會ノ人民ヲ懺殺スル
ト者謂ハサルヲ得ス又トラストノ頭角トモナルヘキモノハ其人數ニ限アルカ故ニ自然ニ下級輩ノ
榮達ノ機ヲ失シ人民ノ智能研磨ノ心ヲ喪ハシム是レ余カトラストヲ稱シテ商工業奴隸ノ先鋒者ナ
リト云フ所以ナリトラストノ支配人等ハ依然トシテ舊時封建時代ノ諸侯ニ異ラサルナク嗚呼夫レ

トラストハ此ノ如キ非常ノ弊害ヲ來タシ國家人民ノ基礎ヲ危クスル者ナリトセハ何ソ速ニ其急ヲ救ハサル余ハ寧絕對的ニ之ヲ禁止セントスル者ナリト云々

出席委員ノ中特ニ勞働者ヲ代表セル者ハトラストハ人權ヲ妨害スル者ナリト極論セリ

第四、ダブリューボルク、コックラン氏ノ演說

(附言)コックラン氏トブライアン氏ノ演說ハ實ニ同會ノ花トモ實トモ云フヘク何レモ米國政黨員中

中知名ノ雄辯家ニシテ其討論趣旨頗見ルヘキモノアリ特ニ其大要ヲ摘録ス

若シ繁榮ナル語ハ充分ノ生産ニ次クニ充分ノ分配ヲ以テスルコトナラシメハ何ソ故ラニ合同ノ可

否ニツキテ此ノ如ク驚々スルカ殆其故ヲ知ルニ苦マサルヲ得ス由來合同ハ或ハ可ナルヘク或ハ否

ナルヘク唯其結果ニヨリテ異ルノミ如何ナル商工ノ組織ト雖生産ノ分量ヲ膨脹セシムヘキ者ハ之

ヲ賛シテ可ナリ若シ之ヲ禁制スル者ハ否定シテ可ナルヘシ

トラスト又ハ合同カ果シテ物價ニ高低チ及ホスヤ否ヤニ就キテハ大ニ議論ノ岐ル所ナリ或ハ大

ニ低落チ主張シテ之ヲ喜フ者アリ或ハ高騰チ例證シテ之ヲ憤ル者アリ余ヲ以テ之ヲ觀ルニ元來物

價ナルモノハ種々ノ形式ニ關聯シ總テノ勢力ト相俟ツモノナリ上ハ山河風雨氣候ノ天惠如何ニヨ

リ下ハ各般ノ事情ニ由リテ制セラル故ニトラストカ果シテ物價ヲ高低セシムルヤ否ヤニ就テハ宜

シク資本ノ合同カ政府ノ補助ヲ借リテ繁榮スルヤ否ヤヲ究ムヘシ若シ其補助ナクシテ繁榮スルモ

ノナラシメハ必ヤ知ル其價格ヲ低廉ナラシムルコトヲ蓋一國ノ政府カ一個人ノ商業上ニ關涉スル

方法ニ三アリ一ハ特許法ナリ二ハ關稅ナリ三ハ政府ノ特許是レナリ第一第二ノモノニツキテハ種

種ヲ觀テ第三ノ政府ノ特許ニツキテ之ヲ官ヘハ政府ハ其利ヲ見テ其害ヲ見ス政府ハ徒ニ民心ノ

不安ヲ來タスコトヲ喜フ者ニ非サルナリ否反リテ正理ト信スル所ニ從フ者タラスンハアラス若シ

夫レトラストノ爲メニ鐵道運賃(レート)ノ差別ヲ來タスト論スル者アリ此ノ如キハ宜シク市有トナ

シテ以テ之ヲ防クヘキゾミ政府ハ之ニ關涉スヘキ理由ナシ又ハ公告ヲナシテ其弊ヲ救フコトヲ得

ズ或ハ曰ハクトラストハ膠資本ノ過剩ヲ來タス者ナリトトラストハ欺騙者ナリ其重役カ處罰ノ責

任ヲ免ルヘキ非道ヲ甚シキモノナリト是等ハ皆公告ニヨリテ之ヲ防クコトヲ得ヘキニ非スヤ

元來獨占業ナル名目ハ甚不可ナリ獨占業ハ從來主トシテ政府ノ特許ニヨリテ市場ヲ支配スル者ノ

名稱ナリシナリ余ハ今日米國ニ存在スル合同ニシテ獨占業ト稱スヘキ者ヲ見ス其張本タルスタン

ダ、ト石油スラ全體ノ消費額ノ六割二分ヲ供スルニ過キス或ハ支配權ヲ有スル商工起業ト稱セハ

可ナラシ乎是種ノ者ハ決シテ競争ヲ撲滅スル者ニ非ス實ハ競争ノ生産物ニ非スヤ經濟上最低廉ナ

ルモノカ同業者ヲ支配スルハ所謂適者生存ノ理法ニ基クモノナリ見ヨ昔テ鐵道ノ大合同アリシ時

驛車長等ハ皆放逐セラレタルモ今日ハ皆各其職ヲ得ルニ非スヤ否反リテ其勞役ノ方面ヲ多角ナラ

シメタルニ非スヤ惟テニ競争ノ存在スル所ハ又秀拔ノ存在スル所ナリ故ニ競争ハ各個人ニ對シテ最大

ノ利益ヲ取得スルノ位地ヲ與ヘ決シテ合同ニヨリテ放棄セラルモノニ非ストラストハ競争ヲ選

フシ秀拔ヲ獎勵スルノ効力アル者ナリ又合同ハ決シテ貸銀ニ及ホス影響大ナル者ニ非ス貸銀ノ多

少ハ其勞働者ノ生産ノ分量ニ外ナラサルナリ蓋貸銀ハ一ハ勞働者間ノ競争ニヨリテ定マリ他ハ利

益ヲ目的トスル資本ト資本トノ間ニヨル競争ニヨリテ定マル一方ハ之ヲ低クシ他ハ之ヲ高クスル

者ナリ知ラスヤ資本ト資本トノ競争ハ勞働ト勞働ノ競争ヨリモ劇甚ナルコトナレ蓋貸銀ヲ高ム

ル所以ニ非スヤ余ハ彼ノストライキハ單ニ貸銀ノ高低チ争フカ爲メニ起ル者ニ非スシテ却リテ寧

其方法ニ在ルコトヲ信スル者ナリ

之ヲ要スルニトラストノ如キ大合同ノ重役タルヘキ者ハ充分ノ責任ヲ負ハサル可ラス仍リテ思フ

ニ救濟法三アリ曰ハク
 一 合同ノ行動其宜シキヲ得サル者ニ對シテハ公告ノ方法ニヨルヘシ
 二 特別ノ恩典ニ浴スル者ハ宜シク刑罰ニ處スヘシ
 三 其合同ニシテ業務ヲ停止シタルトキハ之カ運轉ヲサシムルノ權利ヲ規定スヘシ
 或ハ曰ハクトラストハ個人ノ權利ヲ侵害スルノ太シキ者ナリト是レ大ニ誤レリ單純ナル個人ノ權利ヲ主張スル者ハ即チ奴隸制度ヲ喜フ者ニ非スシテ何ソヤ奴隸ハ實ニ他人アルコトヲ知ラサル者ナリ蓋世ノ開明ニ赴クニ從ヒ他人ト相待テ始メテ一國ノ繁榮ヲ來タスヘク總テノ人ハ總テノ大合同ヲ助成セサル可ラサルナリ又或ハ社會問題ノ來臨ヲ恐ルル者アリト雖是レ畢竟杞憂ニ過キサルナリ若シ人間ニシテ各其道徳ト知能トヲ發揮セハ愈益社會全體ノ爲メニ勞動スヘキ者タルコトヲ悟ルニ至ルヤ必セリ是ニ於テ社會主義ハ却リテ一變シテ共同的起業共同的組合トナリテ現出センモ亦未タ知ラル可ラス若シ社會ヲ破壞スルモノハ何物ナリヤト問ハル恐ラクハ自由勞動者ヲシテ奴隸タラシムルニ在ルヘシ自由勞動者ハ奴隸ト異リ自己ノ勞力ニヨリテ得タル繁榮ニツキ相當ノ分配ヲ得ンコトヲ望ム者ニ非スヤ蓋緊密ナル合同ハ人類親和ノ階級ナリ若シ社會主義ヲシテ高尚ナル開明ノ其實ナラシメハ致テ恐ルルニ足ラス又此主義ヲ我産業界ノ組織ニ及ホスモ毫モ憂フル所ナレ何トナレハ是レ實ニ産業ノ基礎ヲシテ自由ノ上ニ立タシメ市民タル人格ヲ擴張スルノミナラス産業組合ノ權利ヲシテ愈大ナラシムル者ナレハナリ

第五 ウヰリヤム・ジェニン・グブライアン氏ノ演說
 凡人間ハ愈益其思想ヲ助成スルヲ以テ念トセラル可ラス蓋トラストハ決シテ新聞問題ニ非ス唯過去二年間ノ發生ハ實ニ著シキモノアリ之カ研究ノ要於是乎起ル敢テ問ハントトラストハ果シテ幸福ヲ

來カスヘキカ將タ不クヲ招クヘキ乎
 余ハ先ツ冒ハントス元來獨占業ニ區別アルコトナク悉ク皆毒ヲ流ス者ニ非サルハナシ世ニ善ナル獨占業ノ存在スヘキ理由ナシトラストモ亦然リ唯弊害ノ多少アルノミ其害ヲ及ホスニ至リテハ則チ一ナリ蓋トラストノ問題ヲ解スル者ハ皆貨幣ヲ基礎トセサルハナシ抑誤レルノ甚シキ者ニ非スヤ試ミニ思ヘ貨幣ハ人ヲ造ルモノニ非ス貨幣ハ人ノ作りタルモノナリ人間ハ實ニ神ノ創造シ給ヘル所ニシテ貨幣ハ人間ノ自由ニ創造セルモノナリ貨幣ハ即チ人ノ使役者タルヘキモノナリ是故ニ貨幣ニ被ムラシムルニ玉冠ヲ以テシテ反リテ人間ヲ卑下スルカ如キ論旨ニハ到底服ズルコト能ハサルナリ

惟フニトラストハ必ス原料品ヲ低落セシムル多數ノ人民ハ實ニ原料ノ生産ニ從事シ其精製品ヲ購フ者ニ非スヤ而シテ所謂合同ノ局ニ在リテ事ニ與ル者ハ其數果シテ幾人ソヤ是レ豈少數ヲ肥シテ多數ヲ苦ムル者ニ非スシテ何ソヤ又合同ノ起リテヨリ以來勞動者ノ途方ニ迷ヘル者勝ケテ數フ可ラス而シテ其貧苦ニ乘シテ以テ之ヲ雇入レ其賃銀ヲ暴落セシメ動モスレハ妻子衣食ノ費ヲ償フニ由ナカラント是レ果シテ常理ト云フヘキカ又トラストハ痛ク人間ノ頭腦ヲ下落セシムルコトヲ知ラサル可ラストラストハ一方ニハ經費ヲ節シ他方ニハ物價ヲ高ム唯純然タル獨占業ハ未ダコレナキヲ以テ引證スルコト能ハスト雖知ラスヤ人性ハ我慾ノ動物タルコトヲ吾人ハ猶牛馬ニ異ラス若シ一朝誘惑スル所トナラハ屢他人ノ權利ヲ蹂躪スルコトヲ意トセサルナリ

余ハ飽ク逸人間ハ自治政ヲナスヘキコトヲ信スル者ナリ社會ハ個人ノ獨立ニヨリテ確保セラルヘシ語ニ言ハスヤ金錢ヲ愛スルコトハ諸惡ノ基ナリト思フニ獨占業ノ根本ハ唯金錢ノ我慾ニ外ナラス而シテ此目的ノ爲メニ吾人ハ爭フテ合同セヨト云フ何ソ其無謀ナルヤ又關稅ノ保護及ヒ鐵道貨

銀ノ差別カドラストヲ助ケタルコトアルハ固ヨリ論ヲ俟ルサレナリ其原因ノ何タルヲ問ハス者モ
 流スニ至リテハ則チ一ナリ余ハ是レヨリ進ンテ之ガ救済策ニ及ハントス
 日ハク州及ヒ國家ノ兩者ニ救済法アリ而シテ兩者共ニ軌一ナラサル可ラス
 一各州ハ如何ナル私立會社ヲモ起スコトヲ得又得ヘキ者タリ但其州民ノ公安ヲ害スヘキ性質ノ者
 ハ此限ニ非ス

二各州ハ其州ニ於ケル外國會社ノ營業ヲ禁止スルノ權利ヲ有シ又有スヘキナリ而シテ若シ外國商
 社ノ營業ヲ許ス場合ニ於テハ其州民ヲシテ之ガ制限ヲ設ケルノ權利ヲ有シ又ハ有セシムヘシ
 三國會ハ尙一州ノ外ニ營業ヲナサントスル商社ニ對シテ之ガ禁制又ハ制限法ヲ設クヘキナリ
 若シ夫レ司法部ニ於テ此ノ如キ法律ノ制定ハ遠慮ナリト判定セラレンニハ直ニ之ヲ修正スヘキノ
 ミ希ハクハ速ニ此種ノ法律ヲ發布セラレンコトヲ余ハ寧國會ニ於テ悉クトラストヲ撰滅セシムル
 ノ法案ヲ立テラレンコトヲ望ム者ナリ殊ニ彼ノ水株又ハ權利株ト稱スルモノカ社會ニ害毒ヲ及ホ
 スヲ實ニ大ナリ元來トラストハ一トシテ自然ノ發達ナル者ナク皆人爲ニ外ナラス蓋トラストハ人
 爲法ニヨリテ創造セラレタル非自然法ノ事情ニ基ク自然的ノ發達トモ云フヘキカ況ンヤトラスト
 ハ最長ルヘキ貴族的ノ風ヲ培養スルノ惡アリ殊ニ莫大ノ富ヲ作ルニ切實ニ類スルノ行爲ヲナス者
 ニシテ抑神慮ニ反スル者ニ非スシテ何ソヤ社會ハ共ニ生活スヘク俱ニ幸福ヲ享有スヘキ者タリ獨
 リ我慾ヲ肆ニシテ他人ヲ蔑視スルカ如キハ社會上斷シテ其生存ヲ許サハルヘシ願ハクハ速ニトラ
 ストノ如キ病根ヲ絶チ一百年來ノ國光ヲシテ愈宣揚スル所アラシメヨ

◎米國造幣局長ロバート氏ノトラストニ關スル說

方今産業社會ニ於ケル絶大ナル資本ノ合同ハ將來果シテ如何ナル結果ヲ生スヘキ乎蓋數百萬ノ富

ヲ有スル者ハ各其業ノ牛耳ヲ執リ偶之ニ反對スル者アリト雖以テ如何トモスルナク或ハ絶望シテ
 日ハク彼到底我敵ニ非スト是故ニ強者ハ益強ク獨リ同業社會ノ全權ヲ掌握スルノミナラス一般ノ
 公衆ニ對シテ命令的事項ヲ設定スルニ至リテハ漸ク不穩ノ狀況ヲ呈スルニ至ルハ又怪シムニ足ラ
 サルナリ若シ夫レ此ノ如キ大勢力家ヲ以テ産業社會ヲ蹂躪セハ假令少數ナリト雖多數ノ者豈之ニ
 敵スルヲ得シヤ

是等合同ノ權力ハ果シテ無限ナリヤ彼等ハ果シテ其生産物ノ價格ヲ管制シ消費者ヲシテ之ヲ價ハ
 シメ以テ自家ノ利ヲ壟斷スルコトヲ得ルカ全ク空虚ノ價值ヲ有スルニ過キサル會社ノ資本ハ果シ
 テ其生産貨物ノ物價ヲ維持スルコトヲ得ルカ若シ是等ノ合同ニ反對スル者アリトセハソハ如何ナ
 ル勢力ナリヤ

蓋最近ノ發達ニヨリテ直ニ是等ノ問題ヲ斷定スルハ少シク早計タルヲ免レスト雖其既ニ發スル所
 ニヨリテ將ニ來ラントスル所ヲ想像スル亦難キニ非サルヘシ若シ假リニ同勢力ノ來リテ合同ヲ壓
 スルアリ以テ一般ト共ニ其利得ヲ分タシムハ誰カ敢テ云々スル者ソ惟フニ社會ニ於ケル一種ノ勢
 力ハ常ニ物價ヲシテ平準ニ歸セシメ低落セシムルノ傾向アリ富ヲ重ンスルコト漸ク漸ク人ヲ尙フ
 コト漸ク高シ匹夫ヨリ起リテ政治經濟ノ大權ヲ握リ大ニ新業ノ改革ヲ來タスモ亦此勢力ニ外ナラ
 ス或ハ曰ハシ是レトラストハ吾人多數ノ力ヲ盡シテ爭ハサル可ラサル所ナリト余思ヘラク是レ寧
 必然ノ傾向ニシテ忍耐ト信用トニ依頼シテ以テ進歩ヲ謀ルヘシ徒ニ恐懼猜忌ス可ラサルナリ彼ノ
 赤手起ツテ經濟ノ要權ヲ握ル者屢人ノ非難ヲ受クト雖大勢ハ之ヲ止ムルコト能ハス過去ノ勢力ヲ藉
 リテ益今日ノ勢力ヲ養フニ至レリ試ミニ問ハシ産業上合同ヲ來タシタルノ勢力ハ何レニ在リヤ近
 來産業上ノ利得ハ資本ニ對シテ甚薄ク如何ニモハ以テ當時ノ收利ヲ復ヒスルコトヲ得ヘキ乎是レ

常ニ産業社會人衆ノ頭腦ニ往來スル所ナリ思フニ過去二十五年間ニ於ケル産業上ノ變化ハ實ニ驚クヘキモノアリ資本ハ愈倍益シ同種類ノ業務ニ與ルノ人ハ益増加シ替テ同額ノ資本同様ノ才能ヲ有セル者ハ今ヤ再ヒ舊事ノ如クナル能ハス強力ナル競争者ノ起ルアリテ原價ハ愈低落チ告ク普通ノ人ハ以テ其舊時ノ勞ニ報ユルコト能ハス之ヲ要スルニ資本ノ利子ハ益低下シ資本力益低ク利得益減少スルモノナリ之ニ反シテ勞働者ハ彌増加シ或ハ生業ヲ得ルニ途ナク交通機關ノ發達ハ競争ヲ劇クシ中心點ヲ作リ同額ノ資本ヲ以テシテ生業ノ多キヲ致サント欲セハ勢競争セサルヲ得ス而シテ其生産額ハ常ニ不定ニシテ之ヲ豫測スルコト能ハサルニ至レリ是等ノ原因ハ皆利得ヲ減少シ合同ヲ助成シタルコト明ナリ蓋資本ノ合同ハ攻守ノ意義ヲ有シ從來失フ所ヲ恢復シテ將來ノ基礎ヲ作り以テ産業ノ發達ヲ望ムニ非サルハナシ然レトモ資本ハ日ニ増加シ消費力之ニ伴ハストセハ資本ハ何レニ向ツテ其途ヲ需メントスルカ若シ徒ニ資本ヲ増加シ之ニ償フノ利得ナカラシメハ資本ハ如何ニシテ之ニ耐ユルコトヲ得ヘキ乎産業ノ頓挫ヲ來タス知ルヘキ耳由是觀之資本一所以集マレハ必ス他方ニ移リテ以テ之カ要途ヲ求メ敢テ凝滯スル所ナク以テ利得ヲ壟斷スルコト能サルヤ明ナリ換言スレハ資本ノ合同ニヨリテ獨占ノ權利ヲ得ルコト決シテ望ムヘキニ非サルナリ若シ一個ノ産業ニシテ總テノ利得ヲ吸收セント欲セハ世界ハ必ス静止シテ以テ寸毫ノ利得ヲ收ムルニ由ナカラントス試ミニ看ヨカノ大資本ヲ要スル運輸交通ノ機關若クハ必需品ノ製造ノ如キハ大多數ノ人衆ニ依頼セサルヲ得ス此大多數ノ人衆ニシテ若シ其生産品ヲ購買スルノ力ナカラシメハ資本家ハ何ヲ以テ其利ヲ納メントスルヤ新生ノ資本ハ絶エス市場ニ往來シテ舊來ノ資本ヲ壓シ以テ一般ノ公衆ヲ保護セシムハアラサルナリ然リト雖余ハ敢テ資本ノ合同ニ對シテ何等ノ規定又ハ制限ヲ要セスト云フニ非ス唯生産チシテ愈

廉價ナラシムルコトヲ得ハ是レ則チ公衆ニ報スル所以ニ非スヤ若シ二人ニシテ各別ニ行動センヨリハ寧合同スルノ利得アルヲ知ラハ何ソ故ラニ之ヲ妨グルコトヲ爲スヘキ惟フニ是等ノ規定ヲ設クテ以テ個人ノ權利ヲ保護スルハ各衆ノ須ク採ルヘキ所ニシテ他ハ之ヲ經驗ニ俟ツニ若カス宜シク先ツ運輸ノ貨錢ヲシテ規一ナラシムルノ方策ヲ取ルヘシ或ハ之ヲ離スル者アリト雖余ハ之ニ服スルコト能ハス若シ州際通商委員會ニ附スルニ一層重大ナル權力ヲ以テセハ何ソ之ヲ貫徹スルコトヲ得サランヤ獨リ鐵道ニ限ル可ラス他ノ大會社ト雖此ノ如キ監督ノ方法ヲ案出セシメハ必ヤ知ル大ニ産業ノ發達ヲ來タサントハブマイヤ一氏嘗テ曰ハク今日ハ既ニ個人ノ時ニ非ス商業ハ宜シク合同ノ力ニ依ルヘシ合同ハ亦宜シク正義ヲ以テ個人ノ株主ヲ保護シ荷モ粗漫ナル行務ニヨリテ人ヲ傷ケ若クハ誤ラシムルコト勿ルヘシト寔ニ知言ト云フヘシ於是乎愈知ル政府ノ監督ト人民ニ對スル公開トハ合同ヨリ來ル弊害ヲ防クノ唯一手段タルコトヲ蓋一利アレハ一害アリ變化ハ世界ノ常ニシテ絶エス自然法ニ從ツテ行動スルモノナルカ故ニ異常ノ變化ニ非サルヨリハ妄リニ之ヲ阻害ス可ラス宜シク其弊ヲ除クノ方策ヲ講究シ以テ一般ノ進歩ヲ圖ルヘシ是レ亦自然ノ法則ニ順フ所以ノ道ナレハナリ

第六項 結論

前段既ニ縷述スル所ニヨリテトラストナル者ハ單ニ一時的若クハ地方的ノ者ニ非ス又此問題ハ現今ノ經濟界ハ勿論將來ニ於テモ種々ノ問題ニ關聯スル所アルコトヲ明ニセリ換言スレハ大工業ニ對スル小工業中央集權ニ對スル個人主義公

衆ニ對スル富ノ分配政體ノ如何等ニ影響スル所尠少ナラサルヘシ然レトモトラストニ關スル諸説ハ四分五裂未タ歸一スル所ナクトラストモ亦起倒出沒常ナラズ大實業家ハ漸ク支店ヲ吸收スルコトニ務メ一旦其成ルヤ全體ヲ舉ケテ復ヒ設立スル者アリ一方ニハ單ニ中央集權ノ重力ニヨリテ生息シツ、アル者アリ試ミニ問ハシ今後米國ハ如何ナル經濟上ノ新生面ヲ開クヘキカ特ニ合同ニ就キテ如何ニ變遷シ來ルヘキヤ見ヨナイヤガラ瀑布ノ水力利用ハ他ノ小起業又ハ長距離ノ起業ヲ驅リ盡シテ一大動力ヲ發生セリ是レ果シテ漸次中央集權ニ傾クノ證據トナスニ足ル乎蓋製造業ニ於テハ大仕掛ノ生産ハ最後ノ勝利者タルコト殆疑ナキカ如シ之ニ反シテ南部ノ綿作地方ニ在リテハ小農ハ漸ク發達シ綿作地ノ面積年々増大シ又小起業家ノ續々トシテ起ルアリ由是觀之トラストノ問題ハ容易ニ決スヘキニ非ス其發達ハ全ク最近ニシテ其進歩ハ全ク急劇ニ其變化ハ全ク過多ナレハナリ唯茲ニ一ノ確實ナル事績アリ曰ハク組織ノ形體如何ハ何等ノ幫助ヲ與ヘサルコト是レナリアーマー商會市加高瓦斯會社精糖トラストカー子ーギー及ヒスタンダード石油等カ規一ナル施政ヲナシ所有又ハ管制ノ形體ヲ造ルニ至レルコトヲ知ラスヤ思フニ其完全ヲ致ス必シモ遠キニ非サルヘシト雖是時

ニ方リテ果シテ大起業ナルヘキカ小起業ナルヘキカ又合同ハ如何ナル程度ニ及ホスヘキカト固ヨリ輒ク推斷スルコトヲ得サルナリ蓋米國ノ輿論ハ能ク其事實ノ真相ヲ研究シ及ヒ之ヲ決定スヘキ地位ニ在リ單ニ理論ニヨリ原則ニ基キテ論スルカ如キハ到底永久ニ行ハルヘキモノニ非ス先ツ宜シク其變化ヲ學ビ新現象ヲ捕ヘ之ヲ改良シテ以テ歴史發達ノ大法ニ照ラシ始メテ其正鵠ヲ得ルニ庶幾ラシ乎彼ノ徒ニ個人ヲ重シシ無制限ノ活動ヲ阻止ス可ラストナスノ舊思想ハ今ハ陳腐ニ屬スト雖大多數ハ尙未タ此思想ヲ脱セズ新聞紙モ政治家モ亦之ニ準據シテ立論スル者アルハ時勢ニ迂濶ナル者ト謂フヘシ若シ少シク時代ヲ講究スル者ハ其近世ノ問題ハ既ニ昔時ノ問題ニ同シカラサルコトヲ發見シ且之カ判決ヲ下スニ方リテ新標準ヲ定ムルノ必要アルコトヲ悟ルヤ必セリ唯一般ノ公衆カ新現象ヲ捕リ來リテ之カ結果ヲ推斷スルニハ時ヲ要スヘク之ヲ公平ニ且各種ノ材料ヲ蒐輯スルヲ府ヲ設ケテ研究スルコトヲ得ヘキ邦家ニ比シテ頗長ク且困難ナルコト明ナリ然レトモ最初ノ計劃ハ全ク畫餅ニ屬シタルカ如シ何トナレハ彼等ハ單ニ學理又ハ政黨的ノ看察止マリ事實ノ蒐輯ニ乏シク且其學識ニ薄カリシヲ以テナリ此ノ如クシテ如何ニ其良果ヲ收ムルコトヲ得ヘキツ或ハ反リテ經濟現象

ノ進歩ヲ妨害スルコトアリ彼ノマーケスノ如ク社會ノ進歩ハ悉ク經濟ノ力ニヨリテ動クトナスカ如キハ抑認レルノ甚シキ者ナリ米國ニ於テハ過去ノ經驗ニヨリ從來ノ結果ハ全ク貴族的又ハ禁制的ノ法律ニ出ツルコトヲ知レルカ如ク歐洲ニ在リテハ法律上ノ關涉ハ經濟的ノ位地ヲ創造スルニ限アリトナスニ至レリ唯夫レ歐洲ニ於ケル者ト米國ニ於ケル者トハ其地位ヲ異ニスト雖近來社會的機關ノ思想ハ一般ニ擴張セラル、コト、ナリ國家ノ發達、人口ノ増加、人ト人トノ密接ノ關係等ハ一個人間ノ規定ヲ設クルニ方リテ最必要ナルモノトナレリ近來各種ノ起業カ漸次集中スルカ爲メニ立法上一大進歩ヲナシタルハ事實ナリ例ヘハ州際商業法、非トラスト法ノ如キコレナリ苟モ經濟上一大公益ノ存スル所ハ必ス公法ナカル可ラス今日ハ未タ商工業集中ノ運動ハ其極點ニ達セス尙漸進ノ傾アリ故ニ立法ノ專漸ク其必要ヲ告クルナルヘシ現今存在スルトラストハ未タ一トシテ理想的ノ者ナシ固ヨリ利弊ノ相伴フハ免レサル所ナリト雖彼等ハ來ラサル可ラサル理由ナクシテ來レル者多キカ如シ是故ニ其勢力ハ屢動搖シ其效果ハ忽チニシテ没却セラレントス彼等ノ現ハル、所ハ非常ノ活氣ヲ生スト雖或ハ要用トナシ或ハ危險トナシ其眞想ヲ誤解シテ以テ

之ヲ厭忌スル者亦少カラス蓋一大社會問題ヲ決定スルニ足ルヘキ方法手段ニツキテハ世界ヲ通シテ概規一ナルニ似タリ單ニ實業界ノ器械的規定ヲ設ケテ一個人ヲ跛脚トナシ又ハ器械的人間トナスコトヲ許サス之ニヨリテ國民ノ權利ヲ擴張シ社會ノ力ヲ藉リテ管轄ノ方法ヲ立テ以テ公共ノ光明ヲ放タシメサルヘカラス然ルニ大會社ノ重役ハ動モスレハ權力ト名譽ヲ恣ニスルニ反シテ公衆ノ監視或ハ其完キヲ致サ、ルカ如シ是レ豈一大缺點ニ非スヤ且余ヲ以テ之ヲ觀ルニ重稅ヲ賦課シテ以テ會社ノ合同ヲ防カントスルカ如キハ不理ノ太タシキ者ナリ今ハ宜シク普通規一ノ商法典ヲ制定シ又ハ少クトモ米國全體ニ通スル齊一ノ會社法ヲ制定シテ以テ之カ經驗ヲ重スヘシ若シ現時ノ儘ニ放任スルトキハ大會社ハ漸ク其勢力ヲ逞フシ他州ノ境域内ニ侵入スル者多カルヘケレハナリ而シテ更ニ必要アラハ憲法ヲ改正シテ以テ之ヲ救済スヘキナリ固ヨリ從來ノ事實及ヒ經驗ハ遂ニ何事ヲカ成サスンハ終ハラサルヘシ若シ大起業ノ合同ヲ以テ安全ニ非ストセハ現在ノ位地以上ニ之ヲ許サ、ルコト必要ナリ只宜シク其進歩ノ如何ヲ見テ立法シ制定スル所アルヘシ物ノ發達ハ時ヲ俟ツコトヲ要ス彼ノ徒ニ之ヲ斥ケ又ハ急足ノ法規ヲ設クルカ如キハ策ノ得タルモノニ非サルナリ

思フニ二十世紀ハ單ニ個人主義ニ非ス又社會平民主義ノ理想ニモ非スシテ社會ノ機關ハ合同的性質ヲ有シ公衆ノ力ニヨリテ維持管轄セラルヘキ者タルカ如シ

第三款 保險

第一項 火災保險及ヒ海上保險

米國ニ於ケル火災及ヒ海上保險ノ業務ハ其源ヲ第十八世紀ノ末葉ニ發シ嘗テ米國ノ國旗カ高海ヨリ驅逐セラル、時ニ方リ痛ク打撃ヲ蒙ムレリト雖日進月歩以テ今日ニ至レリ

按スルニ此兩種ノ保險ニツキテハ性質ノ異ルモノアルカ故ニ分チテ説明スルノ便利ナルヲ覺ユ

第一 火災保險ノ原理ハ頗簡單ナリ之ヲ多數ヨリ集メテ之ヲ少數ニ散布スルニ在リ故ニ利益ノ方面ハ二重ニシテ一ハ其放下セル資本ノ利子他ハ其保險料ヨリ損失及ヒ費用ヲ控除シタル差ナリトス

第十八世紀ニ於ケル火災保險ノ歴史ヲ顧ミルトキハ不幸ニシテ其成績ハ未タ以テ誇ルニ足ラズ見ヨニ千七百九十五年ノ當時ニ於テ存在セル亞米利加ノ保險

會社ニシテ今尙存スル者ハ唯一アルノミ即チヒラデルヒヤ府ノ北米保險會社是ヨリ大シ此會社ハ現今三百萬弗ノ正貨資本ヲ有シ一千萬弗ノ資産ヲ有ス又當時紐育市加高ホストンヒラデルヒヤボートランド及ヒピッツバーグ等ニ於テ相尋リテ幾多人大火災アリ無數ノ保險會社ヲシテ共ニ灰燼ニ歸セシメタリ然レトモ此經驗ハ共ニ最確實ナル教訓ヲ貽シ爾來其業務上著シキ進步發達ヲ促ス原因トバ大レ例ヘバ一千八百三十五年ニ於ケル紐育大火ノ時ニ當リ凡四十八保險會社アリシカ内ニテ除クノ外共ニ一片ノ煙ト化セリ是ニ於テ紐育州立法府ハ一千六百三十六年二月二十日ヲ以テ一ノ條例ヲ發布シ大ニ舊制ヲ改メ種々特權ヲ附與シ爲メ三十餘ノ會社ハ再ヒ資本ヲ募リ業務ヲ繼續スルコトヲ得タリ又一千八百七十一年十月八日ニ於ケル市加高ノ大火ハ世界ノ歴史ニ稀ニ見ル所ニシテ殊ニ亞米利加ニ於テ未タ曾テ比ナシトス或ハ曰ハク二億萬弗ノ財産ヲ蕩盡シ二萬ノ生命ヲシテ糊口ニ迷ハシメタリト且其保險高九千二百萬弗ニ上レリト云フ是故ニ保險會社ハ概生命ヲ失ヒ已ムヲ得ス保險者ト被保險者ト之間ニシテ契約ヲ結ビ以テ僅ニ之ヲ維持スルノ方法ヲ立テタリ當時其保險金ヲ正當ニ支拂ヒタル者ハリバブル・ロンドン・グロリア保險

會社ノ一アリシノミ其他亞米利加ノ會社ヲ舉ケテ至ク根底ヨリ破壊セシメタリ既ニシテボストンハ又前古未曾有ノ大火ヲ發シ痛ク保險會社ヲ傷ケタリ之ヲ要スルニ第十八世紀ニ於ケル米國ノ火災保險ノ業務ハ損失ニ終ハリタルモノト謂フヘシ然レトモ徐ニ其損失ノ由リテ來ル所ヲ見ルニ主トシテ立法ノ粗忽ナリシニ因ラスンハアラサ知ラスヤ總テノ保險會社ハ其業務ヲ行フ州ニ於テ常ニ保險金高及ヒ損失等ヲ公ニシ且業務ノ細大トナク之ヲ公衆ニ知ラシメサル可ラス是レ保險會社ノ堪ユヘキ所ニ非ス況ンヤ州又ハ市ヨリ各種ノ名目ニヨリ課稅セラルトモノ甚重キニ於テヲヤ

方今亞米利加ニ於ケル年々ノ保險料ハ凡一億四千萬弗ニ上リ各保險會社ハ其會社ニ附屬スル代理人及ヒ災害判定人ヲ有シ加フルニ保險會社組合ノ共同利益ヲ保護スルカ爲メニ各種ノ組合ヲ設ケ中ニ國立火災保險會社組合會議所ナル者アリテ國內ニ於ケル重ナル會社ヲ合同シ其管轄ノ下ニ服セシメタリ一千八百六十六年ノ創立ニ係ル此會議所ノ力ニヨリ米國人民ハ善良ナル家屋及ヒ効果アル消防ノ經濟的眞義ヲ教養セラレタリ近來又電氣部門ヲ設ケ殊ニ此方

面ニ向ツテ研究シツトアリト云フ更ニ各州又ハ各市ハ別ニ地方的組合會議所ヲ設ケテ以テ同一ノ業務ヲ行フ

由是觀之第十八世紀ニ於ケル火災保險ノ歴史ハ假令幾多ノ失敗ヲ重キタリト雖其營業ノ方法實驗ニツキテ確實ナル發達ヲ致セル者ト謂フヘシ如何ナル業務ト雖其行動ニ方リテハ機會ノ原則ニ違フコトヲ得ス殊ニ輓近科學ノ發達ト共ニ種々ノ方面ニ進歩ヲ來タセルコト著シキモノアリ之ヲ五十年前ノ事績ニ徵スルトキハ業務ノ精粗ニ於テ又其主義ニ於テ根本的ノ變化ヲナセルコトヲ知ラン即チ舊法ニ從フトキハ保險會社ハ自ラ危險ノ負擔ヲ甘ニスル場合ニ限リ之カ補償トシテ保險金ヲ支拂フノ主義ナリシカ輓近ニ至リテハ專ラ改良ヲ促スノ手段ヲ取リ最低ノ率ヲ以テ最高ノ危險ヲ負擔スルノ原則ニ據レリ換言スレハ往古ニ在リテハ保險者ハ最高ノ率ヲ以テ最少ノ危險ヲ負擔シ今日ニ在リテハ至ク之ニ反スルモノト謂フヘシ又近來自動消火器ノ利用益盛ナルト共ニ火災ニヨリテ消失スル損害ヲ減シタルノミナラス恐ラクハ更ニ一步ヲ進メテ火災保險ノ實際ニ一大革命ヲ促シタルノ原因タラサルヲ知ランヤ惟フニ強大ナル會社カ益資本ヲ増倍シ弱小ナル

會社ヲ集メテ之ヲ併吞シ專ラ競争ヲ避ケ費用ヲ節減シ以テ危險ノ負擔ニ際シ
幾多ノ便宜ヲ與フルノ時ヲ見ルニ至ラシト必シモ遠キニ非サルヘシ
保險ニ業務上思想ノ變化ヲ一言スレバ現今ニ於ケル進步ハ最平易ニシテ且論
理的ナルコトヲ發見スヘシ往古ニ在リテハ各保險會社ハ商品ノ種類ヲ分チ之
カ最低價保險料ヲ公布スルコトヲ努メタリ故ニ其階級ハ下ニ包括セラルハモ
別例ヘハ家屋ヲ如キニ煉化造ナルト將タ木造ナルトヲ問ハスニ率ヲ以テ之ニ
適用セザラシトモ此方法ノ不公平ナルコト素ヨリ論ヲ俟ダス於是乎市加高市
公チモカツト將軍公如キ自ラ率先シテ之カ改良ヲ唱ヘ先ツ理論的ニ完全ナル
家屋及ヒ不完全ナル家屋ノ二部ニ分チ之カ率ノ表ヲ作レリ其表ハ忽チ紐育ノ
大陸保險會社ヲ採用スル所トナリ爾來頗廣ク行ハル且彼ハ普通ニ一般ノ商品ニ
對スル表ヲ新製シ之ニ適用スルニ前同様に主義ヲ以テセリ若シ此主義ヲシテ
益發達セシメシムルニ家屋ノ建築上期セシテ進步ヲ促シ遂ニ現今ノ所謂火災
保險家屋即チ主トシテ最永ク火災ニ堪ユヘキ家屋ヲ建築スルニ至ランコト疑
フ可ラサルナリ

亞米利加ニ於ケル各州ハ保險局ヲ設ケ州内ニ於テ營業スル保險會社ハ總テ年

年ノ貸借表及ヒ財產目錄ヲ其局ニ提供セサル可ラス又局長ハ或ハ州法ニヨリ
テ業務ノ行動ヲ停止シ或ハ之ヲ改定セシムルコトヲ得之カ率先者ハ紐育、マッ
サッチ、ニセツツノ二州ナリトス

保險ノ業務ニ對スル雜誌及ヒ諸種ノ報告ハ其數甚少カラサルヲ以テ時々ノ變
動ヲ知ルヲ得ヘシ現今亞米利加ニ於ケル火災保險會社ハ其數數千ニ達シ損益
相償ハサル者少カラサルヘシト雖概幾多ノ代表者ヲ有シ以テ各般ノ事ヲ協議
スルノ用ニ備ヘタリ人才多ク此中ヨリ輩出シ或ハ州知事ニ舉ケラレ或ハ判事、
元老院議員或ハ外國公使等ニ登用セラレタル者稀ナリトセス現今外國ヨリ出
張セル保險會社ニシテ最勢力アル者ハ英國火災保險會社ナリトス倫敦保險協
會、**ノーウヰッチ**共同保險會社、鳳凰保險會社、旭日火災保險會社事務所共同保險組
合、五、其名最著ハレ亞米利加ニ於ケル火災保險ノ殆ニ割ヲ掌握ス現今米國
火災保險會社ノミニテモ其數五百有餘アリ七千三百萬弗ノ資本ヲ有スト云フ

第二 亞米利加ニ於ケル海上保險會社ノ歴史ハ一千七百九十三年ニ起リペンシ
ルベニヤ州會カ北米保險會社ニ特許ヲ附與シタル時ニ始マル此會社ハ今尙存
シ業務益進歩スルヲ見ル是レ蓋會社ノ性質上火災保險ノ業務ヲ併セテ行フコ

トヲ得タルカ爲メナリ一千七百九十六年ニ至リ紐育市ニ於テ一ノ海上保險會社組織セラレ紐育保險會社ト稱シ五十萬弗ノ資本ヨリ成リ爾來數十ノ會社或ハ起リ或ハ倒レ今日存スル者必シモ昔日ヨリ繼續シ來レル者ニ非ス思フニ紐育州ニ於ケル海上保險ノ歴史ハ各州ノ代表者ト言フモ誣言ニ非ス蓋當時ノ海上保險會社ハ概一時大ニ榮エタリト雖英國ノ競争ニ堪ヘスシテ撲滅セラレタル者少カラス所謂海上保險ノ黃金時代ハ一千八百四十年ヨリ一千八百六十年ノ間ニシテ米國海運ノ最發達セル時ニ在リ當時巨商ハ各自船舶ヲ所有シ東印度ヲ超エテ遠ク東洋ニ涉リ以テ其交易ヲ擴張センコトヲ力メタリ是故ニ船舶貨物ハ概亞米利加保險會社ノ保險スル所タリキ然レトモ其航海ハ或ハ九ヶ月ノ長キニ亘ルモノアルヲ以テ危險ヲ負擔スルコト深ク其率甚高カリキ即チ原價ノ五分ヨリ六分ニ至ルノ保險料ヲ支拂ハサル可ラス紐育リバープールノ間ト雖尙且二分ノ保險料ヲ通例トセリ

夫レ斯ノ如ク保險料ノ率ハ頗高カリシニモ拘ハラヌ一朝航海業ノ變遷ト共ニ著シキ變化ヲ來タシ往昔大西洋ヲ經テ印度洋ニ涉リ迂回シテ以テ始メテ東洋ニ到レルモノ今ハ直ニ桑港ヲ經テ太平洋ヲ橫斷シ其貿易ヲ開クニ及ンテ噸ニ

其低落ヲ告ケ僅ニ一步ノ四分ノ三ニ過キサルトナレリ大西洋上ノ率モ亦均シク低下セリ

海上保險會社ハ火災保險ト異リ未タ曾テ不公平ナル法律又ハ立法院ノ關涉ヲ受ケタルコトナシト雖業務ノ境遇及ヒ英國保險會社ノ競争ニ依リ痛ク打撃ヲ蒙ムレリ換言スレハ世界ノ海運事業ヲ擧ケテ殆英國人ノ手ニ歸シ英國ノ船舶英國ノ商人ハ英國ノ希望ヲ以テ其貨物ヲ保險セシメ且深ク亞米利加ノ本土ニ入り亞米利加ノ保險業ヲ奪取セリ此劇甚ナル競争ノ中間ニ立テ能ク亞米利加ノ面目ヲ保チ聲價ヲ今日ニ持續シタルモノ亦必シモ之レ無キニ非ス其最大ニシテ且最舊キ者ハ紐育ノ大西洋共同保險會社ニシテ一千二百萬弗ノ資産ヲ有シ一千八百四十二年以來今日ニ至ル迄健全ナル發達ヲ爲セリ此他支那共同保險會社、ボストン海上保險會社ノ如キハ又之ト比肩スルニ足ル

海上保險ノ定義及ヒ範圍ハ勿論火災保險ト全ク異リ唯リ保險セラルヘキ危險多キノミナラス海上ニ於ケル一切ノ危險ヲ含有スル者ナキニ非ス之ヲ大別シテ三種ト爲スコトヲ得ヘシ即チ航海保險、定期保險是レナリ前者ハ主トシテ船舶ヲ保險シ後者ハ專ラ貨物ヲ保險ス海上保險ノ保險證ニハ一種異様ノ文體ア

リ捕獲、奪略、戰爭及ヒ之ニ類似スル文字ノ並列スルヲ見シテ船舶保險ノ期限ハ其保險セラレタル港灣ニ始マリ目的地ノ港灣ニ着シテヨリ二十四時間ヲ以テ限トス若シ保險カ貨物ニ在リタルトキハ保險ハ船舶ノ航海ヲ開始スルヤ否ヤ危險負擔ノ責任アルモノトス船舶カ貨物ノ爲メニ如何ナル遠距離ノ港灣ニ向フモ敢テ擇フ所ナシ

海上保險ノ損失ハ之ヲ火災保險ニ比スルトキハ頗小ナリトス唯最著シキモノハ一千八百五十七年九月玖巴ノ海濱ニ於テ暗礁ニ觸レタルセントラルアメリカ號ナリトス同號ハ七十萬弗乃至八十萬弗ノ保險ヲ有シ總テ亞米利加ノ保險會社ノ負擔スル所タリキ此他一千八百九十三年一月一日ニ於ケルエリー號ノ五十萬弗保險ノ損失ノ如キ之ニ次ク荷モ商業ニシテ國旗ニ伴フモノナラシメハ日進ノ米國ハ又海上保險ニ於テ莫大ナル進歩ヲ來タスヘキコトヲ豫想スルニ難カラス且現今熾ニ船舶ヲ製造シ以テ之カ基礎ヲ鞏固ナラシムルノ階梯ニ在リ左ニ今現存セル保險會社ノ系統ヲ擧ケテ之ヲ大別スルトキハ

第一種 株式會社組織

火災、海上或ハ内海運送保險ノ業務ヲ行フモノ

第二種 保證資金ヲ有スル會社

火災、海上又ハ内海ノ航海及ヒ運送保險ノ業務ヲ行フモノ

第三種

イ 共濟ノ主義ニ基キ專ラ製造品ノ火災保險ヲ爲スモノ

ロ 共濟ノ主義ニ基キ專ラ大西洋上ノ危險ヲ保險スル會社

第四種 共濟ノ主義ニ基キ陸上ノ財産全體ヲ保險スル火災保險會社

第五種 共濟ノ主義ニ基キ住家、其包藏物及ヒ農家ノ所有財産ヲ保險スル火災保險會社

ノ五種トス

第一項 生命保險

惟フニ生命保險ノ原理カ機會ヲ原則ニ基キ且其原因カ頗簡單ナル事實ニ起リタルヲ知ラハ寧意外ニ驚カスンハアラス一千六百五十四年ニ於テ巴里ノシバレールレールナル人アリ熱心ナル遊技者ニシテアベールバスケルナル者ニ向ツテ二個ノ問題ヲ提供シ以テ之カ解釋ヲ求メタリ曰ハク二個ノ采ヲ幾度投下セハ同時

ニ二個ノ六ヲ振出スコトヲ得ヘキヤ曰ハク茲ニ假リニ二人ノ遊技者アリ分ツニ條桿ヲ以テシ互ニ妙技ヲ戰ハストセンニ或故障ノ其間ニ來リテ之ヲ中止スルアリ此時ニ當リ瞬間ニシテソノ勝利ノ相對的機會ニ正比例シ以テ兩者ノ距離ヲ分ツコトヲ得ルノ規則何レニ在リヤトバスカルハ第一問ニ於テ二個ノ采ヲ投下スルニ方リ各種ノ錯列ヲ稽查シ及ヒ百般ノ變化ヲ考ヘ遂ニ此二個ノ問題ヲ氷解スルコトヲ得タリ氏ハ過去ニ於ケル機會ノ大多數ニ基キ精密ニ之ヲ判知シ如何ナル場合ニ同一ノ狀況カ現出スルカヲ發見シ所謂機會ノ原理ヲ説明セリ終ニ之ヲ人間ニ適用シ或一定ノ年齡ヲ有スル人間ノ大多數カ或一定ノ氣候、風土ノ條件ニ支配セラレタルトキハ如何ナル數カ一年ニ死亡スルヤヲ究メタリ換言スレハ或一定ノ時ニ於テ死亡ノ率ハ生存者ノ數ニ對シテ精密ナル比ヲナスコトヲ歸納セリ爾來生命保險者ノ大多數ニ於ケル死亡者ノ數ヲ精査シ之ヲ各時代及ヒ種々ノ條件ニ適用シ今日ハ既ニ過去ノ比例ニヨリ未來ノ死亡數ヲ精密ニ知ルコトヲ得ルニ至レリ故ニ現今ニ於ケル生命保險ノ原理ハ其源ヲ純然タル科學ニ置キ一定不變ノ自然法ニ基由スルモノト云フヘシ若シ之ヲ數學的ニ考フルトキハ生命保險ハ猶一ノ賭事又ハ賭事ノ連續ニ外ナラス若シ又實質的、倫理的ノ道義ニ攷フル

トキハ絶エテ賭博ノ性質ヲ有セス反リテ近世ノ文明ヲ發達セシムルニ於テ最公益アル方策タルヲ疑ハス之ニヨリテ金錢ノ損失或ハ困厄ヲ救ヒ或ハ家族ノ糊口ニ苦ムヲ助ケ其身ト其家ヲ安全ノ地位ニ置クノ方法ナリトス虛飾ナキノ深慮ニシテ謙讓ナキノ慈善ト云フコトヲ得ヘシ此バスカルノ發見ハ實ニ古今ヲ抜クノ概アリシト雖當時ホルランドノ恩給局長ノ職ニ在リ夙ニ有力ナル政治家トシテ知ラレ又數學家トシテ命名ヲ博シタルデウキツト氏カ一千六百七十一年ニ方リ此原則ヲ年表ノ實際ニ適用スルニ至ル迄ハ殆人ノ注意スル所タラサリキ同氏ハホルランドニ於ケル要都住民ノ死亡及ヒ出生ノ年表ヲ製スルニ方リ之カ率ヲ演繹セリ此記錄ハ一千八百五十一年ニ至ル迄前後一百八十年間絶エテ人ノ知ル所トナラサリシカ倫敦ノヘンドリックス氏カ始メテ之ヲ發見シ又一千六百九十三年英國ノ有名ナル天文學者ハレー氏ハ人生死亡統計ノ完全ナルモノヲ公ニセルコトアリ爾來今日ニ至ル迄種々ノ死亡統計表ヲ調製セル者アリト雖現今專ラ行ハル、所ノモノヲ舉クレハ

一ノーサンプトン表

二カールイル表

三アケチ ヌ アレーヌ又ハ實驗一覽表
 四エーチエム表(健康男子ノ義)
 五アメリカ實驗表

道ハ主トシテ紐育ニ於ケル共濟生命保險會社ノ實驗ニ係ルモノトス
 ノ五トス

按スルニ生命保險ハ遠ク其源ヲ蒙味ノ太古ニ發スト雖確實ナル記錄ニ至リテハ
 今之ヲ表明スルニ遑ナシ第十六世紀ノ中葉ニ方リ個人間ニ且短期ノ保險ヲ附セ
 ル者アリシカ其保險ハ概十二ヶ月ニシテ或種ノ如キハ三百八十三ポンド六シル
 リング八ペンスノ保險ヲ附スルニ方リテ八分ノ保險料ヲ支拂ヒタリト云フ一千
 七百六十二年ニ至リ倫敦ニ於テ有名ナル生命保險即チ共濟保險協會ナル者ヲ設
 ケ爾來幾多ノ保險會社發生セリト雖要スルニ其發達ハ頗遅々タルモノナリキ
 佛蘭西、獨逸、和蘭、白耳義、澳太利等ニ於テ強固ナル幾多ノ會社起リト雖最發達シ
 最繁榮ヲ極メテ今日ニ至ル者ヲ數フレハ殆合衆國及ヒ英國ニ限ラレタルモノ
 如シ

第一 合衆國ニ於テハ一千七百五十九年以來數多ノ會社起リシカ一千八百四

十三年ニ至リ紐育共濟生命保險會社ノ起ルニ及ンテ頓ニ他ノ會社ヲ凌駕シ今
 ハ殆世界ニ覇タルノ感ナキ能ハス其主義ハ一定ノ資本ヲ有セス專ラ共濟ノ方
 法ニヨリテ組織セラレ保險料、利子等ノ積ンテ一ノ資本トナリ從來死亡ノ爲メ
 ニ保險金ヲ支拂ヒ及ヒ年々ノ歳費ヲ辨シ其剩餘ノ以テ今日ニ至ルモノ洵ニ二
 億五千萬弗ノ多キニ及ヘリト云フ

第一 紐育生命保險會社ハ一千八百四十五年ノ創立ニ係リ共益組織ヲ發明シ
 タル最初ノ者ニシテ現今亞米利加保險會社ノ普ク採用スル所タリ此方法ニヨ
 ルトキハ被保險人カ中途ニシテ契約ヲ繼續スルコト能ハサルカ又ハ之ヲ好マ
 サルトキハ其既納額ニ相當スル迄之カ保險ヲ附シ或ハ幾分ノ正貨ヲ返附スル
 ノ方法ヲ立テタルモノナリウヰリアムエーチピアス氏ハ絶大ノ力ヲ以テ大ニ
 同會社ノ爲メニ改良ヲ加ヘタレハ業務著シク進ミ現今ジェーエーマツコール
 氏之カ總理トシテ其名大ニ顯ハル

第二 共同生命保險協會ハ一千八百五十九年創立セラレ共濟及ヒ紐育生命保
 險會社ノ強敵ヲ凌キ今ハ優ニ一頭地步ヲ擢ンスルコト、ナレリ蓋創業ヨリ今
 日ニ至ル迄人物宜シキヲ得業務ノ行動完美ナリシニ因テスンハアラス

以上列舉スル所ノ三大會社ハ優ニ世界ニ於ケル他ノ生命保險會社ノ上ニ出テ恰モ鼎立ノ勢ヲナシテ世界生命保險ノ牛耳ヲ取ルニ至レリ左ニ現今合衆國ニ於ケル生命保險ノ統計ヲ舉ケテ其進歩如何ニ顯著ナルモノアルカヲ明ニスヘシ併ヒテ英國トノ比較ヲ掲クヘシ

一千八百九十四年現在

名目	國別	
	合衆國(弗)	英國(弗)
現在保險高	82,477,000	21,000,000
現在保險高	1,700,000	(不詳)
保險料收入	110,110,000	21,250,000
利子收入	41,821,000	10,250,000
雜收入	2,525,000	1,200,000
死亡支拂保險金	76,330,000	22,800,000
手数料	2,980,000	
事務費	1,325,000	
總計	185,778,000	35,450,000
負債總額	96,550,000	(不詳)

積立金總額	資產總額	報告會社數
1,500,000,000 (不詳)	1,000,000,000	三
	1,000,000,000	六

亞米利加ニ於ケル生命保險會社ノ特色トスル所一アリ剩餘積立ノ組織ト名ツケ會社ノ剩餘金ハ之ヲ預リ置キ漸次積立テ、現ニ生存シ及ヒ其積立時期ノ終ハリニ到達スル迄保險證ヲ有効ニ持續シタル被保險人ノ專有利益ニ屬セシムルニ在リトス而シテ積立期限ハ十、十五又ハ二十ヶ年ヲ通例トス之ニ反シテ普通ノ方法ニ從フトキハ剩餘金ハ年々之ヲ配當シ又兩者ノ折衷方法ニ依レハ死亡ニ際シテ全額ヲ支拂フノ組織ナリトス

從來亞米利加ニ於ケル生命保險會社ノ倒レタル者甚少カラスト雖其原因ヲ尋ヌルトキハ概奢修ニ流レ若クハ無經驗ノ致ス所ニシテ死亡ノ數カ豫期ニ違ヘルカ爲メニハアラス現今亞米利加ニ於ケル生命保險會社ノ被保險人ノ數及ヒ保險金ノ總額ハ之ヲ詳ニスルコト能ハスト雖凡一千五百萬人ノ保險者アリ八十五億萬弗ノ保險金アルヘク即チ世界萬國ヲ舉ケテ之カ總額ノ二倍ニ相當スルモノト概算シテ大差ナカルヘシ

亞米利加ニ於ケル生命保險會社ハ國家ノ法律ヲ缺クカ故ニ其業務ヲ行フ州ニ於テ專ラ無制限ナル條件及ヒ課税ノ主權ヲ具有シ又保險局ヲ設ケテ特別ノ生命保險條例ナルモノヲ有セサルハナシ是故ニ生命保險會社ノ被保險人ハ種々ノ困難ト不便トニ堪ヘ及ヒ無用ノ費用ヲ抛タサル可ラサル場合ナキニシモアラス約言スレハ亞米利加ニ於ケル生命保險會社ハ異州ノ立法部ノ監督及ヒ課税ヲ負擔セサル可ラス之ニ反シテ大英國ニ於テハ公共的、自然的ノ競争カ各會社ヲシテ安全ナル條件ノ下ニ立タシメタリ此兩者ノ相反スルコト實ニ鏡ノ兩面ニ於ケルカ如シ然レトモ亞米利加ノ組織カ業務ノ方法、資産ノ有無、負債ノ消長等ヲ汎知セシムルニ於テハ大ナル便宜ヲ有スルコト疑フ可ラス或ハ以テ不正ノ行爲又ハ不理ノ事實ヲ蔽フコト能ハサルノ實況ニ在リ是レ蓋公共ノ信用ヲ博スル所以ノ途ナリトス

第四款 興信所

米國ニ於ケル興信所トハ個人又ハ團體ノ商工業上ニ於ケル信用ヲ調査スル機關ノ意義ニシテアラッドストリート及ヒダン興信所最著ハレ荷モ五千弗以上ノ資

本ヲ有スル者ハ悉ク皆詳密ナル調査ヲ經テ其資本額、信用ノ厚薄、職業ノ如何ヲ明記セル書冊ヲ發行シ一ケ年三回之ヲ改メニケ年一百五十弗ヲ支拂フ者ハ之カ會員トナリ其書冊ノ配分ヲ受クルコトヲ得ヘシ是故ニ米國ニ在リテ商工ノ取引ヲ爲ス者ハ必ス先ツ之ニ據リテ信用ヲ調査シ其確實ナルヤ否ヤ極ムヘシ東西ノ別ナク都市ノ大小ヲ論セス職業ノ如何ヲ問ハス苟モ之ヲ網羅セサルハナシ尙毎日是等各業者ノ合同、増資、破産、新設、解散若クハ事變アル毎ニ之ヲ登録シテ以テ會員ニ願ツ若シ又是等ノ報告ニヨリテ尙不充分ナリト信スル場合ニ於テハ興信所ヲシテ更ニ之ヲ調査セシムルコトヲ得ヘシ興信所内ニハ別ニ集金ノ課ヲ設ケ一分乃至一割ノ口錢ヲ以テ個人又ハ會社ニ代ハリテ集金ノ事務ヲ掌リ若シ遲滯者又ハ不納者アルトキハ之ヲ法廷ニ訴ヘ或ハ執達吏ト同様ノ事ヲ行ヒ其集金額ニ對シテ相當ノ手数料ヲ支拂ハシムルニ止マル故ニ頻繁ナル米國ノ商業ニシテ却リテ安全ナルハ興信所ノ力ニ頼ルモノ多シ

第四章 商業團體組織

第一款 商業會議所及各種商品取引所

惟フニ現世紀ノ初ニ當リ一國ノ内外貿易ニ對シテ重大ナル勢力ヲ有スル商業組織ヲ具ヘタル者ハ世界ノ各國ヲ通シテ極メテ少ク其録ス可キ者ハ僅ニ十四ニ過キサリキ即チ英國ニ三佛國ニ七米國ニ四アリシノミ中ニ就キ英國ノボードラフトレード(商業會議所)及ヒ佛國ノカンシルゼラルラフコンマアス(商業中央會議所)ノミハ各別ノ組織ヲ有シタルモ他ハ之ヲ模倣セルモノナリ

按スルニ佛國ニ於ケル商業會議所ノ組織ハ夙ニ行ハレ十四世紀ノ末ヨリ既ニマルセールニ著名ナル者アリ一千七百年ニバダンカーク及ヒ巴里ニ一千七百二年ニハリランニ一千七百四年ニハモンベリエーニ一千七百五年ボルドーニ組織セラレ英國モ亦此制度ノ行ハレタルコト遠ク一千六百六十年ニ始マリ現存制度ノ基礎ハ一千七百八十六年ニ起リ一千七百八十三年グラスゴーニ一ノ商業會議所アリ一千七百八十五年ニ同シクエチンバラニ設立セラレ一千七百八十六年ニ至リテ合併セリ

米國ニ於ケル最舊ノ商業會議所ハ紐育市ニ起リ一千七百六十八年ニ組織セラレニューヘフンチャールレストンヒラデルヒヤ等之ニ次イテ起レリ又當時紐育ニハボードラフトラフローカース(仲買人會議所)ナル者アリ時々合同シテ商業ニ關スル商議ヲナセリト云フ蓋設立ノ當初ニ在リテハ紐育商業會議所ハ一ニ地方的ノ者ナリシカ其性質漸次變化シテ遂ニ全國ヲ通シテ商業會議所ノ卒先者トナリ模範者トナリ今ハ殆其代表者タルカ如キ觀ナキニ非ス試ミニ當時組合員ノ決議セル規律ノ一ヲ舉クレハ

茲ニ吾人同志者相集マリテ組合ヲ組織シ商業ニ關スル諸般ノコトヲ議定スルコトノ最有益ナルヲ認メ之カ進歩開發ニ必要ナル諸般ノ法律命令ノ規定ヲ促スハ一般商業ノ公益ナルコトヲ信ス云々

一千七百八十四年四月紐育州立法院ニ於テ該商業會議所ノ組織ヲ改メ紐育州商業會議所トナシ其會員タル者ハ主トシテ財政及ヒ商業ニ關與スル者ニ限レリ勿論時ニヨリ國會議員知事大統領元老院議員大臣公使等ノ會員アリタルモ這ハ名譽會員又ハ常議員ニ過キサリシナリ

商業會議所ノ組織アルヤ直ニ密輸入禁止法律ノ制定ニ盡シ或ハ紐育市ト大湖水